

狀ニナツテ居リマス、過日一寸伺フトコロニ依ルト、東京府ハ此ノ橋ニ對シテ公式デア
ルカ非公式デアアルカハ知リマセヌガ、千葉縣ニ向ツテ此ノ改築ニ付テ交渉ヲシタト云フ
話デアアルガ、千葉縣ハ之ニ對シテ一顧ダモシナカツタト云フヤウナコトヲ聞イテ居ルノ
デアリマス、今井橋ト云フモノハ御承知ノ通り上ハ流山ニ新タニ橋ヲ拵ヘ、下ハ浦安ニ
モ現在架ケルト云フヤウナコトデアリマスガ、現在江戸川ニアレダケノ木橋ガ出來テ居
ルノデアリマスガ、手入レ其ノ他ヲシナイ爲ニ非常ニ腐蝕シテ今デハ車モ通ラヌト云フ
現狀ニナツテ居ルト云フ有様デアアルガ、縣ハアノ橋ニ對シテ此ノ儘放擲シテ廢橋トセシ
メル御意思ナリヤ、或ハ又之ニ對シテ相當ノ修築費ヲ出シテ改築スル積リデアアルカ、又
東京府ノサウ云フ交渉ニ對シテ千葉縣ハ之ニ應ジテアノ橋ヲ拵ヘル意思ガアルカドウ
カ、此ノ點ヲ伺ヒマス

○番外五番(經濟部長坂井貞一君) 只今御質問ノアリマシタ、今井橋ニ付テ御答イタシマ
スガ、是ハ今度ノ水害ニ依リマシテ可成リ危険ナ狀態ニナリマシタノデ、東京府カラハ
此ノ際一舉ニ之ヲ改築シヤウデヤナイカト云フ御提議ガアリマシタガ、其ノ金額ハ莫大
デ約八十萬圓バカリ掛カル、之ヲ東京府ト千葉縣ト折半ト云フコトニナリマスノデ、一
舉ニシテ四十萬圓カラノ金ヲ出サナケレバナヌト云フ立場ニナリマスノデ、現在ノ財
政ノ點カラ考ヘテ、一舉ニ此ノ橋ヲ架換ヘルト云フコトハナカク困難ナコトデアリマ
スノデ、今暫クハソレ程金ヲ掛ケズニ何トカモウ少シ補修ヲシタ方ガ宜イノデハナイカ
ト云フコトヲ東京府ニ相談イタシマシタ、ソレデハ大体八萬圓程度デ一ツ補修ヲヤラウ

ト云フコトニ話ガ纏リマシテ、大体其ノ方針デコチラノ方モ現在進ンデ居ルノデアリマ
スガ、是ハ内務省ニ災害ノ補助ヲ求メマス關係上、内務省ノ査定官ニ見テ貰ヒマシタト
コロガ、査定ノ結果其ノ金額ニ於テハ稍々減ラサレマシタガ、是ハ近日追加豫算トシテ
提出シマスカラ、其ノ時ニ皆サンノ御協議ヲ得ルコトニナルノデアリマス、サウ云フ經
緯デアリマスカラ御承知ヲ願ヒマス、其ノ豫算ガ可決サレマスレバ直チニ着手スル積リ
デアリマス

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○三十九番(星野懿吉君) 豫算編成ノ形式ノコトデアリマスノデ、是ハ土木課長サンヨリ
モ庶務課長サンニ伺ヒタイト思フノデスガ、第一款土木費ガアリ、又第六十三款ニモ橋
梁架換費ト云フモノガアリマス、是モ臨時部デスカラ、是ハ寧ろ第一款ノ方ニ入レテシ
マツタ方ガ、我々ガ見ルノニ煩瑣デナクテ宜カラウカト思ヒマスガ、是ハドウ云フ形式
上カラ出テ來タノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○番外二番(事務官後藤眞三男君) 第一款土木費ノ方ニ橋梁架換費ガアリマスルシ、又第
六十三款ニモ橋梁架換費ガアルガ、合併シタラドウカト云フ御質問デ、一應御尤モナ御
質問ダト思ヒマスガ、實ハ第六十三款ノ方ノ橋梁架換費ニ於テハ割合大キナ橋デ且ツ特
定サレタ橋ヲ計上スルト云フ建前カラ致シマシテ六十三款ガ出來テ居ル譯デアリマス、
ソレカラ第一款ノ橋梁架換費ノ方ニ於キマシテハ、是ハ割合小サイ橋ヲ纏メテ計上シテ
居ルノデアリマス、建前カラ斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒ

マス

○三十九番(星野懿吉君) 別ニ豫算編成ノ形式デシテ居ルノデヤナク、唯大キナ金ハコツ
チニスルト云フノデスナ

○番外二番(事務官後藤眞三男君) 尙ホ御説明申上ゲルコトガ不足シテ居リマシタガ、六
十三款橋梁架換費ノ方ハ起債ヲ以テヤル關係カラ致シマシテ大キナ橋ダケヲ特ニ別ニ計
上シテ居ルノデアリマス

○三十九番(星野懿吉君) 分リマシタ

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○十八番(古川長太郎君) 議長……

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス

○十八番(古川長太郎君) 本日ハ之ヲ以テ散會イタシタイト思ヒマス、動議ヲ提出イタシ
マス

(「賛成」ト呼ブ者アリ)

○三十六番(青木泰助君) 明日ハ決算委員會ノ爲ニ休會イタシタイト思ヒマス、動議ヲ提
出イタシマス

(「賛成」ト呼ブ者アリ)

○三十六番(青木泰助君) 尙ホ明後三十日ハ定刻ヨリ開會スルコトノ追加動議ヲ提出イタ
シマス

(「賛成」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 只今三十六番ヨリ明日ハ決算委員會ヲ開クノデ休會ト云フ動議ガア
リマシタガ、御異議ゴサイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 御異議ナイト認メマシテ明日ハ決算委員會ヲ開クコトニ致シマス、
明後日ハ定刻ヨリ開會イタシマス、日程ハ第一號議案ノ第一讀會ノ續行、本日ハ之ヲ以
テ散會イタシマス
午後四時散會

傍聽人 二百六十九名

昭和十年通常千葉縣會議事速記錄

第九號

昭和十年通常千葉縣會議事速記録第九號

十一月三十日(土曜日)午後一時五分開會
出席議員三十五名左ノ如シ

一	番	諏訪	寬治君	二	番	石井	與作君
三	番	伊藤	博愛君	四	番	成島	勇君
五	番	新藤	退藏君	六	番	木村	康哉君
七	番	大枝	十兵衛君	八	番	川俣	義郎君
九	番	浮谷	竹次郎君	十	番	高野	伴藏君
十一	番	川口	爲之助君	十三	番	島田	彌久君
十四	番	石橋	保君	十五	番	木倉	和一郎君
十六	番	石川	善之助君	十八	番	古川	長太郎君
十九	番	柳澤	清春君	二十	番	平山	成之助君
二十一	番	長島	義三君	二十二	番	飯田	惣兵衛君
二十三	番	横田	清藏君	二十四	番	押元	才司君
二十六	番	澁谷	司君	二十七	番	梨本	太兵衛君
二十八	番	小柴	金一郎君	三十	番	飯田	鉄之助君
三十一	番	花澤	壽太郎君	三十二	番	田中	恭三君

三十三番	鈴木亮君	三十五番	一瀬房之助君
三十六番	青木泰助君	三十七番	染谷正治君
三十八番	高瀧政吉君	三十九番	星野愨吉君
四十一番	石上新藤君		

欠席議員七名左ノ如シ

十二番	木島義夫君	十七番	鋤柄良司君
二十五番	吉堀正雄君	二十九番	小谷三之助君
三十四番	茂木林藏君	四十番	渡邊政治君
四十二番	吉野力太郎君		

○副議長(鈴木亮君) 開會イタシマス、前回ニ引續キマシテ第一號議案ノ第一讀會ヲ開キマス、歳出臨時部第二款道路改修費第一讀會書記朗讀

第二款 道路改修費 金二十九萬八千九百圓

第一項 道路改修費 金二十九萬八千九百圓

○番外六番(技師宮崎正夫君) 第二款道路改修費ニ於キマシテハ前年度ト同額ノ豫算ヲ計上シタノデアリマス、此ノ豫算ニ依リマシテ主要ナル府縣道幹線道路ノ局部的改修ヲヤル豫定デアリマス、簡單ナガラ……

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 採決イタシマス、本款ヲ第二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス

○十八番(古川長太郎君) 第三款勸業費ハ都合ニ依リマシテ跡廻シニ致シタイト思ヒマス、動議ヲ提出イタシマス

(「異議ナシ」賛成)ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 第三款勸業費ハ都合ニ依リ跡廻シトスル動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 御異議ナイト認メマシテ是ハ跡廻シニ致シマシテ、次ハ第四款沿岸漁業調査費第一讀會書記朗讀

第四款 沿岸漁業調査費 金一千二百九十三圓

第一項 沿岸漁業調査費 金一千二百九十三圓

(「採決」異議ナシ)ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第五款農業水利調査費第一讀會

書記朗讀

第五款 農業水利調査費

金五千八十四圓

第一項 河川調査費

金五千八十三圓

第二項 給與金

金一圓

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移シマス、次ハ第六款、縣立公園調査費第一讀會

書記朗讀

第六款 縣立公園調査費

金九百圓

第一項 縣立公園調査費

金九百圓

○副議長(鈴木亮君) 質問ノ通告ガアリマス、三十七番

○三十七番(染谷正治君) 私ハ縣立公園調査費ニ付キマシテ少シク御伺ヒシテ見タイト存ジマス、縣立公園ハ前ノ岡田長官ノ時代ニ於キマシテ此ノ計畫アルコトガ一度發表サレマスルヤ、縣下ノ各地方ニ於キマシテハ之ニ大ナル注目ト期待ヲ掛ケマシテ、之ガ指定ノ爲ニ陳情運動等ガ行ハレマシタ、其ノ場所ハ十數個所ニ及ンデ居ルコトヲ聞イタノデアリマス、其ノ後調査委員會ガ開催セラレ、其ノ結果ト致シマシテ六個所ノ候補地ガ指

定セララルコトニ相成ツタノデアリマス、更ニ現長官ニ至リマシテ之ガ區域ノ決定ヲ見タヤウナ次第デアリマス、當局ト致シマシテモ之ニ對シテ相當ノ努力ヲ拂ハレタト云フコトハ私共認ムル所デアリマス、抑々此ノ縣立公園ノ目的ハ今更申述セル必要モアリマセヌガ、其ノ地方ノ特殊ノ景色ヲ保存シ所謂原始的ノ風致ヲ維持イタシマシテ、來遊者ヲ此處ニ誘致イタシマシテ保健衛生ニ資シ又地方利益、地方開發ヲスルコトガ目的デアラウト思フノデアリマスガ、大体此ノ種ノ事業ハサウ一朝一夕ニ出來ルモノデハナイ、之ニ對シテ直グニ此ノ縣立公園ノ完成ヲ期シテ之ニ何等カノ施設ヲスルト云フコトハ莫大ナ費用ヲ要シマシテ、是ハ百年ノ大計デアルトハ存ジマスガ、指定ヲ致シマシタ以上取敢ズ宣傳等ノコトハシナケレバナラスト思フノデアリマス、又當局モ之ニ對シテ隨分努力ヲサレテ居ツタノデアリマスガ、今豫算ヲ見マスト僅カ九百圓ノ計上シカナイ、昨年カラ見マスト二千八百圓ノ減額ニ相成ツテ居ルノデアリマス、四千圓近クノ額カラ二千八百圓ノ減額ヲシテ居ル、寧ろ私ハ減額ト云フヨリハ削減ト云フ言葉ノ方ガ適當デハナイカト思フノデ、而モ其ノ中ニ於テ調査費ガ六百圓ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、六箇所ニ割當テモ大体百圓シカナイト云フヤウナ、誠ニ哀レナ豫算デアリマス、成程此ノ豫算ト云フモノハ幾ラ節約サレテモ其ノ効果ニ於テアルナラバ結構ト思フノデアリマス、本縣ノ豫算一千有余萬圓ニ致シマシテモ、是モ出來ルナラバ半減シテモ差支ナイ、併ナガラ茲ニ百圓ヲ投ジテ一千圓ノ利益ガアルト云フヤウナ場合ニ於テハ、尙且ツ是ハ無理ヲ致シマシテモ計上シテ然ルベキモノダト思フノデアリマスガ、當

テ長官ハ此ノ議案ヲ提出セラレマス其ノ方針ニ付テ御説明ニ相成ツタ中ニ斯ウ云フコトガ書イテアリマス、既往ノ實績ニ徴シ實質上事業ノ縮小ヲ來サザル程度ニ於テ繰延減額ヲ行ツタト云フ意味ノコトヲ言ハレテ居リマス、果シテ是ガ是等ノ意味ノ中ニ含マレタモノデアルカ、私ハ誠ニ不可解ニ存ズルノデアリマス、一体此ノ縣立公園ノ計畫竝ニ今マデ當局ガ行ハレタトコロノアノ宣傳等ノコトハ相當實績ヲ擧ゲテ居ル、ソレガ豫算ヲ見ルト甚シク減額ニナツテ居ル、是ハ甚ダ矛盾シタル理論トシテ、是ハ一般質問ニ於テスベキモノデアツタカトサヘ私ハ思フノデアリマスガ、大体此ノ位ノ豫算ヲ以テ此ノ縣立公園ノ仕事ガ果シテ出來ルモノデアルカドウカ、又ドウ云フ譯デ是ガ減額サレタノデアルカ、又是レ以上ニ仕事ヲスル御考ヘガナイノカ、ソレ等ノコトヲ先ヅ取敢ズ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

○番外五番(經濟部長坂井貞一君) 縣立公園ノコトニ付キマシテ御尋ネガアリマシタカラ私ヨリ御答イタシマスガ、本年度ノ豫算ハ九百圓ヲ計上シタノデアリマスガ、金高ハ九百圓デアリマスガ、此ノ九百圓ノ金ノ使ヒ方如何ニ依リマシテハ効果ハ三千圓五千圓以上ノ仕事ガ出來ルト私ハ考ヘテ居リマス、私ハ其ノ確信ヲ持ツテ居リマスカラ、金高ハ九百圓デアリマスガ、之ニ依ツテ効果ハ大ニ擧ガル事業ヲヤリタイト思ツテ居リマス、ソレカラ今御話ノアリマシタヤウニ縣立公園ハ宣傳ト客ヲ引ク、此ノ二ツガ最モ重要ナ問題デアリマスガ、客ヲ引ク場合ニ於テハ一番問題ニナルノハ道路デアリマス、此ノ問題ニ付キマシテハ道路ノ第二次計畫ノ中ニハ今御述ベニナリマシタ精神ヲ能ク含マセテ

アリマスカラ、其ノ點御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ニ宣傳デアリマスガ、此ノ問題ニ付テハ私ノ方デ宣傳用ニ使フ材料ニモ出來ラウト云フ積リデ過日相當有名ナ風景寫真ノ大家ヲ招ンデ相當澤山ノ原板ヲ作製シテ、今ニ地元カラ借りニイラツシヤルデアラウト心待チニ待ツテ居ルノデ、サウ云フ原板ニ依ツテ宣傳用ノ繪葉書トスル、是ハ縣モヤリマスガ、官ダケノ力デハ足ラヌノデ、地元ノ方デモ斯ウ云フモノヲ御利用ニナツテ大ニ宣傳ニ御努メニナルデアラウト思ツテ御待チシテ居ルノデアリマスガ、未ダ一箇所モサウ云フ原板ヲ貸シテ呉レト云フ御要求ガアリマセヌノデ、ドウカーツサウ云フ御要求ガ各地方カラドン／＼出ルヤウニ御盡力願ヒタイトデアリマス、金高ハ九百圓デ甚ダ僅少デアリマスガ、此ノ九百圓ヲ使ヒマシテ大ニ効果一〇〇「パーセント」ノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○三十七番(染谷正治君) 只今經濟部長サンカラノ御答辯ニ依リマスト金額ハ少イガ効果ハ一〇〇「パーセント」ニヤル、誠ニ結構ナコトデアリマスガ、又經濟部長サンノ御手腕ニ私ハ滿腹ノ信賴ヲ掛ケテ之ヲ期待イタス者デアリマス、併ナガラドウモ昨年ハ四千圓近クノ計上ガアツタニ拘ラズ、アレ位ノ宣傳デ誠ニ結構デハアリマスガ、今日之ヲ減ジマストアレダケノ宣傳ハ如何程ニ御手腕ガアラウトモ出來ナイノデハナイカト云フ不安ガアルノデアリマス、話ハ少シ諄クナルカモ知レマセヌガ、一体六箇所ノ縣立公園ニハ各々景色ニ特色ヲ有ツテ居ルノデアリマシテ、又見ル所ガ其ノ地方々々ニ依ツテ違フト存ジマスガ、私共ノ方即チ東葛飾郡唯一ノ公園地帯デアル手賀沼ヲ中心トスル一帯デア

リマスガ、ドウモアノ地方ハ昨年度ニ於テ行ハレタ宣傳ダケモ相當ニ効果ハ舉ツテ居
 リマス、サウシテ又一面東葛飾郡ト云フ所ハ云テ迄モナク東京ニ近接シテ居リマシテ、
 成程大部分ノモノハ農村デハアリマスガ、唯農村トシテノミアレタ見ル譯ニ行カナイ、
 ドウモ東葛飾郡アタリノ農家ハ、悉ク都會ト離レタ所ノ農村トハ違ヒマシテ、生活ノ様
 式モ違ツテ居リマスルシ生活程度ハ向上スル、收入ハ依然トシテ同ジダト云フヤウナ
 トカラ、農家ノ收支ガ價ハナイ現狀ニアルノデアリマス、サウ云フヤウナ所ニ於テハド
 ウシテモ是ハ土地ヲ貸付ケルト云フコト以外ニナイ、今マデハ無駄デハアリマセヌガ山
 林ヤ何カデ置イタモノヲ宅地化スルト云フヤウナコトヲ大ニ考ヘナケレバナラヌノデア
 リマスガ、今回縣ガ御指定ニナツタアノ地方ハ近ク電化等モ致シマスシ、隨分發展性ヲ
 有ツテ居ル、ソコユ着眼サレテ縣立公園トサレタコトハ誠ニ結構デアリマスガ、ドウモ
 此ノ豫算ヲ見ルト二階カラ目薬ト云フ言葉ガアリマスガ、全クソナヤウナ如何ニモホ
 ツチリノ豫算デアツテ不安ニ堪エナイ、成程一面觀光協會ト云フヤウナ方面デ隨分御宣
 傳ノ方モヤツテ下サルヤウデアリマスガ、是モ豫算ヲ見マスト三百何十圓デアツテ、ア
 レラ一寸見タ時ニハ活字ノ植違ヒカモ知レヌト考ヘタ位デアリマス、アレナドモ頗ル金
 ガ少イカラ仕事ハサウヤレナイト思フノデアリマス、デアリマスカラ一ツマアドウカ、
 今日之ヲ増額シナケレバ……此ノ豫算ヲ何トカ修正シナケレバナラヌト云フ譯ニモ參リ
 マセヌカラ、此ノ位デ我慢モ致シマセウガ、一層一ツ御心配ヲ願ハナケレバナラヌノデ
 アリマス、ソレニ尙ホ私ハ昨年モ之ニ付テ申上ゲ、全ク此ノ問題ハ私共ノ死活問題トモ

云フ位ノ重大問題デ、私眞劍ニ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、昨年此ノ問題ニ付テ矢張
 リ當局ニ御伺ヒシマシタラ、土木課長ハイヤ大ニ手賀沼地方ノ如キ關心ヲ持ツテ、サウ
 云フ方面モ矢張り考ヘルカラ、斯ウ云フ御話デアツタ、デスカラ宣傳モ結構デアリマス
 ガ、其ノ方面モ是非御考慮キヲ願ヒタイト思フノデアリマス、取留メナイコトヲ申上ゲ
 ルヤウデアリマスガ、ドウゾ一ツ御願ヒシタイノデアリマス、デ此ノ觀光協會ノ方ハモ
 ウ少シ豫算ヲ上ゲル御考ヘハアリマセヌカ、之ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、是ハ房總協
 會ト云フノデスカ、第十六款第十四目ノ房總觀光協會補助費三百十五圓、是ハ補助費中
 デ一番少イトハ云ヘナイガ、最モ少イ部類ニ屬スルモノデアリマス、他ノ目ニ比較シテ
 是ハ小サナ仕事デハナイ、欺ハ違フガソレニシテモ之ニ關聯イタシテ居リマスカラ御尋
 ネ致シマス

○番外五番(經濟部長坂井貞一君) 重ネテノ御質問デアリマスガ數字ノ上デ前年度ト今年
 ハ可成リ開キガアルヤウニ見エルノデアリマスガ、此ノ點モウ少シ附加ヘテ申上ゲマス
 ト去年ハ此ノ事業ガ衛生課ニアリマシタノデ、其ノ關係デ人件費ヲ此ノ中ニ見テ居リマ
 シタ、其ノ關係デ相當去年ノ豫算ハ殖エテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ人件費モ含マ
 レテ居リマシタノデ、實質的ニ仕事ノ分量カラ云ヘバ今年ノ豫算ト前年度ノ豫算ハサウ
 大シテ開キハ付ケテ居リマセヌ、今年ハ土木課ニ移リマシタノデ、サウ云フ仕事ハ土木
 課ノ技術者ヲ全部動員シテヤラセマスノデ、人件費ガ省ケタ關係上、數字ノ上デハ可成
 リ開イテ居リマスガ、仕事ノ實質ハ去年ト今年トサウ大シテ變リハナイト思ヒマス、其

ノ點ヲ附加ヘテ申上ゲテ置キマス、次ニ觀光協會ノ補助デアリマスガ、是ハ欸ガ違ヒマ
 スガ議長ノ御許シヲ得テ私カラ御説明申上ゲマス、此ノ事業ハ千葉縣トシテハ相當重
 大ナ事業デアリマス、東京ノ綠地々帯ヲ爲シテ居リマス千葉縣トシテハ、觀光事業ニ相
 當縣ガ力ヲ入レルト云フコトハ非常ニ大切ナコトデアリマスガ、色々他ノ方ノ關係上カ
 ラモ今俄ニ此ノ費用ヲ増加スルト云フコトハ一寸困難カト考ヘマス、ソレカラ今一ツ三
 十七番議員ニ御願ヒシタイノデアリマスガ、實ハ御質問ニ對シテノ御答デハナイノデア
 リマスガ、手賀沼地方ノ開發ノ問題デアリマスガ、是ハ先程御話ガアリマシタヤウニ非
 常ニ本縣トシテハ有利デアリマス、東京ノ綠地帯ヲ東京市ガ大ニ計畫シテ居ルノデアリ
 マスガ、又早晚我孫子マデノ電化モ近ク實現スルト云フ状態デアリマシテ、東京ノ近郊
 地帯トシテハ此ノ邊ハ非常ニ有望ナ所デアリマス、聞ク所ニ依リマスト大分アノ邊ハ土
 地ノ値段ヲ釣上ゲタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、斯ウ云フコトヲオヤリニナルト云
 フト、折角發展シ掛ケタノガ途中デ鈍リマスカラ、ドウカサウ云フコトノナイヤウニ御
 盡力ヲ願ヒタイト思ヒマス

○三十七番(染谷正治君) ドウモ大變諄ク申上ゲルヤウデスガ御許シヲ願ヒマス、只今大
 變ソレコソ我ガ意ヲ得タル御答辯デアリマシテ満足デアリマスガ、先程モ原板ヲ貸シテ
 ヤリタイガ何トモ云ツテ來ナイ、又地代ガ上ル、其ノ邊ノ注意ヲセヨト云フコトデアリ
 マスガ、縣立公園ト云フモノニ付テ地方民ハ熱望イタシテ居リ、之ニ大ニ期待ヲ掛ケテ
 居ルガ、其ノ意味ガ本當ニ徹底シテ居ナイヤウデアリマス、又隨分地方ニ依ツテハ之ニ

關心ヲ持ツテ、町村長アタリガ大馬力デヤツテ居ラレル所モアルヤウデスガ、ソレ等モ
 本當ノ意味ニ於テ能ク御分リニナツテ居ラヌノデヤナイカト思ヒマス、一体此ノ地方ノ
 開發ト云フモノハ矢張り當局ガ一步進ンダ見識ヲ持ツテ御指導ヲ願ハナイコトニハドウ
 モ巧ク行カヌヤウデアリマス、從ヒマシテ一ツ此ノ關係ノ町村長位ハ一齊御集メデモ願
 ツテ縣廳ノ意ノアル所ヲ御傳ヘシ意見ヲ聞イテ、縣立公園地帯ノ一致團結シタ何等カノ
 方途ヲ講ジタラ宜クハナイカト私共ハ日頃考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノコトハ如何
 デゴザイマセウカ、此ノ機會ニ御伺ヒイタシマス

○番外五番(經濟部長坂井貞一君) 重ネテ御答イタシマスガ、其ノ問題ハ私ノ方デモ實ハ
 考ヘテ居ルノデアリマス、大体地元ノ町村長ノ方ニ集ツテ戴キマシテ、最モ初メニヤラ
 ナケレバナラヌ宣傳ノ方法デアリマスガ、此ノ問題ニ付テコチカラノ希望ト又御協力
 ヲ得マシテ相當ヤリタイ仕事ガ澤山アリマスノデ、近々一度御集リヲ願ヒタイト實ハ考
 ヘテ居ツタノデアリマス、ソレカラ過日新聞紙ヲ見マスト、各地ノ觀光地ノ繪葉書ノ問
 題デアリマスガ、非常ニ御粗末ナモノバカリデ逆モ近代日本ヲ紹介スルヤウナモノニ缺
 ケテ居ルト云フヤウナ記事ガ一寸見エタノデアリマスガ、私モ同感デアリマシテ、本縣
 ノ名勝地ノ繪葉書ニ致シマシテモ實ニ御粗末ナモノデ且ツ非常ニ舊イモノバカリデアリ
 マスカラ、斯ウ云フモノヲ一ツ統一シテ、最近ノ千葉縣ヲ紹介スルニ足ル相當立派ナ宣
 傳用ノ繪葉書モ作りタイト實ハ考ヘテ居リ、近々御話ノヤウニ地元ノ町村長ニ御集リヲ
 願ツテサウ云フ細カイ點ニ付テモ御協力ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス

○十三番(島田彌久君) 議長……

○三十七番(染谷正治君) 御深切ナル御答辯デ能ク分リマシタ、實ハ私此ノ豫算ヲ見タ時ニハ、是ハ御賢明ナル經濟部長ノ千慮ノ一失カト思ヒマシテ頗ル私ハガツカリシテ居ツタノデアリマスガ、只今ノ御説明ニ依リマシテ能ク分リマシタ、又是等ノコトニ付テハ矢張り新聞社アタリノ尙ホ一層大キナ御協力ヲ願ツテ是非一ツ宣傳ニ努メテ戴キタイ、是等ノコトヲ合セテ御願ヒイタシマシテ之デ打切りマス

三十一番花澤壽太郎君登壇
拍手起ル

○三十一番(花澤壽太郎君) 只今染谷君ノ御質問デ縣立公園ニ對スル本年度豫算ニ付テハ當局ノ御答辯デ能ク了解シマシタガ、少シク疑義ノアリマス點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、此ノ仕事ハ極メテ小サイ仕事ノヤウデアツテ、千葉縣ノ將來ヲ思フ時ニハ重大ナ關係ガアルモノト私ハ思フノデアリマス、縣ガ縣立公園ノ設置計畫ヲ致シマシタノハ去ル八年度デアツタト思ヒマスガ、其ノ御計畫當時公園ノ權威者デアアル博士各位ノ綿密ナ調査ノ下ニ、各方面ノ希望モアリマシタガ六大公園ヲ縣立ト致スコトニ決定ヲ致シタノデアリマスガ、舊イ話ノヤウデアリマスガ、嘗テ大野丈助氏ガ房總鐵道ノ社長時代大原マデ房總線ヲ延長シタ時ニ、其ノ社長ノ言フノニハ、私ハ此ノ千葉縣ヲ是非トモ循環鐵道ニシテシマツテ、將來ニ於テハ千葉縣ヲ東京市ノ公園ニシタイト、斯ウ云フコトヲ大野氏ガ云ハレタガ、ソレヲ思ヒマシテモ、實ハ當時ハ大分遠大ナコトヲ仰シヤルト思

ツタガ、今日ハ稍々ソレガ實現スルヤウナ形ニ相成ツタノデアリマス、トコロデ過般新聞紙上ニ依リマス、縣當局ガ東京市ノ方々ト綠地帯ノ地域ヲ決メルト云フノデ相談セラレ、三公園ガ此ノ綠地帯ノ中ニ決定セラレマシタ、残りノ九十九里公園、銚子公園、水郷公園ノ三公園ガ何故綠地帯ノ中ニ這入ラナカツタモノデアアルカト云フコトヲ御聞キシタイノデアリマス、一体公園ハ風光ヲ愛スルト同時ニ自然林等ヲ作リマシテ、其ノ自然林ノ力ニ依ツテ衛生ノ施設ガ十分出來得ルノデアルト思フ、現在東京市ニ於ケル上野公園、日比谷公園、淺草公園ノ如キハ現在ニ於テハ最早公園トシテノ價值ハ小デアルトトヲ私東京市ノ公園課長カラ聞イタノデアリマス、實際人口多ク塵埃ノ舞ツテ居ル東京市ハ今後益々發展イタスノデアリマスカラ、現在アルトコロノ公園ハ事實ニ於テ公園トシテノ價值ハナイカモ知レマセヌ、公園ハ東京市ニ於テハ衛生局内ノ公園課デヤツテ居リ衛生ヲ本位ニシテ居ルヤウニ承知スルノデアリマス、凡ソ人間トシテ何ガ一番大切デアルカト申シマスナラバ、如何ナル名譽モ、如何ナル地位モ、或ハ如何ナル財産モ人間ノ生命トハ替ヘラレナイノデアリマス、其ノ生命ヲ重ンズル意味ニ於テ大衆的ニドウ云フ衛生施設ヲスルカト申シマスレバ、ドウシテモ公園ノヤウナ大キナ計畫ノ下ニ大衆的ノ衛生施設ヲシナケレバ出來ナイコトト思フノデアリマス、幸ヒ縣ハ此ノ大キナ所ニ着眼イタサレマシテ大所高處カラ此ノ御計畫ヲサレタコトハ誠ニ時宜ヲ得タモノト私ハ信ズルノデアリマス、但シ先程三十七番ノ御質問ノ如ク本年ノ豫算ガ極メテ少ナク、僅カ九百圓位デハ此ノ六大公園ノ施設トシテハ到底出來ナイコトト思フノデアリマス、併ナ

ガラ先程ノ經濟部長ノ答辯ノ如ク僅カノ金ヲ以テモット有益ナモット大キナ仕事ヲヤラウト云フ御抱負ヲ伺ヒマシタノデ、ドウ云フヤウナ方法ニ依ツテヤルカハ分ラヌガ、兎ニ角部長ノ言葉ヲ信賴シテ私共ハ力ヲ合セテ此ノ仕事ヲヤツテ行キタイ、縣ノミニ此ノ仕事ヲヤレト云フコトハ勿論無理デアリマス、一体地方ノ開發ヲ圖ルニハ縣ト町村トガ相共ニ力ヲ合セナケレバ到底實行シ得ナイコトト思ヒマスノデ、私共ト致シマシテハドウシテモ縣ト力ヲ合セテ、サウシテ東京市ノ大多數ノ人ヲ縣下ニ誘引スル方法ヲ立テマシテ極力力ヲ盡シテ見タイト考ヘル次第デアリマス、唯ドウ云フ譯デ三公園ヲ綠地帯カラ除イタカト云フコトニ付テノ縣當局ノ意ノアル所ヲ伺ヒタイノデアリマス(降壇)

○番外五番(經濟部長坂井貞一君) 私カラ御答イタシマス、綠地帯ノ問題デアリマスガ、是ハ東京市ノ綠地帯デアリマシテ、實ハ東京ニ於キマシテ綠地帯ヲ決メマシタ時ニ此ノ三ツノ縣立公園ヲ入レルコトヲ實ハ除外サレテ居リマシタ、ソレデ引續キソレニ關係シマス會議ヲ過日本縣ニ於テ開イタノデアリマスガ、其ノ席上ニ於テ本縣ノ委員カラ是非此ノ銚子、九十九里及ビ佐原方面ノ三縣立公園モ他ノ三ツニ較ベテ決シテ引ケテ取ラナイヤウニ景色ノ好イ場所デアアル、而モ其處ニ參ルニ付テモ時間等モサウ不便ナ所デハナイ、東京市カラノ日歸リノ旅行ニハ適シタ所デ是ハ是非トモ入レテ貰ハナケレバナラヌト云フ議論ガ實ハ出タノデアリマス、併ナガラ東京カラ參ラレマシタ委員モ、東京ノ委員會デ決定シタ事項デアルカラ、今直チニ千葉縣ト開イタ此ノ會議ノ席上デ之ヲ決定スルト云フコトハ色々ノ事情カラ困難デアアルガ、併ナガラ將來此ノ問題ニ付テ何回モ會議

ヲ開クカラ其ノ時ニハ是非入レルヤウニ盡カスルト云フコトニナリマシテ、私共ノ方カラ出シマス答申案ニ付キマシテモ、サウ云フ希望條件ヲ付シテ實ハ決定シタヤウナ次第デアリマス、縣ト致シマシテモ是非トモ此ノ三公園ハ入レテ貰ヒタイト云フ意思ヲ持ツテ居リマス、其ノ點御了承ヲ願ヒマス

○十三番(島田彌久君) 私モ縣立公園ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、大体三十七番君ト所見ヲ同ジクスル者デアリマス、縣立公園デアルトカ觀光事業ト云フモノニ私ハ頗ル希望ト期待ヲ持ツテ居ル一人デアリマスガ、如何ニモ昨年ノ三千七百圓カラ九百圓ニ落スト云フコトハ、減リ方ガ餘リニ破格デアツテ、之ニハ何か今番外五番ノ御答辯以外ニ重大ナ理由ガ含マレテ居ナケレバナラヌ答デアルト考ヘラレルノデアリマス、唯初年度ニ於テハ人件費其ノ他ヲ含ンデ居ツタカラ三千七百圓ヲ計上シタガ、來年度ニ於テハツレ等ノコトガ除カレタカラ九百圓ニナツタト云フダケデハ少シク承服シ兼ネル御答辯ヂヤナイカト思フノデアリマス、故ニマダ年度ハ來年ノ三月三十一日マデアリマスカラ、此ノ先ドウ云フ御活動ヲ三千七百圓ノ豫算ヲ以テ縣當局ハ如何ナル事業ヲ如何ナル方法ニ依リ、如何ナル人ヲ動かシテドウ働カレタカ、或ハ其ノ金ヲ使ヒ果シテ居ルカ、或ハ又若干ノ餘裕ヲ殘シテアルカドウカ、若シ餘裕ヲ殘シテ居ルナラバ、年度内ニ其ノ餘裕ノ金ヲ以テドウ云フ御方針御計畫ノ下ニ活動ナサルノデアアルカト云フ點ヲ詳シク聞カナケレバ、此ノ三千七百圓カラ九百圓ニ大削減ヲ行ツタ理由ハ私ハ少シク了解シ兼ネルノデアリマ

ス、甚ダ御迷惑デセウガ此ノ點ヲ明瞭ニ一ツ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○番外六番(技師宮崎正夫君) 只今ノ十三番議員ノ御質問ニ對シテ私カラ御答イタシマス、前年度ノ三千七百圓ノ豫算ニ比シマシテ十一年度ハ僅カニ九百圓ヲ計上シタニ留マルノハ非常ニ減少ノ程度ガ激シイ、何カ理由ガアリハシナイカト云フ御尋ネデアリマシタガ、是ハ先程經濟部長カラ御答シマシタ通り前年度ニ於テハ人件費ヲ相當ノ金額計上イタシテ居ツタノデアリマス、昭和十年度ノ當初カラ、從來警察部衛生課主管デアリマシタモノガ經濟部土木課ノ主管ニ移リマシタノデ、都市計畫係ノ方デ事務ヲ擔當シテ着々調査ヲ進捗イタシタノデアリマス、先程モ御話ニ出タヤウニ各縣立公園候補地ノ寫眞ヲ撮影シマシテ、之ヲ廣ク縣下ニ使ツテ宣傳ノ用ニモ供スル、或ハ著名ナ畫家ニ依頼シテ代表的景勝ノ地ヲ油繪ニスルト云フヤウナコトモ致シマシタ、又各縣立公園區域ノ決定ヲ先般二回ニ分チテ委員會ヲ開キマシテ御協議ヲ願ツテ、ソレニ依ツテ決定シタヤウナ次第デアリマシテ、ソレ等ノ基本調査ニ相當ノ調査費ヲ要シタヤウナ次第デアリマス、尙ホ今後ニ於キマシテモ、一應縣立公園ノ區域ハ決定イタシマシタガ、是ハ觀光協會ノ方ノ仕事ト重大ナ關聯ガアリマス關係上、ソレ等ノ點ニ於テモ今後引續イテ協議ヲ續ケル積リデアリマスルシ、尙ホ景勝地ノ取締等ニ付テハ從來アリマスニコロノ風致ノ保存上、必要ナル廣告物取締規則デアルトカ、史蹟名勝天然紀念物保存法デアルトカ、其ノ他各種關聯スル規定ヲ活用イタシマシテ、消極的ノ方面デハアリマスガ、景勝保存ノ爲ニ今後モ此ノ種ノ調査ヲ必要トスルコトガ多々アルノデアリマシテ、大体只今申上

ゲタヤウナ仕事ヲ今年度内ニ出來ルダケ進メマシテ、基礎的ノ調査ダケヲ行ヒタイ、斯ウ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、何卒御諒承願ヒマス、一寸申添ヘマスガ、數字ニ付キマシテハ只今手許ニ持合シテ居リマセヌノデ、御必要デアリマシタナラバ後刻御手許マデ差上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス

○三十番(飯田鉄之助君) 議長……

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第七款

河川費負擔第一讀會

書記朗讀

第七款 河川費負擔

金四萬五千三百八十四圓

第一項 國庫納付金

金四萬五千三百八十四圓

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ

第八款第一讀會

書記朗讀

第八款 河川臺帳更正費

金六千四百四十一圓

第一項 河川臺帳更正費

金六千四百四十一圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○副議長(鈴木亮君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○副議長(鈴木亮君) 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス、第九款結核豫防費第一讀會

書記朗讀

第九款 結核豫防費

金一萬八千八百二十二圓

第一項 俸給及諸給

金五千五百十三圓

第二項 診療及養護費

金一萬三千三百九圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○副議長(鈴木亮君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○副議長(鈴木亮君) 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第十款早害地改良耕地事業職員費第一讀會

書記朗讀

第十款 早害地改良耕地事業職員費

金二萬圓

第一項 早害地改良耕地事業職員費

金二萬圓

○十九番(柳澤清春君) 説明ヲ願ヒマス

○番外七番(技師山中謙輔君) 早害地改良耕地事業職員費ニ於キマシテ前年度ニ比較シテ四千圓ヲ整理節約シテアリマス、是ハ第一目俸給及給料ニ於テ俸給ノ組替ヲ致シマシテ千五百圓ヲ整理節約シタノデアリマス、第二目ノ雜給ニ於テ御案内ノ通り此ノ事業費目ノ設定ハ八、九年ノ大早害ニ鑑ミマシテ此ノ款ヲ設ケタノデアリマスガ、其ノ當時ニ比シテ二千九十七圓位ハ整理節約シテモドウヤラ今後ノ事業ヲ經營スルノニ支障ナイト認メマシテ之ヲ整理節約シタノデアリマス、第三目ノ雜費ニ於テモ同様四百三圓ヲ節減シタ譯デアリマス

〔異議ナシ〕採決ト呼ブ者アリ

○十九番(柳澤清春君) 只今第十款早害地改良耕地事業職員費ニ付テノ説明ヲ承リマス、ト、各項ニ亘ツテ減額ヲ致シテ居ルノデアリマス、又内容説明ヲ承リマシテモ全部減ゼラレテ居ルヤウデアリマスガ、本縣ニ於テハ只今七百有余ノ耕地組合ガアリマシテ、曩ニハ臨時縣會ニ於テ早害耕地ニ對シテソレノ改良ヲ進メラルベク決議セラレテ居リマス、尙ホ款ヲ逐ツテ承リタイト存ジマスガ、左様ナ次第デアリマス折柄、此ノ職員費ヲ減ズルト云フコトハ事業上一大支障ヲ來スノデハナカラウカト存ズルノデアリマス、申上ゲル迄モナク耕地事業ノ仕事ハ農村ニ於テ農村民ガ之ヲシテ居ルノデアリマシテ、

誠ニ事務モ遅々トシテ進行イタサナイノデアリマス、縣ノ職員ヲ増置シテ吳レト云フコトハ數回ノ縣會ニ私共ハ要望イタシテ居ルノデアリマシテ、殊ニ本問題ハ旱害ノ問題デアリマスガ、耕地整理事業ニ對シマシテハ新聞紙上ニモ現レテ居リマス通り財務監督ノ不徹底ノ爲ニ色々ト惡評ガアルノデアリマス、地方農村ニ於テハ自己ノ資金ヲ投ジテ尊イ耕地整理事業ヲ實行スルノデアリマス、此ノ意味カラサウ云フ風ナ不正ナコトヲスルト云フコトハ決シテナイノデアリマスガ、帳面ノ取扱上經理決濟ノ取扱上ニ於テ不徹底ヲ缺ク、縣ノ指導監督宜シキヲ得ナイト云フ關係カラサウ云フ不祥ナコトヲ耳ニスルノデアリマス、此ノ職員費ヲ減スト云フコトハ只今計畫サレテ居リマス五百町歩未滿、五十町歩以上ノ面積ニ對シテモ尙ホ六千三百三十町歩ノ未改修地ガアルノデアリマス、是等ノ事業ヲ進行スル上ニ於テ之デ間ニ合フカラト云フノ當初豫算ヲ減シテ果シテ之デ仕事ガ順調ニ行キマスカ、經理決濟ノ問題又完了事務ニ於キマシテ私共更ニ考ヘサセラレル問題ガアルト思フノデアリマス、完了事務ニナリマスト是モ登記所ノ關係ヤ色々アリマシテ誠ニヤカマシイ、是等ヲ農村ノ方々ガ事務員トナツテ耕地整理事業ヲシテ行クト云フコトモ困ルノデアリマス、斯ウ云フ點カラ旱害地改良耕地事業ノ職員費ヲ減スト云フコトニ付テ私共意ヲ得ナイノデアリマス、此ノ點明確ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○番外七番(技師山中謙輔君) 旱害地改良耕地事業職員費ヲ大分減シテ居ルデハナイカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ只今御話ノ通り縣下ノ組合ハ約一千ニ近イ組合ガアリマ

ス、是等ノ事務ノ指導或ハ財務ノ監督或ハ耕地事業施行後ノ完了事務ヲ執行スルト云フ上ニ於キマシテハ十分ナル指導ヲ致シタイ考ヘヲ以チマシテ從來トモ行ナツテ參ツタノデアリマス、唯旱害地改良耕地事業職員費ハ御案内ノ通り先年御決定ヲ願ヒマシタ方針ニ依リマシテ年々千六百餘町歩ノ旱害地ヲ改良ヲヤツテ行カウ、斯ウ云フ方針ニ基キマシテ此ノ豫算ヲ編成イタシテ居ル譯デアリマシテ、所謂前段申上ゲタ各種ノ指導監督ヲ一般耕地整理費ヲ以チマシテ致シテ、サウシテ萬遠算ナキコトヲ期シタイト思フノデアリマス、幸ヒニシテ縣ノ財政ガ許スナラバ、寧ロ耕地整理方面ヲ十分充實ヲ圖ルト云フコトガ必要デハナイカト思フノデアリマス

○十九番(柳澤清春君) 只今ノ説明デ了承イタシマシタガ、御説明ノ中ニ年度計畫ヲ以テ此ノ事業ハ毎年一千六百町歩ヲ限度トシテオヤリナサルノデアアルカラ、此ノ豫算ヲ以テ差支ナイト云フヤウナ御説明ニ伺ヒマシタガ、然ラバ昨年度ノ豫算ニ於テ二萬四千圓ヲ計上シテ居リマスガ、更ニ本年ハ各目トモ減ジテ居リマスガ、四千圓減シテモ千六百町歩ノ年度計畫ハ差支ナイモノデアリマスナラバ、最初カラ二萬圓ダケデモ宜カツタノデハナイカト云フ風ニ考ヘマスガ、本年ハ水害デ苦シマシタガ、毎年旱害デ苦シンデ居ルコトハ申ス迄モナイノデアリマスカラ、ドウゾサウ云フ意味ニ於キマシテ來年度豫算ニ於テハ私ハ相當ノ豫算ヲ計上シテ貰ヒタイト御願ヒスル次第デアリマス

○三十一番(花澤壽太郎君) 俸給及給料デ一千五百圓ヲ減ジテ居リマスガ、是ハ人員ヲ減ズル御都合デアリマスカ、俸給ヲ減ズル關係デアリマスカ、此ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマ

ス、早害地帯ノ分ニ付テ斯様ナ減額ヲスルノハドウ云フモノカ、早害ノアリマシタ昭和八、九年ノ兩年度ニ於テ耕地課ニ於テハ餘リ多數ノ人ヲ増員シナカツタヤウニ承知イタシテ居ルノデアリマス、然ルニ其ノ間無理ナ仕事等モナサレタコトヲ目撃イタシテ居リ聞イテモ居リマスノデ、耕地課員ノ或ル一部ノ人ハ、劇務ノ爲ニ病氣トナリ缺勤イタシテ居ルヤウナ方モアルト云フコトモ承知イタシテ居ルノデアリマスガ、早害地帯ニ於ケル仕事ハ普通ノ耕地事業ノ仕事ヨリ酷イ仕事ヲヤツテ居ル、酷使サレテ居ル傾向ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、私共ハ早害地帯ノ關係カラ其ノ事情モ能ク承知イタシテ居リマスガ、全ク出張所等ニ於テモ夜ヲ日ニ繼イデヤラナケレバ手ガ足ラナイト云ツタヤウナヤリ方ヲ致シテ居ルコトハ常ニ私共目撃シテ居リマスガ、果シテ千五百圓ノ俸給ヲ減シテ事業遂行上何等支障ガナイモノカドウカト云フコトヲ御伺ヒシタイノデアリマス、尙ホ出張所其ノ他ニ於テ先程十九番議員ノ仰シヤル如ク町村ハ初メテノ仕事デアツテ事務ノ取扱上ニ於テハ相當指導ヲ願ハナケレバナラヌコトガ澤山アルト思フノデアリマス、然ルニ斯ウ云フ風ニ俸給ヲ減シテ尙且ツ事業ノ施行上差支ガナイノデアリマスカ、殊ニ九年度ノ事業繰延デ十年度ニ施行スル仕事モ相當アルト思ヒマスノデ、其ノ點心配ニナルノデ伺ヒマス

○番外七番(技師山中謙輔君) 只今三十一番ヨリ御同情アル御意見ヲ拜聴イタシマシテ感謝イタス次第デアリマス、御質問ノ俸給ノ節約デアリマスガ、是ハ人員ニ於テハ増減ヲ致シテ居ナイノデアリマス、唯月額俸給ニ於テ多少削減ヲ致シマシテ、經理ヲ致シマス

上ニ於テモ、又事業ヲ執行スル上ニ於テモ先ヅ我慢シテヤツテ行カレルダラウト云フ目安ノ下ニ整理節約ヲ致シテ居ル譯デアリマス、雜給雜費ノ如キモ八、九年度ハ御承知ノ通り非常ニ澤山ナ仕事ヲ行ヒ、又新設當時デアリマシタ爲ニ機械ヲ買ハナケレバナラヌト云フヤウナコトデ非常ニ大キナ金ヲ支出シナケレバナラヌノデ雜費ガアツタノデアリマスガ、此ノ際ハ出來得ルダケ是等ヲ整理節約シテ事業施行上大ナル支障ノナイヤウニ經理ヲシテ行キタイト云フ考ヘヲ以チマシテ此ノ豫算ヲ編成イタシタ譯デアリマス

○三十一番(花澤壽太郎君) 只今番外七番ノ御説明デ能ク了解イタシマシタガ、折角此處ニ出シタ案デアリマスカラ致シ方ガナイトシマシテモ、事務ノ執行上ニ於テ萬違算ナキヤウニ十分御注意セラレムコトヲ希望シテ私ノ質問ヲ打切りマス

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ

- 書記朗讀
- 第十一款 醫療救護費
- 第一項 事務費 金一萬三十一圓
- 第二項 事業費 金八百二十圓
- 金九千二百一十一圓

〔採決〕説明「御説明ヲ願ヒマス」採決「其ノ必要ナシ」ト呼ブ者アリ）
 ○副議長（鈴木亮君） 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
 〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ）

○副議長（鈴木亮君） 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第十二款教育費第一讀會
 書記朗讀

第十二款 教育費 金十一萬五千三百三十五圓

第一項 中學校費 金二萬四千六百十圓

第二項 高等女學校費 金二萬五千六百二十一圓

第三項 農業學校費 金四萬二千八百二十四圓

第四項 盲學校費 金四千三百七十圓

第五項 農業學校農産工業費 金五千八百六十圓

第六項 水産學校費 金一萬二千五百十圓

〔採決〕異議ナシ「説明ヲ願ヒマス」ト呼ブ者アリ）

○副議長（鈴木亮君） 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ）

○副議長（鈴木亮君） 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス、第十三款經濟更生諸費第一讀會

書記朗讀
 第十三款 經濟更生諸費 金九千二百二十四圓

第一項 委員會諸費 金八百五十圓

第二項 指導費 金三千七百六十五圓

第三項 負債整理費 金四千六百九圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ）

○副議長（鈴木亮君） 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ）

○副議長（鈴木亮君） 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第十四款團體更生活動費第一讀會

書記朗讀
 第十四款 團體更生活動費 金三千百圓

第一項 團體更生活動費 金三千百圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ）

○副議長（鈴木亮君） 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ）

○副議長（鈴木亮君） 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第十五款市町村土木補助費第一讀會

書記朗讀

第十五款 市町村土木補助費

金一萬四千二百二十四圓

第一項 道路橋梁費補助

金一萬三千八百四十九圓

第二項 治水堤防費補助

金三百七十五圓

○三十一番(花澤壽太郎君) 市町村土木補助費デアリマスガ、是ハ前年度及ビ其ノ以前ニ於テモ大体本縣ノ市町村土木補助費ハ七萬圓ヲ下ツタコトハナイト私ハ思ツテ居リマスガ、時局匡救事業トシテ市町村ガソレトハ縣及ビ國カラ七割五分ノ補助ヲ貰ツテ事業ヲヤツテ居ルノデアリマス、然ルニ本年更ニヤリ掛ケタ仕事ヲスルガ爲ニ、相當ノ希望ガアレバ之ニ對シマシテ、果シテ一萬四千余圓ノ額ヲ以テ其ノ希望ガ達セラレルカドウカヲ伺ヒマス

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○番外六番(技師宮崎正夫君) 三十一番ノ御質問ニ御答イタシマス、只今ノ御尋ネハ御尤モナ御質問デアリマスガ、何分縣ノ財政上ノ關係モアリマスノデ、本年度ニ於キマシテハ前年度ト同額ノ豫算ヲ計上イタシタノデアリマシテ、財政上ノ都合ガ付クヤウニナレバ御趣意ノヤウニ幾分ノ増額ヲ致スコトモ將來ノ問題トシテハ出來ルヤウナ時期モ來ヤウカト考ヘテ居リマス左様御承知ヲ願ヒマス

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○三十番(飯田鉄之助君) 私ハ現今道路ト云フモノガ非常ニ(「簡單」ト呼ブ者アリ) 農村

ニ關係アル問題デ、町村ノ動脈トモ云フベキモノデアルト思フガ、縣道編入ノ陳情ヤ何カ、殆ド毎日門前市ヲ爲シテ居ル状態デアリマス、ソコデ從來ハ此ノ町村土木費ノ補助費ハ五割ヲ補助シタモノデアリマス、而シテ今日ハ道路改修ヲ渴望シテ居ルノデアルカラ、町村デ脊負ヒ切レナイ負擔デアルナラバ、熱心ナ町村ニ對シテハ五割ノ補助ヲシテモ此ノ道路ノ完成ヲ期スルノガ今日時期ニ適シタ處置デヤナイカト思ハレマスガ、(「賛成」ト呼ブ者アリ) 縣當局ハ之ニ對シテ如何ナル考ヘテ持ツテ居ラレマスカ、御伺ヒイタシマス

○番外六番(技師宮崎正夫君) 三十番ノ御質問ニ御答イタシマス、町村土木費ノ補助ハ御説ノ通り五割マデハ出來ルコトニナツテ居リマスガ、是モ繰返シ申シマスヤウニ財政上ノ都合ガ付キ兼ネル以外ニハ理由ガナイノデアリマシテ、其ノ點御諒承ヲ願ヒマス

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセスカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○副議長(鈴木亮君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、暫時休憩シマス

午後二時十二分休憩

午後二時四十分開會

出席議員三十五名左ノ如シ

一 番	諏訪寬治君	二 番	石井與作君
三 番	伊藤博愛君	四 番	成島勇君
五 番	新藤退藏君	六 番	木村康哉君
七 番	大枝十兵衛君	八 番	川俣義郎君
九 番	浮谷竹次郎君	十 番	高野伴藏君
十一 番	川口爲之助君	十二 番	木島義夫君
十三 番	島田彌久君	十四 番	石橋保君
十五 番	木倉和一郎君	十六 番	石川善之助君
十八 番	古川長太郎君	十九 番	柳澤清春君
二十 番	平山成之助君	二十一 番	長島義三君
二十二 番	飯田惣兵衛君	二十三 番	横田清藏君
二十四 番	押元才司君	二十六 番	澁谷司君
二十八 番	小柴金一郎君	三十 番	飯田鉄之助君
三十一 番	花澤壽太郎君	三十三 番	鈴木亮君
三十五 番	一瀬房之助君	三十六 番	青木泰助君
三十七 番	染谷正治君	三十八 番	高瀨政吉君
三十九 番	星野懿吉君	四十 番	渡邊政治君
四十二 番	吉野力太郎君		

欠席議員七名左ノ如シ

十七 番	鋤柄良司君	二十五 番	吉堀正雄君
二十七 番	梨本太兵衛君	二十九 番	小谷三之助君
三十二 番	田中恭三君	三十四 番	茂木林藏君
四十一 番	石上新藤君		

○議長(吉野力太郎君) 開會イタシマス、第十六款勸業補助費……

○十八番(古川長太郎君) 第十六款勸業補助費ハ都合ガアリマスカラ跡廻シニ致シタイト
思ヒマス、動議ヲ提出イタシマス

(賛成)ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 只今ノ十八番ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ跡廻シニ致シマス、第十七款教育補助費

第一讀會

書記朗讀

第十七款	教育補助費	金八萬七千六百六十九圓
第一項	公立學校補助費	金千六百六十圓
第二項	青年學校補助費	金三萬八千九百七十二圓
第三項	市町村立小學校 教育補助費	金四萬一千圓

第四項 教育團體補助費

金五千五百三十七圓

○十九番(柳澤清春君) 本款ノ第二項青年學校ノ補助問題デアリマスガ、之ニ付キマシテハ一般質問ノ當時同僚各位ヨリ種々御質問ガアツタヤウデアリマス、御承知ノ通り初メテノ豫算計上デアリマスノデ、相當縣トシテハ本問題ニ付テハ慎重ナル態度ヲ以テ提案サレタコトト存ズルノデアリマスガ、恐ラク此ノ三萬八千數百圓ノ豫算ヲ以テマシテ、今回新タニ設置サレマシタル青年學校ニ對スル補助デ果シテ青年學校ノ目的ヲ達スルヤ否ヤ、青年學校ノ使命ハ頗ル重大デアリマシテ、所謂小學校ヲ卒業シテ壯丁検査ヲ受ケル迄ノ間智育方面ニ於テモ德育方面ニ於テモ相當必要性ヲ持ツテ居ルコトハ申上ゲル迄モナイノデアリマス、町村ト致シテ相當之ニ豫算ヲ計上シナケレバナラヌト云フコトハ、此ノ疲弊困憊シテ居ル農村ノ現況カラ鑑ミテ頗ル問題トナル仕事デアリマス、併ナガラ國家ノ事業トシテ青年ニ相當ノ教育ヲ施シテ行クト云フノデ、町村ニ於テハ苦シイ中カラ相當ノ豫算ヲ計上イタシマシテ其ノ目的達成ニ努メテ居ルノデアリマスガ、縣ハ是ダケノ豫算デ足リルトハ勿論思ツテ居ラヌト存ジマスガ、更ニ進ンデ政府ノ補助ヲ貰ツテ、所謂國家非常時ニ於ケルトコロノ農村子弟ノ教養ニ資スルトコロガ欲シイト思フノデアリマス、此ノ點カラ縣當局ニ於テハ本豫算ヲ來年度ニ於テ増額スル意思アリヤ否ヤ、尙ホ續イテ政府當局ニ向ツテ相當ノ補助ノ増額ヲ申請シテ、疲弊シテ居ル町村財政ノ一助トシテ貰ヒタイト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ縣當局ハドウ云フ御意思ヲ御持チニナツテ居リマスカ承リタイト存ジマス

○番外六番(主事多久三雄君)

只今ノ十九番議員ノ御質問ニ對シテ御答イタシマス、此ノ青年學校ガ設置サレマシテ、各地方ノ町村ニ於キマシテモ非常ナ犧牲ヲ拂ヒマシテ之ガ充實ニ努力シテ戴イテ居リマスコトハ私共日頃感謝シテ居ル次第デアリマス、之ニ付テ縣當局ガ相當ノ補助ヲスルト云フコトハ只今十九番議員ノ申サレタ通り極メテ必要ナコトデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、就キマシテハ此ノ第二項ノ青年學校補助費ノ問題デアリマスガ、三萬八千九百七十二圓ニナツテ居リマスガ、其ノ大部分ハ國庫ヨリ補助ヲ受ケルモノデアリマシテ、極ク少部分ガ縣費補助ニナツテ居リマス、御説ノヤウニ縣ニ於キマシテモ極力此ノ縣費補助ノ増額ニ付テハ出來ルダケ力ヲ入レマシテ御希望ニ副フヤウニ努力イタシタイト思ツテ居リマス、尙ホ國庫ノ補助モ幸ヒニ前年ヨリモ本年ハ相當増額サレテ居リマス、又國ト致シマシテモ次年度ニ相當ノ補助ヲ考ヘテ居ルヤウデアリマスカラ、此ノ點ニ付キマシテハ私共モ國ニ要求シテ十分御意思ノヤウニ努力イタシタイト考ヘテ居リマス

○十九番(柳澤清春君)

只今ノ御説明ニ依リマス此ノ三萬八千余圓ノ補助金ハ主トシテ國庫ニ財源ヲ求メテ居ルト云フ御説デアリマスガ、大部分ト云フコトニナリマス、凡ソドノ位ノ額ヲ國カラ戴イテ、純然タル縣費補助ハドノ位ノ程度デアリマスカ、此ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○番外六番(主事多久三雄君)

御答イタシマス、縣費ノ補助金ハ五百七十三圓デ、其ノ殘リガ國庫ノ補助デアリマス、是ハ九年度ニ實際ニ參リマシタモノヲ此處ニ計上イタシタ

次第デアリマス

○十九番(柳澤清春君) 非常ニ僅少ナ縣費補助ノヤウニ承知イタシマス、三萬八千九百七十二圓ノ内五百圓デアリマス、三萬八千幾圓ト云フ大部分ノ金額ガ國カラ來テ居ルノデアリマス、縣トシテハ今少シク町村ノ經濟實体ヲ御考ヘ下サイマシテ來年度ニ於テ豫算ヲ戴クコトハ出來マセヌデセウカ、各種ノ費目ニ付テ縣費ノ補助或ハ國庫ノ補助ガアル場合ニハ、町村ニ對シテ大体ニ於テ其ノ同額ノ豫算ヲ計上セヨ、是ハ青年學校ノ補助ノミナラズ、總テノ縣ノ補助、國ノ補助ガアル場合、其ノ町村ニ於テハ其ノ補助額ノ倍額ハ何時モ計上サセラレルノデアリマス、其ノ見地カラ申シマス、政府カラ三萬八千四百圓ヲ頂戴シテ、縣ハ僅カニ五百圓ダケノ補助デ、此ノ三百三十有餘箇町村ニ振向ケルト云フコトニナリマス、一町村二圓平均ニ當ラヌト云フヤウナ計數ガ出テ來ルノデハナイカ、政府ノ補助ガ只今申シタヤウナ關係デアルカラ、縣ハ之ニ對シテ來年度ニ於テ補助増額ノ御意思アリヤ否ヤ、此ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○番外六番(主事多久三雄君) 只今重ネテノ極メテ御熱心ナル御希望デアリ、私共モ其ノ點ニ付テハ非常ニ希望シテ居ル點デアリマスカラ、來年度以後ニ於テモ出來ルダケ此ノ青年學校補助費ノ増額ニ付キマシテハ努力イタス考ヘデアリマス

(採決ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
(異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第十八款衛生補助費第一讀會
書記朗讀

第十八款 衛生補助費

金四萬七千二十九圓

第一項 衛生補助費

金四萬七千二十九圓

(採決「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
(異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ左様決シマス、次ハ第十九款耕地整理及開墾獎勵補助費第一讀會
書記朗讀

第十九款 耕地整理及開墾獎勵補助費

金一萬九千四百十四圓

第一項 耕地整理補助費

金一萬四千四百五十圓

第二項 開墾獎勵補助費

金一千六百圓

第三項 耕地協會補助費

金六百圓

第四項 暗渠排水補助費

金二千七百六十四圓

(採決「ト呼ブ者アリ」)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ左様決定イタシマス、次ハ第二十款神職
會及神社協會補助費第一讀會
書記朗讀

第二十款 神職會及神社協會補助費 金四百七十六圓

第一項 神職會補助費 金三百五十圓

第二項 神社協會補助費 金百二十六圓
〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 本款ヲ第二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メテ左様決シマス、次ハ第二十一款在郷軍人會補
助費第一讀會
書記朗讀

第二十一款 在郷軍人會補助費 金九百六十四圓

第一項 在郷軍人會補助費 金九百六十四圓
〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ左様決シマス、次ハ第二十二款恩賜財團濟生
會補助費第一讀會
書記朗讀

第二十二款 恩賜財團濟生會補助費 金三百七十圓

第一項 地方救療補助費 金三百七十圓
〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ左様決シマス、次ハ第二十三款統計補助
費第一讀會
書記朗讀

第二十三款 統計補助費 金一萬四千八百九十九圓

第一項 統計補助費 金一萬四千七百七十三圓

第二項 統計協會補助費 金百二十六圓
〔採決〕ト呼ブ者アリ
○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌ

カ
 (「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)
 ○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ左様決シマス、次ハ第二十四款町村經濟更生施設費補助第一讀會
 書記朗讀

第二十四款 町村經濟更生施設費補助 金五百圓

第一項 町村經濟更生施設費補助 金五百圓

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
 (「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ左様決シマス、次ハ第二十五款町村負債整理施設費補助第一讀會
 書記朗讀

第二十五款 町村負債整理施設費補助 金三千五百圓

第一項 町村負債整理施設費補助 金三千五百圓

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
 (「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)
 ○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ左様決シマス、次ハ第二十六款早害地改良耕地事業補助費第一讀會
 書記朗讀

第二十六款 早害地改良耕地事業補助費 金五萬圓

第一項 早害地改良耕地事業補助費 金五萬圓

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
 (「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ左様決シマス、第二十七款 社會事業補助費第一讀會
 書記朗讀

第二十七款 社會事業補助費 金二千二百三十四圓

第一項 社會事業補助費 金二千二百三十四圓

○二十三番(横田清藏君) 二、三御伺ヒシタイ點ガアリマス、社會事業補助費ノ中デ公益質屋補助ガアリマスガ、公益質屋ノコトニ付テ二三ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス、縣ハ公益質屋ノ設置ヲ獎勵シテ居ラレルコトト思ヒマスガ、現在公益質屋ガ何箇所位アルカ、又ドノ方面ニ公益質屋ガ多ク分布サレテ居ルカト云フコトガ第一デアリマス、本年ハ七百圓ノ補助ニナツテ居リ、約五百圓減額サレテ居リマスガ、ドウ云フ理由デ減額ナサツタノデアルカ、ソレガ一ツ、私ノ考ヘデハ公益質屋ト云フモノハ現在ノ下層階級ノ多クノ方々ガ之ニ依ツテ自ラ生キル非常ニ有益ナ施設デアルト思ツテ居リマスガ、最近各方面ニ於テ其ノ有益ナ事業ガ若シ萎靡トシテ振ハナイトカ、又其ノ設置ガ我々ノ考ヘテ居タヤウニ多クナツテ行カナイト云フヤウナコトガアリマスナラバ、ソレニ對シテ縣當局ハドシテ方法デ之ヲ獎勵シテ行クカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○番外六番(屬中村勝治君) 私カラ御答申シマス、現在ノ公益質屋ノ數ハ二十個所アリマス、ソレカラドシテノ方面ニ公益質屋ガアルカト云フ御尋ネデアリマスガ、大体縣下各方面ニ亘ツテ居リマスガ、長生、山武、東葛方面ニ殊ニ多イノデアリマス……

○二十三番(横田清藏君) 長生ハ何箇所デスカ

○番外六番(屬中村勝治君) 其ノ數字ハ今調べタモノガアリマセヌガ、ソレカラ七百圓ニ補助ヲ減額イタシテ理由デアリマスガ、是ハ御承知ノヤウニ罹災救助基金法ガ改正セラレマシテ、今マデノヤウニ救護費ノ補助バカリニ出スノデヤナク、一般ノ社會事業ノ獎勵ニモ罹災救助基金ノ利子ガ出ルヤウニナツテ居ツタノデアリマス、トコロガ其ノ罹災

救助基金ノ規定ノ中ニハ當分ノ中ト云フ文字ガアツタノデアリマスガ、其ノ解釋ガ通牒ニ依リマシテ昭和十年度マデニナツテ居リマスノデ、遺憾ナガラ來年度ハ其ノ利子ヲ運用スルコトガ出來ナイノデアリマス、又將來公益質屋ヲドウ云フ風ニ獎勵スルカ、此ノ點ニ付キマシテハ細民ノ金融機關デアリマスノデ、是非各方面ニ亘ツテ獎勵シタイト思ツテ居リマスガ、現在ノトコロ篤志補助ト云フ關係上、國ノ方ノ豫算ガドノ位アルカ、國ノ方デ何箇所設置スルカト云フヤウナコトニ依リ相當打撃ヲ與ヘラレルノデ、其ノ點特ニ國ノ方ト打合セシタ上デナケレバ出來ナイノデスガ、縣トシテハ成ルベク多ク獎勵シタイト思ツテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○二十三番(横田清藏君) 昨年モ私ハ之ニ付テ伺ツタノデアリマスガ、昨年ハ十八箇所ト記憶シテ居リマス、二箇所殖エタコトハ公益質屋ヲ利用スル階級ノ方々ノ爲ニ非常ニ結構ナコトト思ヒマス、少シ餘談ニ亘リマスガ、現在社會事業ノ方面カラ見マスルト方面委員ト云フモノガアツテ、是ハ非常ニ結構ナコトデアリマスガ、方面事業ニ依ツテ救ハレル階級ノ人ハ大体全部是ハ何等カノ惠ミヲ受ケテ居ル、公益質屋ハソレヨリモ稍々上ノ階級ノ人ガ、自分ノ何等カノ價値アル物ヲ質屋ニ提供シテ、ソレニ依ツテ自分ノ生業ナリ或ハ經濟方面ナリニ使用スル、サウシテ自分ヲ生カスト云フ仕事デアリマシテ、是ハ各方面トモ、實際ニ行ハレテ居ル所ニハ非常ニ有難イト考ヘラレテ居ルコトハ事實デアリマス、トコロガ此ノ點ハ御聞キシナケレバ分リマセヌガ、サウ云フ事業デアリマスカラ、漁村方面ナドデハドシ、公益質屋ガ出來ナケレバナラスト思フ、トコロガソレ

ノ出來ナイ理由ハ、私ノ考ヘマスノニコシトガアルト思フ、質屋ハ結構デアルガ、從來ノ質屋ガ各地方々々相當有力ナ方ガ經營シテ居ラレル、ソシテ其ノ質屋ノ狀況ハ私ガ申上ゲマセヌデモ、一般ノ質屋ガドウ云フモノデアカト云フコトハ既ニ御承知ノコトデアルト思ヒマスガ、ソレニモ拘ラズ此ノ公益質屋ノ出來ナイト云フノハサウ云フ方々カラ反對ガアル、裏面ハドンナコトガアルカ知レマセヌガ、表面ニハ斯ウ云フ方面ノ反對ガアルヤウニ聞イテ居リマス、又公益質屋ヲヤルト町村ハ相當ニ支出ヲシナケレバナラヌ、金ヲ借リテ來テ安イ利息デ貸シテ居ルノデスカラ、其ノ爲ニ、窮迫シテ居ル町村費ヲ尙ホ餘計掛ケルコトガ出來ナイト云フノガ表面ノ大キナ反對デアリマスガ、各町村ノ當局者ハ公益質屋ハ結構ダカラヤリタイガヤラナイノハ其ノ點ニアラウト思フノデアリマス、收支相償ハナイ、收支償ハナイ爲ニ各町村ノ多數ノ下層階級ノ人ガ斯ウ云フ仕事カラ救ハレナイトスルナラバ、是ハ何等カノ方法デ縣ハ今少シク補助ノ増額ヲシテ、町村當局ガ施設シ易イヤウニスルコトガ結構ナコトデハナイカト思フノデス、昨年私ハ之ニ付テ希望ヲ申上ゲマシタ時ニ、其ノ點ニ付テハ十分ニ考慮スルト云フ御答辯デアツタ、私ハソレヲ感違ヒシテ來年ハ多分増シテドコノ町村デモ公益質屋ヲドン／＼設置スルヤウナ運ビニナルモノカト實ハ思ツテ居リマシタ、サウスルト今年ノ豫算ヲ見マスト、千二百圓位ノ中カラ五百圓減額ニナツテ居リマシテ、無論補助ヲシナケレバ公益質屋ト云フモノハ置カレナイ程ソナニ價値ガナイモノデハナイト思ヒマスガ、各町村ノ事情ハサウ云フノガ主トナツテ、費用ガ澤山掛カルカライカスト云フサウ云フ理由ノ

下ニ是ガ置カレナイトスル、サウシテ縣ハ之ノ設置ノ獎勵ヲナサルトスルナラバ、其ノ一番大切ナ部分ニカヲ入レナケレバ、折角此ノ立派ナ事業、細民ガ自ラ之ニ依ツテ立タウトスル此ノ立派ナ施設ガ、將來モサウ云フ經濟上ノ一ツノ事情ガ支障トナツテ思フヤウニ進ンデ行カナイノデハナイカト思ヒマス、サウ云フ次第デアリマスカラ來年度ニ於テハ特ニ此ノ補助ハ縣費ヲ以テ増額シテ戴キタイト云フ考ヘデアリマス、サウデナク若シ何カ他ノ理由デ此ノ公益質屋ノ設置ガ進ンデ行カナイト云フナラバ其ノ點モ併セテ御伺ヒシテ置キマス

○番外六番(屬中村勝治君) 御答申上ゲマス、昨年ノ縣會ニ於キマシテ色々御意見ガ出マシタニ付キマシテ、當局ト致シマシテモ非常ニ考慮イタシマシテ、何トカ公益質屋ノ補助費ヲ増額シタイト思ツタノデアリマスガ、先程モ申シタヤウナ事情デ遺憾ナガラ七百圓以上支出ガ出來ナカツタノデアリマス、ソレカラ公益質屋ガ何故割合ニ殖エナイカ、ドウ云フ原因デアアルカト云フヤウナ御尋ネデアリマスガ、縣デモ相當獎勵イタシテ居ルノデアリマスガマダ一般ノ御理解ガ少イノチヤナイカト思ハレル節ガアリマス、ドチラカト申シマスト從來モ相當質屋ヲ利用サレテ居ル方面ハ割合早ク御理解ガ付クヤウデアリマスガ、一般ニ左程利用ノナイ所ハ今以テ幾ラ獎勵シテモ駄目ナヤウナ状態ニナツテ居リマス、何レニシテモ縣デ何箇所豫定シマシテモ、國ノ方デ一年ニ二箇所トカ三箇所トカノ少イ豫算シカナイノデ、一應希望シマシテモ今ノ所不可能ノ状態ニナツテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○二十三番(横田清藏君) 大体諒承イタシマシタ

○議長(吉野力太郎君) 御諮リ致シマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次
ハ第二十八款、町村電話架設補助費第一讀會
書記朗讀

第二十八款 町村電話架設補助費 金三百八十圓

第一項 町村電話架設補助費 金三百八十圓

○三番(伊藤博愛君) 此ノ町村電話架設補助費ハ昨年度ノ殆ド半額ニナツテ居リマスガ、
電話ノナイ町村ハ非常ニ不便ヲ感ジマス、現ニ突發的ノ事件デ伺ヒラ立テルト云フ折ニ
モ、町村カラ出テ來ナケレバ聞クコトモ出來ナイト云フヤウナ状態デアリマシテ、サウ
云フ方面カラ見マスル時ニ、此ノ電話ガアルトナイニ依ツテ、町村ニ取ツテハ非常ナ便
不便ガアルノデアリマス、又縣カラ見マシテモ各町村ニ對シテ例ヘバ報告事項ノ如キモ
ノヲ要求スル場合、電話ガアツタナラバ非常ニ簡便ニ要求モ出來ル譯デアリマスガ、無
イ所ニハ書面ヲ以テヤル、數日ヲ費スト云フヤウナ關係上非常ニ不便ヲ感ズル譯デアリ
マス、デ此ノ減ツタノハ殆ド行亘ツタト云フコトデアリマスカ、行亘ラナイガ農村不況
ノ爲ニ之ヲ施設スル費用ガナイカラ、或ハ縣ノ補助費ガ不足デアルカラ希望スル町村ガ
ナイト云フノデアリマスカ、其ノ點ヲ御聞キシマス

○番外三番(事務官盛本完君) 私カラ御答申上ゲマス、本年度ノ額ハ減ツテ居ルノデアリ
マスガ、此ノ計算ノ基準ハ只今マデ申請ノアリマシタモノニ付テノミ計上シタノデ、其
ノ年其ノ年ニ申請ノアリマスモノニ付テ、大体二千圓以下ノ工事ニ對シテハ三割、ソレ
ヲ超エルモノニハ三割五分ヲヤツテ居ルノデスガ、申請ガナイノデ、其ノ關係上減ツテ
居ルノデアリマス

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ左様決シマス、次ハ第二十九款縣備員共
濟會補助費第一讀會
書記朗讀

第二十九款 縣備員共濟會補助費 金二千八百十八圓

第一項 縣備員共濟會補助費 金二千八百十八圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ左様決定イタシマス、次ハ第三十款市町
村吏員互助會助成費第一讀會

書記朗讀

第三十款

市町村吏員
互助會助成費

金五千圓

第一項

市町村吏員
互助會助成費

金五千圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君)

採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

○議長(吉野力太郎君)

御異議ナイト認メマシテ左様決定イタシマス、次ハ第三十一款道

路改良費本年度支出額第一讀會

書記朗讀

第三十一款

道路改良費
本年度支出額

金百九萬圓

第一項

道路改良費
本年度支出額

金百九萬圓

○五番(新藤退藏君)

私ノ此ノ款デ御聞キスルノハ他ノ款ト關聯ヲシテ居リマスノデ、殊ニ農業水利改良費ト關係シテ居リマスノデ豫メ御許シテ願ヒタイト思ヒマス、本款ノ經費ハ本縣ニ於ケル道路事業ノ五箇年計畫ノ最モ大キナ事業デアリマス、ソレニ付キマシテ私共ノ方ノ地先モ此ノ方ニ關係ヲ持ツテ居リマスガ、他ノ農業水利ニ依リマス土木事

業ト本款ニ依リマス工事トガゴツチャニナツタ所ガアリ、ソレガ爲ニ先年計畫サレマシタ農業水利事業改良費ニ依ツテ出來マシタ道路並ニソレニ依リ架設シヤウトシタ橋梁ノ計畫ガ本改良費ノ爲ニ又新シクナツテ來タヤウナ次第デアリマス、御承知ノ通り私ノ方ノ養老川ノ河川改良ハ承認額僅カ七十萬圓ト承知シテ居リマス、ソレニ依リ河川ヲ擴ゲタ關係上、橋梁モ矢張り延長スルヤウナ計畫ニナツテ居ッタノデアリマス、トコロガ新シク此ノ計畫ガ出來タ爲ニ道路ハ造リマシタガ橋梁ハ繼足シ致サナカツタノデアリマス、トコロガ此ノ計畫ニ依リマシテ新タニ脇ノ方ニ道路ヲ持ツテ參リマシタカラ、都合其處ニハ縣道ガ同ジ所ニ三本現在敷カレテ居ルノデアリマス、デ或ル事業ヲ計畫スルニ付テハ五年トカ十年トカ云フ風ニ先ヲ見込ンデヤツテ行クベキモノデヤナイカト思フ、事業計畫ヲサウ云フ風ニスルナラバ、農業水利ニ依ル事業ヲ致シマスニハ豫メ可能デアルカナイカヲ考ヘテヤルベキデヤナイカト考ヘテ居リマス、此ノ計畫ニ依リマス、新シイ道路橋梁ノ計畫ガ惡イト云フ譯デハナイガ、非常ニ縣トシテ不統一デヤナイカ、サウ云フ考ヘテ私ノミナラズ土地ノ人ハ持ツテ居ル、縣ハ色々ナ計畫ヲスルガ非常ニ無駄錢ヲ使ツテ居ルデヤナイカト云フコトヲ實際ニ云ツテ居リマス、ナニセ僅カノ所ニ縣道ガ三本モ敷カレテ居ルノデアリマスカラ、縣ノ方ノ關係ヲ多少知ツテ居ル方ハ、片ツ方ハ耕地課關係、片ツ方ハ土木關係ノ仕事デアルト云フヤウナコトハ承知シテ居リマスガ、無關係ノ方カラ見マスルト、縣費ヲ無駄ニ使ツテ居ルノデヤナイカト云フヤウナ考ヘテ持ツノハ當リ前デヤナイカト思フ、私ハ先程來他ノ同僚諸君ノ色々ノ御説ヲ聞イテ

居リマス、土木費ニ付テハ尙ホ經費ヲ増額シテモ、即チ端的ニ申シマス課税ヲ重クシテモ土木費ノ方ヲ殖ヤセト云フヤウナ御議論サヘ聞イテ居リマスガ、ソレニモ拘ラズ斯ウ云フ風ニ同ジ所ニ余分ナ費用ヲ使フト云フコトハ甚ダ縣ノ統制ガ付イテ居ナイデヤナイカト云フヤウナ考ヘテ持ツテ居ルノデアリマス、又具体的ナ例ヲ擧ゲマスト先年綜合「グラウンド」ノ寄附ヲ縣ニ於テ募ツタコトガアリマシタ、其ノ時各課ニ於テ纏メルト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、一人ノ者ニ對シテ或ハ警察部、或ハ庶務課、或ハ地方課、或ハ商工水産課ト云フヤウニ色々ノ方面カラ寄附ヲ募リニ參リマス爲ニ、受持額ノ少イ課ノ分ヲ寄附シマシタラ、跡カラ又寄附ヲ募リニ來ル、誠ニ地方人トシテハ不思議ノ至リデアリマス、同ジコトヲヤル、寄附ヲ二度モ三度モ、又寄附、亦寄附ト云フノハ非常ニ不思議ニ思ツタノデアリマス、是ハ要スルニ縣ノ内部ニ於テ甚ダ不統制デヤナイカト云フ感ジヲ持ツタノデアリマス、最近新聞ナド見マスト銚子警察署ノ出來ナイト云フノハ、先日ノ警察部長サンノ御答辯ニ依リマスと言フニ言ハレナイ理由未ダ其ノ實行ノ運ビニ至ラナイ、斯ウ云フヤウナコトヲ仰シヤイマスガ、ソレハ警察部ノ關係ト經濟部トノ關係ガ多少ソコニ齟齬ヲ來シテ居ル爲ニ出來ナイノダ、ソレバカリデハナイガ、ソレモ一ツノ原因デアルト云フヤウナコトヲ新聞デ拜聽シタノデアリマス、併シ是ハ將來ノコトデアリマスシ、又新聞ニアツタコトダケヲ言フノデアリマスガ、既ニ行ハレテ居ルコトカラ考ヘテモ其ノ點甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、是等ニ付キマシテ縣ノ首腦部トシテハ如何ナル御考ヘテ以テ將來對處セラレルノデアルカ、其ノ點

ヲ御伺ヒイタシタイト思ヒマス、尙ホ第二點トシテ此ノ改良費デアリマスガ、改良セラレマシタ道路、是ハ道路敷ヲ變ヘマス關係上大分縣道ニ不用地ガ出來タヤウデアリマス、勿論砂利置場トカ道路修繕ノ關係上、或ハ其ノ儘縣デ所有ナサツテ居ツタ方ガ宜イト云フヤウナ土地モアリマス、ケレドモ又將來別ニ必要ガナイデヤナイカト考ヘラレルヤウナ土地モ多クアリマスガ、是ハドウ云フ風ニカ御處分ナサルダラウト思ヒマスガ、其ノ處分ハドウ云フ風ニナサルノデアルカ承リタイノデアリマス、尙ホ私個人ノ考ヘテ申シマス、先般土木課長サンノ御答ニ依リマス、道路敷ノ買收ハ穩ヤカニ巧ク行ツテ居ルト云フ御話デスガ、一般ノ者ハサウ思ツテ居ナイ、端的ニ申シマス買收價格ガ非常ニ安イト云フ考ヘテ持ツテ居ラレルデヤナイカト思ヒマス、ソコデ是等ハ幾ラカ關係地ノ地主ガソレダケノ負擔ヲシタ形ニナツテ居ルノデアリマスカラ、ソレ等ノ者ニ不用地ハ拂下ゲルトカノ方法ハドウカト云フ考ヘテ持ツテ居リマスガ、果シテドウ云フ方法デ御處分ナサルカ、全然御處分ナサラナイカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレデ先程モ申シマス通り五百萬圓計畫ノ土木事業デアリマスカラ縣下ヲ通ジタナラバ可成リ大キナ不用地ガ出來テ居ルデヤナイカ、之ヲ拂下ゲニナルト致シマシテ其ノ金ニ依ツテ土木ノ事業ヲ起ス、其ノ補足ニスルト云フヤウナコトニシマス一舉兩得ト云フヤウナコトニモナルヤウニ考ヘラレマスガ、其ノ點御伺ヒイタシマス

○番外六番(技師宮崎正夫君) 只今五番議員ヨリノ御尋ネニ御答イタシマス、第一點ノ養老川筋ノ農業水利ノ關係ト道路改修ノ關係トニ於テ同一ノ仕事ヲヤツテ居ルデヤナイカ

ト云フ御尋ネデアリマシタガ、是ハ養老川ノ農業水利事業ノ時期ト、道路改修、其ノ主
 タルモノハ養老橋ノ改築ニ伴フ道路ノ改修ニナリマスノデ、執行ノ時期ガ一致イタシマ
 セヌ爲ニ、河川改修ト道路改修、橋梁改築ガ同時ニ實行シ得ナカッタ、其ノ點デ重複シ
 タ仕事ヲヤッタヤウナ形ニナツテ居ルノデアリマスガ、幸ヒニシテ執行ノ時期等ガ合致
 イタシマスレバソレ等ノコトハナカッタノデアリマシテ、今後トモサウ云フ場合ノ仕事
 ニ對シマシテハ主務課同士ガ能ク連絡統一ヲ保チマシテ御話ノヤウナコトガ出來ルダケ
 ナイヤウニ努力シタイト考ヘテ居リマス、第二點ノ道路ノ改良事業ニ依リマシテ舊府縣
 道ノ不用地ガ出來ルヂヤナイカ、ソレハドウ云フ風ニ處分ヲシテ居ルカ、又ソレノ賣却
 等ニ依ツテ財源ニ充テル考ヘハナイカト云フヤウナ意味ノ御尋ネカト承リマシタガ、縣
 道ノ改修ニ依リマシテ從來ノ府縣道ガ全ク不用地トナリマス場合ト、其ノ縣道ハ矢張り
 町村道トシテ残スヤウナ場合モアルノデアリマス、ソレカラ現實ニ不用地ニナリマス場
 合ハソレト地先ノ關係等ヲ考慮シ、賣却拂下ノ處分ヲシテ居ルノデアリマス、其ノ點
 ハ常ニ參事會等ニ諮リマシテ手續ヲ執リ御説ノ通りニ處分ヲ實行イタシテ居ルノデアリ
 マス、左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(吉野力太郎君) 時間ヲ延長イタシマス

○五番(新藤退藏君) 只今ノ御答辯デ大体諒承イタシマシタガ、其ノ處分スル方法ヲモウ
 少シ詳シク承リタイト思ヒマス、詰リ私ノ考ヘデスト、買收價格ガ安クハナイカ、デサ
 ウ云フ際ハ多少デモ犠牲ニナツタ方ニ先ヅ優先的ニヤルベキヂヤナイカ、斯ウ云フヤウ

ナ考ヘテ持ツテ居リマス、併ナガラソレモ色々都合ガアリマスガ、唯拂下ニ依ツテ多
 クノ金ヲ得ルト云フ目的ナラバ或ハ入札等ニ依ツテ處分スルコトハ適當カト思ヒマス
 ガ、ソレ等ヲ斟酌ナサツテドウ云フ風ニヤル御考ヘデアルカ、其ノ點ヲ承リタイノデア
 リマス

○番外六番(技師宮崎正夫君) 重ネテノ御尋ネニ御答イタシマス、先程申シマシタヤウニ
 其ノ處分ヲ致シマス土地ノ地先ノ個人ニ大体拂下ゲルコトニナツテ居リマス、ト申シマ
 スノハ之ヲ競争入札等ニ依リマス場合ハ、狭少ナ道路敷等ガ縁ノナイ他ノ者ノ手ニ渡ル
 ト云フコトモ考ヘラレルノデアリマシテ、地先關係ノアリマスモノニ、特殊ノ場合モア
 リマセウガ、大体優先的ニ拂下ゲルコトニナツテ居リマス

(採決ト呼ブ者アリ)

○三番(伊藤博愛君) 過日ノ會議中私ガ道路ノ改修ニ付テ質問イタシマシタ時ノ御答ガ、
 未改修道路ハ、千九百四十二「キロ」アリマシテ、改修費ノ總額ハ四千百六十五萬圓ヲ
 要スルト云フコトデアリマスガ、此ノ本日ノ分ハ別口デアリマスガ、併シ第二款ノ改修
 費ヲ見マス時約一箇年ニ三十萬圓、斯ウ見テ參リマス時道路ダケノ改修費デモ三千七百
 五十五萬圓ヲ要スルト云フ風ニナツテ居リマスガ、サウ致シマスト百年以上掛ラナケレ
 バナラスト云フヤウナコトニナリマスガ、我々議員ハ前年度ニ於テ六十何路線カヲ認定
 シタコトニナツテ居ルノデアリマス、其ノ當時ノ議員ガ決議シタモノニ對シテ、忠實デ
 アルナラバ、少クトモ此ノ改修費ダケデモ年度割ニシテ決定スルト云フノガ責任アル政

治デアラウト思フノデアリマス、本年度出ナカッタノハ遺憾デアリマスガ、來年度アタリニナリマシテ此ノ年度計畫ヲ立テテ、何年カ或ハ十何年カノ間ニハ少クトモ此ノ六十何線ノ縣道改修ヲスルト云フ案ヲ立テ、貫ヒタイト思ヒマスガ、當局ニサウ云フ御意思ガアルカナイカヲ言明シテ戴キタイト思ヒマス

○番外六番(技師宮崎正夫君) 只今ノ三番ノ御尋ネデアリマスガ、財政上ニ及ボス影響ガ非常ニ甚大ナ問題デアリマスカラ、只今ノトコロ此ノ席デソレ等ノ考ヘガアルナイト云フコトヲハツキリ御答イタシ兼ネル次第デアリマスカラドウゾ……

○三番(伊藤博愛君) 希望ガアリマスガ……

○議長(吉野力太郎君) 御諮リ致シマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、異議ナキモノト認メテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第三十二款館山港修築費本年度支出額第一讀會
書記朗讀

第三十二款 館山港修築費 金二萬八千圓
本年度支出額

第一項 館山港修築費 金二萬八千圓
本年度支出額
〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第三十三款大原漁港修築費本年度支出額第一讀會
書記朗讀

第三十三款 大原漁港修築費 金五萬三千圓
本年度支出額

第一項 大原漁港修築費 金五萬三千圓
本年度支出額
〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ左様決定イタシマス、次ハ第三十四款鴨川漁港修築費本年度支出額第一讀會
書記朗讀

第三十四款 鴨川漁港修築費 金八萬圓
本年度支出額

第一項 鴨川漁港修築費 金八萬圓
本年度支出額

〔採決〕ト呼ブ者アリ
 ○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
 〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
 ○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ左様決定イタシマス、次ハ第三十五款第
 二期道路改良費本年度支出額第一讀會
 書記朗讀

第三十五款 第二期道路改良費
 本年度支出額 金五萬圓

第一項 第二期道路改良費
 本年度支出額 金五萬圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ
 ○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
 〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
 ○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第三
 十六款江戸川架橋費分擔金本年度支出額第一讀會
 書記朗讀

第三十六款 江戸川架橋費分擔金
 本年度支出額 金六萬六千百圓

第一項 江戸川架橋費分擔金
 本年度支出額 金六萬六千百圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ
 ○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
 〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
 ○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第三
 十七款勝浦漁港修築費本年度支出額第一讀會
 書記朗讀

第三十七款 勝浦漁港修築費
 本年度支出額 金三萬圓

第一項 勝浦漁港修築費
 本年度支出額 金三萬圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ
 ○二番(石井與作君) 議長……
 ○議長(吉野力太郎君) 當局ノ説明ガアリマス、初メテノ豫算デスカラ……
 ○二番(石井與作君) 私ノ方デモ説明ヲ要求シマス
 ○番外六番(技師宮崎正夫君) 本豫算ニ付キマシテ説明イタシマス、勝浦漁港ノ位置ハ申
 ス迄モナク本縣ニ於テ銚子漁港ニ亞イデノ重要ナ位置ヲ占メテ居リマス、本縣屈指ノ大
 漁場ヲ前方ニ控ヘ、後方ニハ帝都或ハ横濱等ノ大消費地ヲ控ヘテ居リマシテ、重要ナ漁

港デアリマスコトハ今更申上ゲル必要モナイト思フノデアリマス、先年一部のノ港灣設備ガ出來マシテ、防波堤港内浚渫等モ極メテ小規模デアリマスガ竣工イタシテ居リマスガ、漁船ノ數ノ増加、或ハ其ノ後ノ港内ノ深度ノ維持ノ困難ナル點等カラシテ、此ノ重要ナル漁港ヲ更ニ早晚修築スルノ必要ヲ從來カラモ認メテ居ツタノデアリマスガ、茲ニ總額五十萬圓ノ經費ヲ以テマシテ昭和十一年度カラ十五年度マデノ五箇年繼續事業トシテ年度割ニ依ツテ豫算ヲ編成イタシタノデアリマシテ、本年度ニ於テ三萬圓ヲ計上イタシタノデアリマス、防波堤ノ設備或ハ接岸設備等ヲ新タニ設ケマシテ、繼續五箇年ノ事業トシテ本事業ヲ竣工サセタイト云フノデアリマス

○二番(石井與作君) (「登壇」ト呼ブ者アリ) 勝浦漁港ノ再度ノ築港ハ本縣水産業ノ爲ニ誠ニ慶賀スベキコトト本員ハ思ヒマス、先ニ大原漁港ノ時ニ私御尋ネシタイト思ツタノデアリマスガ、採決後デアツテ質問ノ機會ヲ失ツタノデアリマス、大原漁港ガ當縣會ニ上程サレタノハ近ク二年ニ亘ツテ居ルト思ヒマスガ、大原漁港ガ今マダ改築スルコトノ出來得ナイト云フノハドウ云フ理由ニ依ツテサウ云フ風ニナツテ居ルカ、尙ホ大原漁港ガ近い將來ニ於テ國庫ノ補助ヲ受ル御見込ガアルカドウカ、大原漁港ノ今日マデノ成行ヲ聞カムト欲シタノデアリマスガ、其ノ機會ヲ失シタノデアリマスガ、此ノ場合御答辯下サルナラバ大變結構ダト思ヒマス、若シ欸ガ違フト云フノデアラナラバ追ツテ御尋ネシテ見タイト思ヒマス、勝浦漁港ガ五十萬圓ヲ以テ五箇年繼續事業トシテナサルト云フコトハ、私茲ニ一ツノ疑ノ生ズルノハ、當局ガ只今ノ御説明ノ中ニ、從來斯ノ如クシナ

ケレバナラナカツタト云フコトヲ感ジテ居ツタト云フコトデアリマス、勝浦漁港ハ竣工シテマダ日ガナイ、從來カラ五十萬圓ヲ以テ斯ウ云フ計畫ヲシナケレバナラナカツタノダ、斯ウ云フナラバ何故先ノ計畫ノ時ニ今一層大キナ計畫ヲ立テテ再ビ爲スガ如キ煩ヲ避ケナカツタノデアラウカ、斯ウ私共ハ思フノデアリマス、寧ろ縣當局ノ是等ニ對スル研究ガ足ラナカツタ憾ミガアルノチヤナイカト私ハ思フノデアリマス、併シ是ハ議論デアツテ敢テ御尋ネスル要ハナイノデアアルガ、此ノ五十萬圓ノ金ハ、從來モ大キナ工事ハ國庫ガ五割補助、縣ガ二割五分ノ負擔、地元カラ二割五分ノ負擔ト云フコトニナツテ居リマスガ、此ノ五十萬圓ノ仕事モサウ云フヤウナ計畫ノ下ニ御計畫ナサレタカ、或ハ其ノ負擔ノ上ニ於テ從來ノ例ヲ破ツタ案デアルカ、其ノ點ヲ此ノ際明瞭ニシテ置キタイト思ヒマス

○番外五番(經濟部長坂井貞一君) 私ヨリ御答イタシマスガ、大原漁港ノ問題ハ現在國庫ノ補助ガ色々ノ關係デ今日マデマダ決定シテ居リマセス關係上工事ガ延ビテ參ツタノデアリマスガ、大体農村應急土木事業其ノ他デ約三萬圓ノ金ヲ此ノ方ニ廻シマシテ、約三萬圓近イ工事ヲ現在施シテ居ルノデアリマス、此ノ應急農村土木事業費ヲ其ノ方面ニ廻スコトノ出來マシタ大キナ原因ハ、矢張り此ノ議場ニ於テ滿場一致ノ議決ヲ經テ豫算ガ成立シテ居リマシタ關係上農林省モ色々考慮ヲ拂ハレマシテ、應急農村土木事業費ヲ本縣ニ配當シマス場合ニ於テモサウ云フ點ヲ考慮シテ、他ノ方ニ廻スヨリ幾分デモ多ク廻シテ呉レタノダト考ヘテ居リマス、サウ云フ關係デ現在ノトコロ約三萬圓バカリノ工事

ヲ施シマシタガ、其ノ他ノ大キナ國庫ノ補助ガ確定イタシマセヌノデ、今日マデ工事ハ延期サレテ居ル次第アリマス、併ナガラ此ノ豫算ヲ組ミマス時モ我々農林省ニ出マシテ度々當局ノ方々ト懇談イタシマシタガ、大体其ノ邊ヲ能ク打合セテ居ルノデアリマスガ、農林省ノ豫算ガ通りマスレバ、此ノ大原漁港ハ眞ツ先ニ補助ヲ廻スト云フコトヲ聞イテ居リマスノデ、大丈夫此ノ豫算ハ貫ヘルモノト確信イタシテ居リマス、次ニハ勝浦漁港ノ補助關係ノ問題デアリマスガ、五十萬圓ノ事業計畫デアリマシテ、其ノ中ノ五割即チ二十五萬圓ハ國庫補助ニ仰イデ居リマス、ソシテ四割地元負擔、一割縣費負擔ト云フコトニナツテ居リマスノデ、幾分今マデノ負擔關係トハ異ツテ居ルカモ知レマセスガ、是モ色々ノ事情ガアリマシテ、縣ノ負擔力ガ現在是レ以上ヲ負擔スルコトガ稍々困難ナ點ガアリマスノデ、斯ウ云フ方法ニ依ツテ此ノ修築ヲヤラウト計畫シテ居ルノデアリマス

○十三番(島田彌久君) 只今二番君ノ質問ニ依ツテ稍々其ノ大綱ダケハ得テ譯デアリマスガ、私ハ此ノ勝浦築港ヲ第二期計畫トシテオヤリナサルナラバ五十萬圓デハ甚ダ小サキニ失スル感ガアルノデアリマス、アノ洋々タル太平洋ニ向ツテ居ル勝浦ト致シマシテ、勝浦大漁港ヲ修築スルナラバ從來ハドウシテモ三百萬圓位ノ經費ヲ要スルト云フコトハ略々定評ニナツテ居ツタノデアリマス、而モ微々タル五十萬圓、地元ニ四割ノ負擔金ヲ出サセテ此ノ事業ヲ遂行セムト欲スルノハ負擔ノ引倒シデ、寧ロ爲サルニ若カザルノ感ガアルノデアリマス、縣ガ本當ニ腰ヲ据エテヤルト云フコトナラバ何故從來ノ例ニ倣

ツテ四分ノ一ノ補助ヲヤラヌカ、或ハモウ少シ完全ナ設備ヲナサヌノデアアルカ、斯ノ如キ子供瞞シノ案ヲ出スト云フコトハ少シク縣民ヲ盲目ニ見テ居ルヤウナ感ガアルノデアリマス(拍手)私ハ勝浦漁港ハ是レ以上ノ大完成ヲスル計畫ヲ立テテ銚子ノ漁港ニ亞グベキ漁港ヲ作ルナラバ滿腔ノ同意ヲスル者デアリマスガ、唯僅カニ二十五萬圓ノ國庫補助ト、縣ガ一割、四割ヲ地元ニ出サセルナドト云フコトハ言フベクシテ行ハレザル、或ハ之ヲ爲スガ爲ニ却ツテアソコノ勝浦漁港ニ妨害ヲ與ヘテ、將來ヲ暗雲ニ導クヤウナ感ガナイデモナイノデアリマスカラ、ヤルトスルナラバ思ヒ切ツテ二三百萬圓ヲ投ジテ完全勝浦漁港ヲ修築スルハ御意思ガアルカドウカラ伺ヒタイノデアリマス

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○番外五番(經濟部長坂井貞一君) 御答イタシマスガ、今ノ御質問ニ御答スル前ニ一應私カラ御訂正申上ゲマスガ、先程三番議員ノ御質問ニ對シテ地元四割縣一割ト申シマシタノハ少シク記憶違ヒデ訂正イタシマスガ、地元ガ三割五分、縣ガ一割五分デアリマス、間違ヒマシタカラ訂正イタシマス、今ノ御質問ニ御答シマスガ、何モ我々ガ此ノ大キナ漁港ヲ計畫イタシマスノニ五十萬圓ヲ以テ満足シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、モット大キナ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、今直チニ其ノ大キナ計畫ヲ實現スルト云フコトハ縣財政上カラ許サレマセヌノデ、現在ノトコロデハ五十萬圓ノ事業ヲ計畫イタシテ居ルノデアリマスガ、之ガ完成シマシタ曉ニハモウ一ツ大キナ事業ヲ施ス考ヘデアリマス

○十三番(島田彌久君) 奇怪ナル御答辯ヲ得マシタガ、漁港ノ如キモノハサウ何度モ何度モ續イテスル仕事デハナイ、豫メ計畫ヲ立テテ、ソシテ之ヲチヤント年次割ニシテ、五年掛カラウガ、十年掛カラウガ仕方ガナイ、財政ノ都合デ延ビルト云フナラバ已ムヲ得マセヌガ、モツト大キナ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマスケレドモ、五十萬圓程チヨツビリヤツテ置イテ、アトハ又考ヘルト云フコトハ甚ダ私ハ當局ノ自信ヲ疑フノデアリマス、サウ云フ計畫ガアルナラバ敢テ縣民モ國モ金ヲ惜マヌデアラウト思ヒマスカラ、此ノ際思ヒ切ツテ理想的ノ漁港ヲアソコニ實現スルノ御提案ヲ爲スノ御意思ト勇氣ガアルカラ伺ヒタイノデアリマス

○番外五番(經濟部長坂井貞一君) 私ノ申上ゲマシタノハ何モ強チ目先ノ問題ダケヲ考ヘマシテ繼足シノ工事ヲスルヤウナ計畫ハ致シテ居リマセヌノデ、大体將來ノ大キナ計畫ヲヤリマス場合ニ於テモ差支ナイヤウニ、ソレハ技術方面デ能ク研究イタシマシテ、港灣計畫ト致シマシテモ港内波濤ノ工事、防波堤ノ工事モアリマスノデ、其ノ點手ヌカリナク調査シマシテ、現在五十萬圓デアリマシテ、將來大キナ計畫ヲヤル場合ニソレガ無駄ニナラナイヤウニ、不體裁ナ繼足シ的ノコトハヤラナイノデ、サウ云フ方面ハ十分調査シマシテ、是レナラバ大丈夫ト云フ成算ノ下ニ設計ヲ立テテ居リマスノデ、其ノ點ハ當局ヲ御信賴下サツテ十分デアラウト思ヒマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○二番(石井與作君) ドウモ私ノ最初ノ問ニ對シテ、又十三番君ノ質問ニ對シテ御答ハア

リマシタガ、私ヲシテ率直ニ言ハセルナラバ、番外五番ハ我々ノ眞劍ナ質問ニ對シ、誠ニ其ノ場繕ヒノ答辯ヲサレルヤウナ感ジガアルノデアリマス、モウ少シ眞劍ニ御答辯ガ願ヒタイト思フ、第一期ガ斯ウデ、第二期ガ斯ウデ、第三期第四期ガ斯ウダト云フヤウナコトガアルナラバ、其ノ計畫ヲ設計ノ上ニ示シテ、只今デナクテモ宜シウゴザイマスカラ我々ノ手許ニ明瞭ニシテ廻シテ戴キタイ、此ノ計畫ハ此ノ通りデアル、是ガ終ツタ時ニハ斯ウデアル、其ノ次ニハ此ノ計畫ヲ持ツテ居ルノダト計畫ヲ實際ニ御示シ下サルナラバ只今ノ答辯ニ於テ諒承イタシマス、ドウゾ事業計畫ヲ明瞭ニ御示シアラムコトヲ希望シテ私ノ質問ヲ打切りマス

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第三十八款船形漁港修築費本年度支出額第一讀會

書記朗讀

第三十八款 船形漁港修築費
本年度支出額 金二萬圓

第一項 船形漁港修築費
本年度支出額 金二萬圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アルマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第三
十九款農業水利改良費本年度支出額第一讀會

書記朗讀

第三十九款 農業水利改良費 本年度支出額 金十萬五千五百圓

第一項 小櫃川農業水利 改 良 費 金八千五百圓

第二項 養老川農業水利 改 良 費 金八千五百圓

第三項 根本名川農業水利 改 良 費 金八萬八千五百圓

○十番(高野伴藏君) 本款中ノ小櫃川用水路改良費ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス、此ノ
工事ハ小櫃川ノ流域久留里カラ海岸ニ掛ケテ六千餘町歩ノ灌溉面積ヲ持ツテ居ルモノデ
アリマス、所謂濕地ガ大半ヲ占メテ居ル窪地ノ問題デアリマス、此ノ工事ハ九十萬圓、
國庫ガ五十四萬圓、縣ガ十八萬圓、地元ガ十八萬圓デ、大正十三年カラ施工サレテ今日
マデ十三年ノ年月ヲ經テ居リマス、デ今日マデノ工事ガ進捗ノ程度ヲ伺ヒタイトデアリ

マス、ソシテ本年度ノ豫算ハ僅カニ八千五百圓デアリマスガ、此レダケノ工事デアリマ
スト尙ホアトドノ位掛カル豫定デアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソシテ地
元ノ寄附金ノ滯納ノ爲ニ計畫ガ出來ナイヤウニ聞イテ居ルガ、果シテサウ云フ事實ガア
リマスカドウカ、サウ云フ事實ガアリトスレバ縣ハ飽迄其ノ滯納ヲ取立テ、完成スル御
意思ガアルカドウカ、ソレカラ尙ホ此ノ工事ハ震災ノ補助ニ依ル工事デアルカノヤウニ
聞イテ居リマスガ、聞ク所ニ依リマスト震災ニ依ル補助ハ打切ラレハシナイカト云フヤ
ウナコトヲ言ツテ居ル者ガアリマスガ、果シテサウダトスレバ今後寄附金ガ納マリマシ
テモ國庫ノ補助ガ得ラレルカドウカ其ノ點ヲ伺ヒマス、尙ホ新聞紙ノ傳ヘルトコロニ依
リマスト關係町村中此ノ巨額ナ寄附金ヲ納入シテ居ル者ト、マダ納メナイ者トノ間ニ、
上流ト下流トノ間ニ疎隔ヲ來シテ居ルト云フヤウナコトガアツテ、陳情ニ見エタヤウナ
話モ新聞ニ記サレテ居リマス、サウ云フコトダト致シマスト此ノ小櫃川ノ沿岸ニハ澤山
ノ工作物用水池ガ設ケラレテ居リマシテ、將來早害デモアルヤウナ場合直チニ騒動ガ起
リハシナイカト思ハレマスガ、サウ云フコトニ付テ何カ將來ノ御計畫ガアリマスカドウ
カヲ伺ヒタイト思ヒマス

○番外六番(技師山中謙輔君) 小櫃川農業水利ニ付キマシテ只今十番ノ御尋ネニ私カラ答
辯イタシマス、第一小櫃川ノ改良費ノ決算及豫算額ハ只今手許ニアリマセヌノデ後刻御
手許ニ差上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス、第二ノ將來ノ施工豫定、是ハ何時頃濟ム
カ、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、是ハ十二年度位デ完成シタイトデアリマス、寄附金

ノ關係デアリマスガ、之ニ對シテハ私共ハ一生懸命ニ町村ヲ督勵イタシマシテ、成ルベク速カニ負擔金ノ納入アルヤウニ實ハ獎勵ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、町村ガ非常ニ不況ノ際思フヤウニ這入ツテ來ナイ、從ツテ豫定事業モ施工スル譯ニ行カナイト云フヤウナ非常ニ苦シイ立場ニアルノデアリマシテ、將來ニ於テモ私共トシマシテハ出來ルダケ町村ノ寄附ヲ一刻モ早く入レルヤウニシテ戴クコトハ勿論デアリマスガ、ドウゾ地元ノ方ニ於カレマシテモ折角此ノ問題ニ付テハ此ノ一大事ヲ完成スル上ニ於テ特ニ御協力ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ニ國庫ノ補助ノ打切ガアリハシナイカト御懸念下サツタノデスガ、誠ニ其ノ通りデアリマス、是ハ御承知ノ通り大正十二年ノ大震災ノ關係カラシテ震災ノ工事トシテ計畫シ、特ニ六割ノ補助ヲ頂戴シテヤツテ居ルノデアリマシテ、地元ノ寄附金ハ他ノ一般ヨリハ少イ關係ニナツテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、縣ト致シマシテモ極力地元ノ寄附金ヲ速カニ納入セシメテ事業ヲ速カニ執行シテ豫定ノ事業ヲ完成シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、農林省方面ニ於テモ、是ハ震災復興事業デアルガナカノ思フヤウニ進捗シナイガ、何時マデモ掛ツテ居ルト云フコトデアレバ結局打切ラレル運命ニナルカラ、少クトモ十一年度十二年度位マデニハ完成スルヤウニシテ貰ヒタイト云フヤウナ話モアル次第デアリマシテ、成ルベク打切ラレナイ中ニ地元ノ負擔金ヲ徵收イタシマシテ、ソシテ之ノ完成ヲ圖リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ未納町村ノ額モ大キイモノガアリハシナイカト云フ御話デアリマシタガ、實ハ此ノ負擔金關係ハ縣下約百箇町村ニ關係シテ居ルノデアリマシテ、私今數字ヲ記憶

イタシテ居ラヌノデアリマス、後刻御手許ニ差上ゲタイト思ヒマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○七番(大枝十兵衛君) 議長……

○十番(高野伴藏君) 議長……

○七番(大枝十兵衛君) 簡單ニ伺ヒマス、此ノ豫算面ヲ見マスルト栗山川ト南白龜川ノ改良費ガ削除サレテ居リマス、南白龜川ノ方ハ能ク存ジマセヌガ、栗山川ノ方ハ下流ハ既ニ完全ニ出來テ居リマスガ、上流ノ方面ハマダ工事ガ半バデアアルヤウニ承知シテ居リマスガ、是ハ何カ理由ガアツテ豫算ヲ削ツタノデアリマスカ、是ハ寄附金ノ關係デデモアラウカト推察イタシマスガ、其ノ點如何デスカ

○番外六番(技師山中謙輔君) 南白龜川モ栗山川モ豫定事業ハ大体本年度ヲ以チマシテ完了イタシタイト考ヘデアリマス、勿論只今御説ノ通り地元ノ負擔金ノ關係ガアルノデアリマシテ、負擔金ガ來ナケレバ實行シナイ、斯ウ云フ建前デ進ンデ居リマスカラ、早ク申シマスレバ只今金ガ這入ツテ參リマスレバ是カラ三月マデニ於テ事業執行ニハ敢テ差支ナイト思ヒマス、唯負擔金ノ納入ガ段々遅レテ三月末ニデモ這入ルト云フコトニナレバ事業執行ガ出來ナイノデアリマスカラ、翌年度ニ繰越サルヲ得ナイ關係ガ起ツテ來ルカト存ジマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○十番(高野伴藏君) サウ致シマスト、只今ノ負擔金ノ御答ニモアリマシタガ、寄附金モ矢張り同様納メナケレバ出來ナイト云フコトニナルデヤナイカト思ヒマスガ、サウナリ

マスト或ル町村ハ綺麗ニ完納シテシマツタ、トコロガ或ル關係町村デハ全然納メナイト云フヤウナコトガ若シアツタトスルナラバ、其ノ土地ノ者ハ色々紛争ヲ起スデハナイカ、此ノ川ニ關係シテ居リマス用水池ガ各關係町村ニアリマスノデ、サウ云フ事ニナルト村ヲ治メテ行ク上ニ、又縣治ノ上ニモ支障ヲ來シハシナイカト思ハレマスガ、是非ハ縣ノ方デドウ云フ御處置ヲ執リマスカ、御意思ノアル所ヲ早クハツキリ御傳ヘ下サルヤウニ御願ヒシタイト思ヒマス

○五番(新藤退藏君) 先ノ小櫃川ノ話ハ能ク分リマシタガ、養老川モ矢張り十二年度位ニ完工スルモノデアリマスカ、其ノ點伺ヒタイト思ヒマス、又寄附デスガ、各町村デ割合寄附ガマダ這入ツテ居ナイノモアリ、又或ル町村ハ今十番君ノ仰シヤル通り相當納メテ居ル、或ル町村ハ全然這入ツテ居ナイト云フヤウナ話モ聞イテ居リマスガ、若シ表ニデモ作ツタモノガアリマシタナラバ戴キタイト思ヒマス、尙ホ養老川ハ河身ヲ移轉シタ爲ニ廣大ナ土地ガ出來タノデアリマスガ、ソレハドウ云フ風ニ御處分ナサイマスカ、其ノ點モ一寸御伺ヒシタイト思ヒマス

○番外六番(技師山中謙輔君) 養老川モ御承知ノ通り大正十二年ノ大震災ノ震災復興事業トシテヤツタノデアリマス、是モ小櫃川ト同様デアリマシテ、十二年度ヲ以チマシテ大體完成シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、又同ジク負擔金ノ納入歩合ガ誠ニ涉々シク進ンデ居ナイノデアリマスガ、最近幸ヒニ戸田村以下ノ町村ハ大體這入ル豫定ニナツテ居リマス、是ハ恐ラク心配ナカラウト思ヒマス、從ツテ寄附ヲ待ツテ豫定ノ事業ヲ

完成スルト云フコトモ至難ナ問題デハナイ、斯様ニ私共ハ考ヘテ居リマス、御安心ヲ願ヒマス、ソレカラ敷地ノ問題デアリマスガ、廣川敷地ハ懸テ處分イタス考ヘデアリマスガ、勢ヒ地元ノ方面ニ拂下ゲルト云フ結果ニナルヂヤナイカト思ヒマス

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○五番(新藤退藏君) 地元ト云フ御答辯デスガ、川ヲ廻シタノデスカラ其ノ地元ノ解釋ガ分リマセヌガ、大キナ川ヲ廻シタノデス、地元ト云フトドツチガ地元カ分リマセヌノデ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○番外六番(技師山中謙輔君) 大體地元デ…要スルニ縁故關係カラ申シマスレバ余計土地ノ潰レタト云フヤウナコトヲ考ヘタ方ガ宜イノデハナイカト思ヒマスガ、是等ニ對シテハ十分研究イタシマシテ、地元ノ利害關係モアルノデアリマスカラ、サウ云フ點ヲ十分考慮シテ決定イタシタイト思ヒマス

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決定イタシマス、次ハ第四十款第一讀會

書記朗讀

第四十款

山武郡雄蛇池用水改良費本年度支出額

金一萬八千三百圓

第一項 用水改良費 金一萬八千三百圓

○三十一番(花澤壽太郎君) 雄蛇池用水改良事業ハ、アノ地方ハ御承知ノ如ク水ガ無イ爲ニ多年ノ間旱害ニ惱マサレテ居ルノデ、地元ト致シテハ苦シイ旱害ノ中カラ金ノ苦勞ヲ致シマシテ全額ノ寄附金ハ既ニ全納イタシテ居ル筈デアリマス、然ルニ縣ノ經濟上ノ關係カラ致シテ是等ノ仕事ヲ繰延ベラレルト云フコトハ地元民トシテハ非常ニ失望イタシテ居ルコトト思フデアリマス、獨リ雄蛇池ノミナラズ、他ノ旱害地帯ノ斯ウシタ事業ニ付キマシテハ縣ハ是非トモ地方民ノ希望ヲ容シテ繰延ノナイヤウニ實行セラル、ヤウ御願ヒイタシマスガ、當局ノ御意思ハ何レニアルカラ伺ヒタイノデアリマス

○番外六番(技師山中謙輔君) 只今雄蛇池用水改良費ニ付キマシテ御希望ガアリマシタガ、雄蛇池ノ關係ハ事業執行上ノ關係モアリマスルシ、又一面縣ノ財政ノ根本計畫ニモ關係ガアリマスノデ、從ツテ一箇年ノ繰延ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、只今ノ御希望ノヤウナ點ハ、事業上ニ付テハ能ク研究イタシマシテ、成ルベク豫定期間内ニ執行スルデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テハ縣財政ノ許サレル範圍ニ於テハ年限ヲ延バスコトノナイヤウニ私トシテハ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○三十一番(花澤壽太郎君) 只今當局ノ御説明ニ依リマシテ了解イタシマシタガ、ドウゾ事業ノ執行ニ付キマシテハ繰延ノナイヤウニ努力セラレルコトヲ希望シテ私ノ質問ヲ終

リマス

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御諮リ致シマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ第二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第四十一款東葛飾郡坂川沿岸用排水改良費本年度支出額第一讀會

書記朗讀

第四十一款

東葛飾郡坂川沿岸用排水改良費本年度支出額

金五萬圓

第一項

用排水改良費本年度支出額

金五萬圓

(「採決」説明ヲ願ヒマス」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第四十二款山武郡小中川用排水改良費本年度支出額第一讀會

書記朗讀

第四十二款

山武郡小中川用排水改良費本年度支出額

金十萬圓

第一項 用排水改良費
本年度支出額

金十萬圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議ゴザイマセヌ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認マシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第四十三款早害地帯救済用排水幹線改良費本年度支出額第一讀會書記朗讀

第四十三款

早害地帯救済用排水幹線改良費本年度支出額

金三十八萬一千二百十九圓

第一項

早害地帯救済用排水幹線改良費本年度支出額

金三十八萬一千二百十九圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○十九番(柳澤清春君) 本款ニ付キマシテ少シク承リタイト存ジマスガ、早害對策ニ付キマシテハ屢々縣當局ニ要望イタシテ居リマスノデ、曩ニ私共ハ連年ノ早害ニ鑑ミマシイタシタノデアリマスガ、之ニ付キマシテ縣ハ繼續シテ居ラヌ仕事モアルト思ヒマスノデ、之ニ付キマシテ説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ハ昭和八年ノ臨時縣會ニ於キマシテ

決議シタル早害五百町歩以上ノ集團地一萬町歩ノ改良計畫中ニ農業水利改良事業實施中ノモノハ速カニ年度ヲ繰上ゲテヤツテ戴キタイ、是ハ農村トシマシテハ非常ナ重要性ヲ帶ビテ居ルノデアリマス、是ハ農村ノ經濟更生中最モ主ナル問題ナリト私共ハ思フノデアリマス、故ニ之ヲ一年モ早ク繰上ゲ實施サレムコトヲ切望シテ居ルノデアリマスガ、是ガ遅々トシテ進行シナイヤウナ状態デアリマスノデ、此ノ點幾重ニモ御願ヒシタイト思フノデアリマス、其ノ現況ハ如何様ニナツテ居リマスカ御説明ヒタイト存ジマス、次ニ五百町歩以上ノモノガ一萬町歩此ノ改良事業中應急事業トシマシテ實施シタルトコロノ事業六千三百三十町歩ノ中三千六百六十五町歩ハ地元負擔ト云フモノデアアル、其ノ割合ハ六割五分ヲ條件トシテ縣デ三箇年位ノ事業トシテ既ニ縣會ニ於テ決議シテ居ルノデアリマス、ソシテ残りノ三千六百六十五町歩ト云フモノハ從來通り二割五分ノ補助ト致シマシテ、此ノ兩方相俟ツテ急速ニ之ヲ實施シテ戴キタイト既ニ屢々要望イタシテ居リマスガ、之ガ實現シテ居ラヌヤウニ私ハ思フノデアリマス、此ノ點ヲハツキリ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ此ノ款ニ於テ質問スルノハ如何カト思ヒマスガ御諒承願ヒタイト思ヒマス、實ハ機會ヲ失シタノデ此ノ際御許シテ願ヒタイト思ヒマス、耕地整理組合ノ完了事務ノ指導員ヲ増員シテ戴キタイト屢々申上ゲテ居リマスガ、是モ其ノ域ニ達シテ居ラヌヤウデアリマス、即チ此ノ豫算面ニ現ハレテ居ラヌノデアリマス、是ハ先程モ申上ゲタ通り縣下ニ五百有余ノ耕地々區ガアリマス、之ニ對シマシテ完了事務ト云フモノハ組合ノ者ノ出來ル仕事デハナイノデアリマス、デアリマスカラ十分之二對シテハ指

導員ヲ増置シテ完了事務ノ整理上遺憾無キヲ期シテ戴キタイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、此ノ點一應御願ヒイタシタイト思ヒマスガ、只今申シタ通りデアリマスカラ、縣ハ將來ドウ云フ御意思ヲ持ツテ指導監督ヲナサル積リデアルカドウカ、此ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、次ニ耕地整理組合ノ財務指導員、是モ一寸先程申上ゲマシタガ、只今ハツキリ御願ヒシタイト思ヒマス、次ニ組合ノ會計經理ノ不始末デアリマス、最近新聞紙上ニモ見エテ居リマス、ソレハ畢竟スルニ財務ノ指導監督ガ不徹底ノ結果ト存ジマス、ソレデ各郡ニ指導員ヲ増置シマシテ之ガ完璧ヲ期シテ戴キタイト思ヒマス、先程課長サシノ御話デハ約千ノ組合ガアルト云フ御話デアリマシタガ、全ク本縣ノ耕地整理事業ト云フモノハ全國的ニモ有名ナ耕地整理事業デアリマシテ、殊ニ經濟更生ノ中ニモ加ヘラレマシテ、大ニ旱害ニ付キマシテモ、或ハ水害對策ニ付キマシテモ耕地整理ノ完了ヲ待ツテヤツテ行キタイト存ジマスガ、只今申シタ通り財務監督ト云フモノガ頗ル縣トシテ不徹底ノヤウニ私ハ思フノデアリマス、現在ノ財務監督ハ六人シカ居ラヌヤウニ思フノデアリマス、六人デアルト一郡一名ニモ足ラヌノデアツテ、二郡ニ一名デ、或ル監督員ノ如キハ三郡モ受持ツテ駈ズリ廻ツテ歩クト云フヤウナコトデハ其ノ監督ガ不徹底トナルノハ免レナイノデアリマス、之ヲ各郡一名位宛監督員ヲ配置シマシテ完璧ヲ期シテ戴キタイト思ヒマス、此ノ點ニ於テ縣ハドウ云フ御意思デアアルカト云フコトヲ承リタイト思ヒマス、以上ノ諸點デアリマス

○番外六番(技師山中謙輔君) 十九番ノ御質問ニ御答イタシマス、第一ノ旱害救済用水改

良事業、是ハ御承知ノ通り大利根用水改良事業、山武郡ノ正氣外四箇町村ノ用水改良事業、長生郡一松外四箇町村ノ用水改良事業、東葛飾郡ノ市川外九箇町村ノ用水改良事業、尚ホ印旛郡ニ於ケル本野村ノ用水改良事業、斯ウ云フ風ニ豫定通り着々實行イタシテ居ル譯デアリマシテ、幸ヒニシテ此ノ地方ニ於テハ負擔金ノ關係ヲ極メテ圓滿ニ速カニ納入サレテ居ルノデアリマス、極メテ安心シテ施工ガ出來ルノデアリマシテ、現在ノトコロ此ノ用水改良事業ニ於テハ私共ハ順調ニ進ミ得ラレルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、尚ホ之ヲ繰上ゲテ實行スルト云フ大キナ問題デアリマスガ、是ハ主トシテ縣ノ財政ニ大關係ヲ有シテ居ルノデアリマシテ、是等ニ付テハ財務當局ト能ク相談イタシマシテ今後善處シタイト思フノデアリマス、次ニ旱害ノ小區域ニ亘ル改良事業デアリマスガ、御説ノ通り縣營ヲ以テ三千町歩ヲ實行シ、補助事業トシテ三千有余町歩ノ改良ヲ最近ノ中ニ實施シタイト云フ計畫デ進ンデ居ルノデアリマス、本款以外ニソレハ旱害地ノ如キモ前年度同様ニ編成シテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、是ハ着々豫定通り補助事業トシテハ進ミ得ラレルモノト思フノデアリマス、唯遺憾ナ點ハ縣營デ行フ三千町歩ノ事業ニ對シマシテハ内務省ノ起債ノ關係ガマダ許可ニナラヌノデアリマス、從ツテ本年度ノ事業モ執行ニマデ至ツテ居ラナイノデアリマス、是ハ主管課ニ於テソレハ内務省ノ方ニ御交渉下サツテ居ルコトデアリマスカラ、遠カラズ起債ノ認可モ來ルノデハナイカ、斯様ニ實ハ樂觀ヲ致シテ御待チ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、此ノ認可サヘアリマスレバ、各地方ニ於テハ一刻モ早く着手シテ貫ヒタイ、斯様ナ希望モアル

譯デアリマスカラ、起債ノ認可サヘアレバ地元ト協力イタシマシテ豫定ノ事業ノ完成ニ邁進イタシタイト思フデアリマス、次ニ耕地整理組合ノ財務ノ指導監督竝ニ完了事務ノ指導員増設ニ付テ縷々御高説ヲ拜聽イタシタイトデアリマスガ、當局トシテハ固ヨリ是等ノ施設ガ必要デアルト云フコトハ重々考ヘテ居ルデアリマスガ、如何セン財政ノ關係モアリマスルシ、先ヅ來年度ハ提案イタシマシタ所謂耕地整理ノ費用或ハ旱害地職員ノ費用、是等ヲ以チマシテ馬力ヲ掛ケテ遺憾ナキヤウニ指導シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、尙ホ完了事務ニ付テハ御承知ノ通り耕地協會ナルモノガ存在イタシテ居リマシテ、之ニ對シテ縣ヨリ補助ヲ戴イテ居ル關係上協會ヲシテ實費位デ各組合ノ完了事務ヲ行ハセテ行キタイ、是ハ出來ルダケ敏速ニヤリタイト云フ考ヘヲ持チマシテ協會自身ヲシテ働カセテ居ル關係モアリマスノデ、從ツテ完了事務モ着々成績ヲ擧ゲルコトガ出來ルノヂヤナイカト斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○十九番(柳澤清春君) 只今非常ニ御理解アル御答辯了承イタシマシタガ、私共耕地事業ニ關係シテ居ル者ト致シマシテハ聊カ此ノ豫算ノ上ニ於テ物足ラヌ感ジガ屢々スルノデアリマス、何故カト申シマスレバ昭和八、九年ノ大旱魃ニ際シテ、勿論縣當局ニ於カレテモ總動員デ、官民相提携シテ涙グマシイ活動ノ結果、政府カラ莫大ニ補助ヲ頂戴シテ恒久對策應急對策ヲ講ジタイトデアリマスガ、ソレガ未ダニ繰延トカ、事業ノ縮少トカ打切トカ云フコトハ只今タイト云フ御話デアリマスガ、要スルニ人ガ足ラヌト云フコトト、モウ一ツハ耕地整理事業ト云フモノハ耕地整理法ニ束縛サレマシテ地方農村民ハ非

常ニ困ルノデアリマス、デ是等ニ付テハ出來ルダタ指導監督ヲシテ戴キタイト云フコトヲ御願ヒイタシタイトデアリマス、寧ろ耕地課長サンニ御願ヒスルヨリモ總務部長サンニ御願ヒシテ豫算ヲタツブリ耕地課ノ方ニ送ツテ戴イタ方ガ宜イカトモ思フノデ、ソレヲ御願ヒシテ私ノ質問ヲ打切りマス

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メ二讀會ニ移スコトニ決シマス

○十八番(古川長太郎君) 本日ハ之ヲ以テ散會イタシタイト思ヒマス、動議ヲ提出イタシマス、尙ホ明日ハ日曜、明後日ハ午前中ハ水道視察竝ニ農事試驗場視察ヲ致シマスノデ午後二時カラ開會イタシタイト思ヒマス、動議ヲ提出イタシマス

(「賛成」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 十八番ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メ十八番ノ動議ノ通り決定イタシマス、明後日ハ午後二時ヨリ開會イタシマス、日程ハ第一號議案ノ一讀會竝ニ第二號議案ヨリ第四十九號議案ノ一讀會、本日ハ之ヲ以テ散會イタシマス

午後四時三十分散會

傍聽人 二百十名

昭和十年通常千葉縣會議事速記錄

第十號

昭和十年通常千葉縣會議事速記録第十號

十二月二日(月曜日)午後二時四十八分開會
出席議員二十九名左ノ如シ

一	番	諏訪寬治君	二	番	石井與作君
三	番	伊藤博愛君	四	番	成島勇君
五	番	新藤退藏君	六	番	木村康哉君
七	番	大枝十兵衛君	八	番	川俣義郎君
九	番	浮谷竹次郎君	十	番	高野伴藏君
十三	番	島田彌久君	十七	番	鋤柄良司君
十八	番	古川長太郎君	十九	番	柳澤清春君
二十一	番	長島義三君	二十三	番	横田清藏君
二十四	番	押元才司君	二十六	番	澁谷司君
二十七	番	梨本太兵衛君	三十	番	飯田鉄之助君
三十一	番	花澤壽太郎君	三十三	番	鈴木亮君
三十四	番	茂木林藏君	三十六	番	青木泰助君
三十七	番	染谷正治君	三十八	番	高瀧政吉君
三十九	番	星野懿吉君	四十	番	渡邊政治君

四十二番 吉野力太郎君
欠席議員十三名左ノ如シ

- 十一番 川口爲之助君
- 十四番 石橋保君
- 十六番 石川善之助君
- 二十二番 飯田惣兵衛君
- 二十八番 小柴金一郎君
- 三十二番 田中恭三君
- 四十一番 石上新藤君
- 十二番 木島義夫君
- 十五番 木倉和一郎君
- 二十番 平山成之助君
- 二十五番 吉堀正雄君
- 二十九番 小谷三之助君
- 三十五番 一瀬房之助君

○議長(吉野力太郎君) 開會イタシマス、第四十四款早害地救済用水改良事業費本年度支出額第一讀會

第四十四款 早害地救済用水改良事業費本年度支出額 金三十三萬圓

第一項 早害地救済用水改良事業費本年度支出額 金三十三萬圓

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
〔採決〕ト呼ブ者アリ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナキモノト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第四十五款開墾事業費本年度支出額第一讀會

第四十五款 開墾事業費本年度支出額 金五萬圓

第一項 開墾事業費本年度支出額 金五萬圓

○三十番(飯田鉄之助君) 議長……
〔登壇〕ト呼ブ者アリ
三十番飯田鉄之助君登壇
拍手起ル

○三十番(飯田鉄之助君) 本員ハ此ノ開墾事業費ニ付キマシテ前年度通り五萬圓、本年モ五萬圓、開墾ト云フモノハ來ル年モ來ル年モ決ツテ居ル、サウシテ見ルト開墾ト云フモノハドンナコトヲシテ居ルカ一向分リマセヌノデ、私ハ開墾ト云フモノハヤラナイノヂヤナイカ、費用モ使ツテ居ナイヤウナ感ジガスルノデアリマス、昭和五年ニ我が帝國ハ成程未曾有ノ豊年デアリマシタ、其ノ爲ニ年々連續的ニ殘米ガ餘ツテ來タノデ、之デハ餘リ開墾ヲヤラレテハ米ノ相場ガ益々下ガルト心配シタモノデアリマスカラ、我々ガ開墾事業ニ付テ一昨年モ岡田長官ト一緒ニ農林大臣ニ陳情ニ行キマシタトコロガ、農林大

臣ハドウモ國家トシテハ一面ニ開墾モ進メテ行カナケレバナラヌガ、米穀委員ガドウモ米ガ餘ルカラ少シノ間餘リヤラナイヤウニシテ吳レト云フノデ困ツタ、斯ウ云フヤウナコトヲ答ヘラレタノデアリマス、私ハ其ノ時ニ、大臣、ソレハ國家ノ方針トシテハ違ヒハシナイカ、斯ウ云フ反問ヲシタノデアリマス、ソレハ何デアアルカト云フト諸君モ御承知ノ通り我が國ハ世界一ノ人口ノ増殖國デアリマス、一箇年ニ百萬ノ人宛殖エテ行クト云フノデアリマス、スルト十年經テバ一千萬人ノ人ガ殖エルノデアリマス、一千萬人ノ人ガ殖エルト云フコトニナルト一人當リ先ヅ約一石トシテアル、ソレデスカラ日本ハ平年作デ行キマス一杯ニ食フト云フコトニナツテ居リマス、若シ不足ヲ生ジタ場合ニハドウシマスカ、此ノ儘棄テテ置イタナラバ食糧ヲ外國カラ輸入シナケレバナラヌ、凡ソ國家トシテ食糧ノ獨立ヲ保ツコトガ出來ナイ位情ナイ國家ハナイデアリマス、代議士：「ト呼ブ者アリ」彼ノ獨逸ガ世界戰爭ニ於テ、約三箇年間ノ戰爭ヲ維持シタ所以ノモ乏シタナラバ、是ハ戰ハズシテ破レルト云ハナケレバナラヌデアリマス（拍手）茲ニ於テ私ハ國家トシテハ先ヅ食糧、社會問題ノ中ニ於テモ先ヅ第一ニ數ヘルモノハ此ノ食糧カラ來ル社會問題程恐ルベキモノハナイ、諸君昨年モ一昨年モ本縣ハ旱害デ困ツテ居ル、トコロガ極端カラ極端ヘ、本年ハ洪水デ困ツタ、洪水デ困ツタ結果ドウモ大利根川ニ放水路ヲ設ケンケレバ安心ガ出來ヌト云フコトニナツテ來タノデアリマシテ、關係地方ハ一致シテ縣會ニ陳情サレ、縣會又滿場一致ヲ以テ此ノ陳情ヲ容レタノデアリマス、

或ハ利根ノ低水工事又ハ江戸川方面ニ放水ヲシテハドウカト云フヤウナ事柄モ混ツテ居ツタノデアリマス、此ノ放水工事ハ我々ハ全力ヲ注イデ完成シタイモノデアアル、其ノ爲ニ本縣ノ治水協會ガ生レテ、マダ承認ハ得マセヌガ私共ノ考ヘデハ本縣ノ長官ヲ以テ此ノ會長ニ推戴シテ是非トモ此ノ大問題ヲ解決シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス、是ハ結構ナコトデアリマスガ、サテ本年ノ大洪水ニ於キマシテ我が印旛郡ダケデモ瞬ク間ニ五十萬圓ノ損害ヲ來シテ居ル、縣下ヲ通ジタナラバ計百萬ニ垂々トスル損害デアラウト思フ、此ノ百萬圓ニ垂々トスル損害ハ農村振興上ニ於キマシテモ看過出來ナイ大問題デアアル、シテ見レバ此ノ開墾費ト云フモノハ僅カ一年ニ五萬圓ト云フヤウナ少額ノモノヲ計上シテドウスルノカト云フコトガ出テ來ルノデアリマス、一昨日ハ勝浦ノ築港ニ付テ僅カノ豫算デドウスルカト云フ質問ガアリマシタ、四百萬圓モ掛カルモノヲ是レバカリノ豫算デドウスルカト云フ質問ガアリマシタ、私如何ニモ同感デアリマス、同時ニ食糧問題ヲ解決スル爲ニ既ニ印旛沼ノ如キハ舊幕時代カラ疏水工事ヲ施シテ、此ノ水害ヲ免レヤウト云フ計畫ヲ立テ兩三回ヤリマシタガ、技術ノ幼稚ナ爲ニ失敗ニ終ツタ、明治トナツテ以來農林省ハ數十年間之ガ調査研究ヲ致シマシテ既ニ其ノ成案ハ成ツテ居ルノデアアル、然ルニ偶々米ガ豊作デアツタト云フノデ延期ノ形ニナツテ居ルヤウデアリマス、本年ハ如何デアリマスカ、六千萬石ノ米ハ到底豫想ガ出來ナイ、シテ見レバ食糧ノ不足ヲ現ニ受ケルノミナラズ、先刻申シタ通り百萬石宛ドウシテモ年々余計ニ糶ラナケレバ食糧ノ安定ハ出來ナイノデアアル、シテ見レバ今回ノ放水工事ヲ實施スルニ付

テハ之ニ附加ヘテ、例ヘバ一面ニハ洪水ヲ防止スルト共ニ、一面ニハ印旆沼ノ如キ手賀沼ノ如キ、僅カ一週間カソコラノ大雨ニ依ツテ何十萬圓ノ損害ヲ生ズルト云フヤウナ譯デ、疏水ヲ作ツテ此ノ損害ヲ將來無カラシメテ、我々が常ニ高唱シテ居ル農村ノ經濟ヲ更生スル安定セシメルト云フコトガ茲ニ必要デハナイカ、シテ見レバ縣當局タルモノハ本年ノヤウニソコノ米ガ足ラナクナツテ來ルシ、是カラ十年後ニハ一千萬石ノ米ヲ取ランケレバ日本ノ食糧ノ獨立ヲ維持スルコトガ出來ナイトシタナラバ、是ハ爲政家ノ大ニ努ムベキトコロデハナイカト思フデアリマス、依ツテ五萬圓バカリノ開墾費ヲ計上スルト云フコトハ、私ハ流石ノ賢明ナル我が長官モ此ノ縣ノ方針ニ付テ考慮ガ足りナイノデハナイカト云フ疑ヲ起シタノデアリマス、依ツテ之ニ對スル長官ノ抱負ヲ聞キタイ、諸君、食糧問題程輕卒ニ出來ナイ問題ハナカラウト思フデアリマス、餓ジサト塞サト戀ト較ブレバ、羞シナガラ餓ジサガ先キト云フ歌モアルデハアリマセヌカ(拍手)シテ見レバ此ノ食糧問題ホド重要ナモノハナカラウト思フデアリマスガ、之ニ對スル長官ノ抱負經綸ヲ伺ヒタイノデアリマス、之ニ對スル長官ノ答辯如何ニ依ツテ第二矢ヲ放ツ者デアリマスガ是ダケヲ先ヅ一ツ御伺ヒシマス(拍手、降壇)

○番外五番(經濟部長坂井貞一君) 三十番議員ハ知事ノ御説明ヲ御要求ノヤウデアリマシガ、私カラ一應御答イタシマシテ、ソレデ尙ホ不十分デアリマシタラ後程長官ニ出席シテ戴イテ御説明申上ゲルコトニ致シマス、御答イタス前ニ、五萬圓ト云フノデハ足ラヌト云フ御話デアリマシタガ、此處ニ上ゲテアル五萬圓ハ、縣管一千町歩ノ開墾事業ノ本

年度ノ支出額デアリマス、是ガ足ラヌト云フ御質問デアリマスガ、縣全体ガ開墾事業ニ對シテ力ノ入レ方ガ足ラヌト云フ御質問デアリマスガ、其ノ點ヲ先ヅ御答シマス前ニ明カニ致シテ置キタイノデアリマス

○三十番(飯田鉄之助君) ソレハ……(「登壇」)ト呼ブ者アリ) 五萬圓デ千葉縣ノ開墾問題ヲ解決スルコトハ不可能デアリマセウ、何ノ爲ニ五萬圓デアルカ、去年モ五萬圓、今年モ五萬圓、サウ判テ捺シタヤウナ豫算ト云フモノハ恐ラクアルモノデハナイカラ、是ハ唯形式的ニ五萬圓ト云フモノヲ此處ニ計上シタノデハナイカ、本縣トシテハモット大キク計畫ヲ立テル必要ガアルノデハナイカト云フ意味ニ於テ問ウタノデアリマス、御分リニナリマシタカ

○番外五番(經濟部長坂井貞一君) ソレデハ私カラ御答イタシマスガ、五萬圓前年度通り計上イタシマシタノハ、マダ農林省關係及ビ内務省關係ノ交渉ガ纏リマセヌノデ、其ノ爲ニ前年度通りニ本年モ五萬圓計上シタノデアリマス、縣管ノ一千町歩ノ開墾事業トシマシテハ此ノ五萬圓ヲ計上シタコトハサウ少ナイ譯デハナイ、唯將來本縣ニハ開墾事業ヲモットヤル必要ガナイカト云フ御意見ニ對シテハ十分研究シナケレバナラヌノデアリマシテ、本縣トシテモマダ「開墾シマシタルベキ場所ハ澤山アルノデアリマスガ、此ノ點ハ切離シテ、此處ニ計上シテ居ル五萬圓トハ切離シテ、是ハ解決シナケレバナラヌ問題ダト思ヒマス、」採決「マダアル」ト呼ブ者アリ) ソレカラ御意見ノ中ニアリマシタ利根川放水路ノ問題デアリマスガ、此ノ問題ハ縣ニ於テモ十分考慮イタシテ居リマス、

又内務省ニ於テモ非常ニ考慮イタシテ居リマスノデ、今ノ計畫デハ約二十七「キロ」ノ間ニ大キナ放水路ヲ計畫シテ居ルノデアリマシテ、若シ是ガ實現イタシマスアレバ可成リ澤山ノ土ガ出テ參リマスノデ、此ノ放水路ヲ切開イタ場合ノ土ノ處分ト云フコトニ伴ヒマシテ、或ハ印旛沼ノ干拓デアルトカ、開墾デアルトカ、手賀沼ノ開墾ト云フヤウナ問題モ早晚考ヘラレル問題ト考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ三十番議員ノ今ノ御質問モアリマスルシ、縣ト致シテハ十分研究イタシタイト考ヘテ居リマス

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○三十番(飯田鉄之助君) 議長ニ伺ヒマスガ本日ハ長官ハ出ラレマセヌカ

○議長(吉野力太郎君) 長官ハ用事ガアツテ出席ニナツテ居リマセヌ

○三十番(飯田鉄之助君) ソレデハ此ノ問題ハ實ハ長官ノ抱負經綸ヲ聞キタイノデ、今日長官ガ出席シマセヌケレバ第二讀會ノ時ニ長官ノ抱負ヲ聞クト云フコトニシテ、長官ニ對スル質問ハサウシテ置キマスガ、今番外五番ノ答辯ニ對シマシテ斯ウ云フコトヲ申シテ置キタイ、放水路ヲ設ケルト云フ輿論ニナツテ來タ、私共モ是非ハ設ケタイ、トコロガ印旛沼ノ大森町ナドハ何ダカ之ニ反對ノ烽火ヲ擧ゲテ居ル、是ハ畢竟スルニ其ノ放水路ガ出來タ爲ニ部分的ニハ斷水ノ爲ニ犠牲ヲ拂ハサレルト云フ譯デアリマスカラ、若シソレ放水路ト云フモノヲ縣モ努力シテ實現スルヤウニ私共モシタイカラ、出來ヌ場合ニハサウ云フ一局部ノ被害ト云フモノハ同時ニ解決スルヤウナコトニシテ、其ノ方面カラ陳情者ガ來タ場合、若クハ實際ニ出來ントスル場合ニハ、同時ニ斯ウ云フコトハ心配

ナイト云フコトノ技術上ノ調査ヲシ説明ヲシテ安心ヲ與ヘテヤツテ貰ヒタイ、是ガ私ノ質問ノ要旨ノ一ツデアリマス、デスカラ開墾事業ト云フモノニ付テハ長官ノ經綸抱負ハ二讀會デモ宜シウゴザイマスカラ、或ハ(四讀會……)ト呼ブ者アリ)ドウカ其ノ點ダケサウスルト云フナラバ私ノ質問ハ之デ打切ルノデスガ、又サウスベキモノダラウト私ハ思ヒマスカラ、ドウカ其ノ點ヲ何トカ一言御答ヲシテ戴キタイノデアリマス

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ第二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第四十六款高等園藝學校移管寄附本年度支出額第一讀會

書記朗讀

高等園藝學校移管寄附本年度支出額

金一萬五千圓

第一項

高等園藝學校移管寄附本年度支出額

金一萬五千圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次

ハ第四十七款漁村共同施設助成費第一讀會
書記朗讀

第四十七款 漁村共同施設助成費

金八萬三千六十圓

第一項 助成費

金八萬二千五百六十圓

第二項 指導監督費

金五百圓

(「説明」ト呼ブ者アリ)

○十八番(古川長太郎君) 第一目ノ船溜助成費デアリマスガ、是ハ新規事業デセウカ、或ハ繼續事業デアリマスガ、若シ繼續事業デアルトスルナラバ、箇所ハ何箇所、新規事業デアルナラバ其ノ箇所ヲ御明示願ヒタイト思ヒマス

○番外五番(經濟部長坂井貞一君) 私ヨリ御答イタシマスガ、此ノ漁村共同施設助成費八萬三千六十圓ヲ計上イタシマシタノハ全部新規事業デアリマシテ、將來地元ニ於テ船溜ヲ施設イタシマス場合ニ縣ハ國ノ補助ヲ以テ、ソレニ一部分ノ縣費ヲ繼足シマシテ、ソレヲ財源ト致シマシテ將來其ノ施設ニ對シテ助成シテ行カウ、斯ウ云フ計畫デアリマス、全部新規事業デアリマス、唯之ヲ繼續費ニ組立テナカツタノハ、之ヲ繼續費ニ致シマスト後年度豫算ヲ組ミマス場合ニ非常ニ束縛イタシマスノデ、繼續費トシテハ組マナカツタノデアリマス、大体コチラハ約三箇年ノ計畫ヲ以チマシテ約四五十萬圓ノ仕事ヲ施シタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ四五十萬圓ニ對スル補助ノ約三分ノ一ヲ今年出シテアリマス、大体三箇年ヲ以チマシテ四五十萬圓ノ船溜ヲ助成シテ造ラセタ

イ、斯ウ云フデアリマス、何箇所ト云フコトヲ示セト云フ御話デアリマスガ、是ハ只今農林省ト打合中デアリマシテ、農林省モ又自分ノ豫算ヲ大藏省ニ廻シマシタガマダ確定シテ居ラナカツタノデアリマス、サウ云フ關係上コチラデ決メマシテモ農林省ノ意向ガ將來幾部分デモ變更サレルヤウナ場合ニ於テハ非常ニ拙ヅイコトガ起リマスノデ、今ノトコロハ我々ノ方デハ腹案ヲ持ツテ居リマスガ、之ヲ公表イタシマスノハ少シク支障ヲ來シマスノデ今ノトコロドコト云フコトハ明示イタシ兼ネル次第デアリマス、ドウカ其ノ點ハ御諒承願ヒタイト思ヒマス

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○十八番(吉川長太郎君) 此ノ船溜ニ付テハマダ完成シナイ箇所ガアルヤウニ承知シテ居リマスガ、全部完成シテ居ルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○番外五番(經濟部長坂井貞一君) 全縣下ヲ通ジマスト非常ニ澤山完成ヲ見テ居ラヌモノガアリマス、又一度ビ完成シマシタガ、震災後ノ海底ノ隆起ノ爲ニ十分ナ効用ヲ發揮イタシ兼ネルモノモ澤山アリマスノデ、其ノ點ハ一時ニハナカクヤリ切レナイノデアリマス、其ノ中デ最モ必要ナモノ、ソレカラ今マデ見棄テラレテ居ツタ方面ノ船溜、サウ云フ方面モ順次助成ノ下ニ造ラセタイ、斯ウ云フ意向ヲ持ツテ居リマス

○十八番(古川長太郎君) 私ハ豫算案ノ大局カラ見タ時ニ、本年度豫算ハ農山漁村各方面ニ亘リマシテ巧ミニ織込シタコトノ頗ル巧妙ナ編成デアリマシテ、御苦心ノ點ハ相當見受ケラレルノデアリマシテ、其ノ點深ク敬意ヲ表スル者デアリマス、斯ノ如ク總花的

ニ振舞フト云フコトハ宜イカ悪イカヲ考ヘテ見タ時ニ私少シク首肯シ得ナイノデアリマス、事業計畫ヲ立テ、之ヲ實行ニ移シタ以上ハ徹底的ニシテ欲シイノデアリマス、又効果的デアリ度ク思フノデアリマス、財政ノ都合トカ或ハ色々ナ遺線ガ付カヌ爲トカ、サウ云フ事務的ニ流レナイデ一旦計畫ヲ立テマシタ以上ハドコ迄モヤリ通ス、中途半端ニ金ヲ掛ケテ、其ノ事業ヲ繰延スルトカ、中止スルトカ、減額スルトカ云フヤウナコトハ甚ダ面白クナイト存ズルノデアリマス、勇斷ヲ以テ之ヲ處スベキコトダラウト私ハ信ズルノデアリマス、成程地方ニ依リマシテハ獨リ船溜バカリデハナク色々ノ要求希望ハアツタニ致セ、ヤリ掛ケタ仕事ヲ完成シナイデ、唯先ヘ先ヘト進ムト云フコトハ果シテ將來ノ爲ニドウデアラウカト云フコトヲ考ヘタ時ニ、私共ハ努メテ繰延トカ中止トカ云フコトハシナイデ、一旦ヤツタ仕事ハドコマデモ之ヲ完成シタ上ニ新規事業ヲヤツテ戴イタ方ガ將來ノ爲ニ宜クハナイカト存ズルノデアリマスガ、此ノ船溜等ニ付キマシテモ御計畫ノトコロハドノ位ノ年次デ之ヲ完成シ上ゲルト云フ御考ヘデアリマスガ、此ノ點ヲ御聞キシタイト思ヒマス

○番外五番(經濟部長坂井貞一君) 私ノ申上ゲマシタ新規事業ト云フ意味ト、今御尋ネノ新規事業トハ稍々意味ヲ異ニシテ居ルノデアリマスカラ、一應サウ云フ點ニ付テ私カラモウ一回重ネテ申上ゲマスガ、私ノ新規事業ト申シマスノハ今マデノ豫算ニ出テ居ラナカツタト云フ意味デ申シタノデアリマス、十八番議員ノ申サレル新規事業ハ仕事ガ全然初メテノ事業デアアルカト云フ御尋ネノヤウデアリマスガ、私ハサウ云フ意味デハナカツ

タノデアリマス、勿論此ノ豫算面カラハ新規事業デアリマスガ、漁港船溜ノ修築ハ必ズシモ今マデ何モ形ノナカツタ所ヘ初メテヤルト云フ譯デハナイノデアリマシテ、今マデ矢張り港ノ形ハ造ツテ居ルガマダ不十分デアアル、或ハ今マデ使ツテ居ツタガ底ガ淺クナツテ之ヲ修築シナケレバ効用ガナイ、サウ云フモノニ對シテ金ヲ注込ムノデアリマシテ、今マデヤリ掛ケタ仕事ヲ棄テ、置イテ、全然手ヲ著ケテ居ナイ所ヲ始メルト云フ意味デ新規事業ト申上ゲタノデハナイノデアリマス、其ノ點私ノ申上ゲ方ガ不十分デアツタカ知レマセヌガ御了解願ヒタイト思ヒマス、大体私ガ先程申上ゲタヤウニ、約三箇年位ノ間ニハ手ヲ著ケタ港ニ付テハ全部完成ヲ致シタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第四十八款御成婚紀念事業費繰入第一讀會

書記朗讀	
第四十八款	御成婚紀念事業費繰入
	金二萬九千五百九十二圓
第一項	御成婚紀念事業費繰入
	金二萬九千五百九十二圓
	(「採決」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ
 (「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)
 ○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第四
 十九款御大婚二十五年紀念模範林費繰入第一讀會
 書記朗讀

第四十九款 御大婚二十五年紀念
 模範林費繰入 金九千五十一圓

第一項 御大婚二十五年紀念
 模範林費繰入 金九千五十一圓

(「採決」ト呼ブ者アリ)
 ○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議ゴザイマセヌ
 カ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第五
 十款 皇太子殿下 御誕生記念綜合運動場費繰入第一讀會
 書記朗讀

第五十款 皇太子殿下 御誕生記
 念綜合運動場費繰入 金千五百圓

第一項 皇太子殿下 御誕生記
 念綜合運動場費繰入 金千五百圓

○十三番(島田彌久君) 議長……………

○六番(木村康哉君) 議長……………

(「登壇」ト呼ブ者アリ)

○六番(木村康哉君) 第五十款ノ事業ハ申ス迄モナク昭和八年十二月二十三日 皇太子殿
 下ノ 御誕生ニ對シ其ノ喜ビヲ永遠ニ記念センガ爲ニ奉祝ノ至誠ヲ以テ計畫サレタ次第
 デアリマス、事皇室ニ關係スルノデ此ノ案ノ決定マデニハ慎重ナル經過ヲ執ラレタ思
 フノデアリマスガ、昨年二月三日ニ縣下ノ各種團體長九十四名ヲ此ノ議事堂ニ集メテ協
 議イタシ、其ノ際滿場一致ヲ以テ可決セラレ、同月十四日特ニ臨時縣會ニ於キマシテ此
 ノ案ヲ提出セラレ、我々議員トシテ縣民ヲ代表シテ皇室ノ御繁榮、國家ノ御盛事トシテ
 之ニ謹ンデ敬意ヲ表シテ可決シタノデアリマスガ、此ノ事業ハ他ノ事業ト違ヒマシテ、
 事皇室ニ關係アル爲ニ我々縣民或ハ國民トシテノ思想上ニ重大性ヲ持ツテ居ル案デア
 ルト思フノデアリマス、此ノ案ノ計畫ノ決定サレマシタトコロノ内容ニハ敷地三萬坪、其
 ノ買上代金トシテ約十萬圓、地元負擔金ガ三分デ三萬圓、縣ガ七萬圓、又其ノ設備トシ
 テハ二十五萬圓ヲ縣下ノ一般寄附ニ仰ギ、此ノ事業ノ着手ハ昭和八年度ニ着手イタシマ
 シテ、昭和十年ノ 皇太子殿下御三歳ノ御祝日ニハ完成スルト云フコトニ決定シテ居
 ノデアリマス、即チ當初決議ノ設計ニ依リマスレバ本年十二月二十三日ニ此ノ事業ガ完
 成シナケレバナラヌコトニナツテ居ルノデアリマス、從ツテ此ノ事業ノ經過ニ付キマシ
 テハ我々縣民トシテ國民トシテ常ニ相當ノ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス、縣當局ニ於

カレマシテハ此ノ事業ガドノ邊マデ遂行サレテ居ルカドウカ、其ノ計畫ノ進捗ノ程度、又二十五萬圓ノ一般寄附金ト云フモノハドノ程度マデ進ンデ居ルカドウカ、又此ノ仕事ハドナタガ主管トシテサレタノデアルカ、此ノ主任ニ當ラレタコロノ方、ソレ等ニ付テ當局ノ御答辯ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○番外五番(學務部長岩重隆治君) 只今六番議員ヨリ 皇太子殿下 御誕生記念綜合運動場ニ對スル御質問ガアリマシタ、私ヨリ御答申上ゲマス、此ノ事業ハ只今御質問ノアリマシタ如ク 皇太子殿下 御降誕記念トシテ計畫サレタモノデアリマシテ、總工費三十五萬圓、寄附二十五萬圓、土地買收費トシテ縣費七萬圓、地元三萬圓、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、只今御質問ノ如ク昭和八年カラ計畫サレマシテ三箇年計畫、皇太子殿下 滿三歳ノ御時ニ完成セシメル、即チ本年ノ十二月二十三日ヲ以テ完成スル豫定ニナツテ居リマス、トコロガ不幸ニ致シマシテ只今ノトコロハ十二月二十三日マデニ完成イタサヌノデアリマスガ、是ハ私共ト致シマシテモ、假令前任者ノ計畫サレタコトトハ申シマシテモ、同ジク本縣トシテ我が千葉縣ノ事業デアリマスカラ、其ノ點ハ事業ノ性質上誠ニ遺憾ニ感ジテ居リマス、是ハ色々ノ理由モゴザイマシタガ、先ヅ一番大キナ理由ハ縣ノ當局ガ昨年末カラ本年ニ掛ケテ全部更迭サレマシテ、從ツテ其ノ間ニ於テ仕事ノ引繼上色々不便ナ點ヲ生ジタト云フコトガ蔽ヒ難キ一ツノ大キナ理由ニナツテ居リマス、ソレカラ細カク申シマスレバ、モウ一ツノ理由ハ寄附ノ二十五萬圓デアリマスガ、是ハ財界ノ不況トカ色々ナ關係ガアリマシテ、只今ノトコロ二十五萬圓ニ對シテ申込十

七萬圓、實際ノ寄附收入額九萬七千圓、約十萬圓、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ縣トシテノ主務者ハ大体總務部、學務部、經濟部、警察部、此ノ四ツノ部ヲ此ノ事業ノ執行ニ付キマシテ總務部ヲ釀金部即チ寄附募集其ノ他ノ經理ニ當ル部トシ、學務部ヲ庶務部、經濟部ヲ企画部、警察部ヲ普及部、斯ウ云フ風ニ部分ケニ致シマシテ、此ノ四ツノ部ガ協力シテ仕事ノ遂行ニ當ルト云フ建前ニナツテ居リマス、唯昨年末大体縣ノ幹部ガ總替リニナツタ關係上、前カラノ事情ヲ能ク承知シテ居ラレマシタノハ先達テ御異動ニナリマシタ藤田前總務部長デアリマシタノデ、藤田總務部長ガ主トシテ之ニ當ラレタト云フ建前ニナツテ居ツタデアリマス、トコロガ不幸ニシテ最モ事情ヲ承知シテ居ラレマスル總務部長ガ御榮轉ニナリマシタノデ、改メテ縣ノ首腦部會議ヲ開キマシテ、大体學務部ガ庶務部トシテ此ノ仕事ノ連絡統制ニ當ツテ居ルノデ、ソレデハ一ツ新學務部長ニ於テ此ノ仕事ノ連絡統制遂行ト云フコトヲシテ貰ヒタイト云フコトデ、藤田總務部長ノ御榮轉後幹部會議ヲ開イテ、大体私ガ庶務部長トシテ遂行ノ任ニ當ルコトニナリ、先頃之ヲ引受ケタ譯デアリマス、ソレカラ私ト致シマシテハ御承知ノヤウニ重大ナ案件デアリマスノデ、事業ノ性質ニ鑑ミ、又千葉縣ノ事業トシテ非常ナ困難ハアリマシテモ出來ルダケ之ニ努力シ、若シ出來ナイトスルナラバ何ガ故ニ本事業ガ出來ナイカト云フコトヲ縣民ニ御話シテ、然ラバ如何ニスレバ宜イカト云フコトノ御批判ヲ仰ガナケレバナラヌト云フノデ、短日月ノ間デハアリマシタガ出來ルダケノ努力ヲ致シマシテ、先ヅ以テ此ノ事業ノ「モデル」トナリマシタ大宮ノ綜合「グラウンド」、松本市ノ綜

合「グラウンド」、長野「グラウンド」、甲府ノ綜合「グラウンド」、斯ウ云フモノヲ短日月ノ間ニ見テ參リマシテ、其ノ財源ノ檢出方法、其ノ工事ノ執行ノ方法、又地元ト縣トノ負擔歩合、又之ニ要スル維持費、使用ノ條件、斯ウ云フヤウナモノヲ詳細聞キマシテ、然ル後本縣ノ事業ヲ檢討イタシマシテ、ソレデ漸ク大体ノ案ガ出來マシタノデ、其ノ案ニ從ツテ再度幹部會議ニ掛ケマシテ、漸ク最近ニ先達テノ長官ノ御答辯ニモアリマシタガ、近々ノ中ニ此ノ事業ガ緒ニ就カウカト云フコトニナツタノデアリマス、大体ヲ申上ゲマスルナラバ、今二十五萬圓ノ寄附ニ付キマシテ十七萬圓ノ申込ガアリ、約十萬圓ノ現金ノ收受ガアリマスガ、今俄ニ三十五萬圓ト云フ仕事ヲ一氣呵成ニヤリ上ゲルト云フコトハナカク、困難ナ事業デアリマス、一番困難ナ事業ハ土地ノ買收ト云フ問題デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ前ノ總務部長モ大体登戸方面ニ地ヲトサレテ三萬余坪ノ土地ヲ物色サレタノデアリマスガ、ドウシテモ土地ノ賣買價格ノ關係上折合ガ付カヌノデ終ニ最近千葉市トモ十分協定ヲ遂ゲマシタシ、又斯道ノ専門家等ノ意見モ聞キマシテ土地ノ便否、又「グラウンド」トシテノ環境ト云フヤウナモノヲ考ヘマシテ、千葉市ノ千葉寺地内ノ府縣道千葉大綱線ニ沿ツタ北側ノ土地、台帳面積デ二萬一千坪、其ノ土地ヲ色々非公式ニ交渉シテ見マスルト大体ニ於テ買收ノ可能性ガ十分アリマスルシ、又便宜ノ關係カラ申シマシテモ自動車ニ依ツテ直チニ「グラウンド」ニ行ケマスシ、又工事上カラ申シマシテモ高台ノ土地ヲ切り拓イテソレヲ田ニ埋メレバ野球場、「トラック」、「テニスコート」、相撲場、「プール」等モ出來ル可能性ガアリマスルシ、千葉寺ノ高台方面カラ

モ自動車ガ這入ル道ガアリマスノデ、此ノ土地ヲ買收スベク千葉市ト協定シテ目下着々買收ノ交渉中デアリマス、ソレデ只今大体計畫部デアリマス經濟部ノ係ト市ノ其ノ方面ノ係ト協力シテ目下買收ノ交渉中デアリマシテ、只今ノ見當デハ近々ノ中ニ買收ガ完了シヤウカト思ツテ居リマス、若シソレガ其ノ通り買收ガ完了イタシマスレバ來年ノ年度末マデニハ野球場ダケハ大体完成シヤシナイカト云フ風ニ見テ居リマス、尤モ此ノ野球場ニ致シマシテモ當初ノ計畫ハ相當大キカツタノデアリマスガ、大体寄附ノ收受額モ少ナイ關係ガアリマスノデ「メーン・スタンド」等ハ鐵筋等デアリマスガ、外野ノ方ハ芝生ニ致シテ使用シ得ル程度ニ致シマス、「トラック」等ハ大体土地ヲ掘ツタ儘ニシテ置イテ、使用シナガラ、縣民ノ使用ノ狀況又色々ナ狀況ヲ考ヘテ漸次完成セシメテ行クト云フ風ナ方針ニシテ居リマス、是ハ大宮ノ「グラウンド」ニ於テモ、又長野松本ノ「グラウンド」ニ於テモ其ノヤウナ方法ヲ以テ漸次完成主義ヲ執ツテ居ルヤウデアリマス、是ガ今日マデノ大体ノ經過デアリマシテ、所定ノ期日マデニ此ノ事業ガ全部完成ニ至ラナカツタ點ハ誠ニ遺憾デアリマスガ、只今ノ狀況ヲ以テスレバ少クモ完成ニハ多少ノ時日ノ遅延ハアリマセウガ、所定ノ工事ニ近イ「グラウンド」ガ最近ノ中ニ出來上ルダケノ見込ハ付ケテ居リマスルシ、又私共ト致シマシテモ最善ノ努力ヲ盡シマシテ、縣民各位ニ對シテ立派ナ「グラウンド」ガ出來ルヤウ努力イタス積リデ居リマスカラ、此ノ點ハ何分御諒承願ヒタイト存ズル次第デアリマス

○議長(吉野力太郎君) 時間ヲ延長イタシテ置キマス

○六番(木村康哉君) 只今部長サンノ最モ誠意アル御答辯大体當局ノ御苦心ノアルコトハ分リマシタガ、此ノ事業ノ性質ト致シマシテ、例ヘバ長官其ノ他ノ方ノ更迭ガアツタ爲ニ今日マデ延期シタト云フヤウナコトニ對シテハ私ハ茲ニ遺憾ノ意ヲ表スル次第デアリマス、皇室ニ關係アル仕事デアリマスカラ、如何ニ更迭ガアツテモ事務ノ引繼其ノ他ニ付テハ第一ニ此ノ問題ガ引繼ニナラナケレバナラスト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、更ニ又工事ノ内容デアリマスガ、只今部長サンノ御答辯ニ依リマスルト三萬坪デナクテ二萬一千坪ト只今御答ガアツタノデアリマスガ、將來アトノ九千坪ヲ豫定ノ如ク買收スルト云フ御見込デアリマスカ、其ノ點ガ一ツ、又此ノ事業ヲ色々寄附金募集ノ困難其ノ他カラ計畫ヲ變更シタノデアルカドウカ、當初ノ三十五萬圓ノ計畫通りニ此ノ事業ヲ遂行スルノデアルカ、斯ウ云フ點ニ付テ御伺ヒシタイノデアリマス、今一ツハ本年ノ豫算ハ千五百圓、前年度ガ三萬五千圓、是ハドウ云フ理由デ減ジテ居ルノデアリマスカ、ソレモ御伺ヒイタシマス

○番外五番(學務部長岩重隆治君) 重ネテノ御質問デアリマスガ、買收面積ハ台帳面積デ二萬一千坪デアリマス、實測面積ハ餘程殖エル豫定デアリマス、是ハ何程殖エマスカ、二萬四千坪ニハナルト思ヒマス、其ノ面積デ以テ、三萬坪ナクテモ大体三萬坪ノ當初計畫ト同ジヤウナ実績ヲ舉ゲルダケノ「グラウンド」ハ出來ル豫定ニナツテ居リマスノデ、只今ノトコロ是ダケヲ買收スレバ、更ニ買足サナクテモ當初ノ綜合「グラウンド」ト同様ノ規模ノモノガ出來ル計畫ニナツテ居リマス、ソレカラ將來色々ノ寄附ノ都合デ

所定ノヤウナモノヲ造ルカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ先ヅ野球場カラ着手イタシマシテ、漸次繼續事業デヤツテ參リマシテ、財界ノ都合或ハ寄附ノ募集狀況「グラウンド」ノ使用狀況等ニ依リマシテ、私共ト致シマシテハ少クトモ當初計畫ノヤウニ漸次完成サセテ行キタイト考ヘテ居リマス、併シ之ヲ一氣ニ完成スルト云フコトハ何ト申シテモ金ノ問題ガアリマスカラ、是ハ他ノ松本ノ「グラウンド」ニシテモ、或ハ大宮ノ「グラウンド」ニシテモ、十箇年以上掛ツテ居リマス、其ノ點ハ色々無理ヲシナイデ、而モ立派ナ運動場ノ出來ルヤウニ、其ノ理想ニ近付キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ來年度ノ豫算ト致シマシテハ是ハ尙ホ特別會計ガ上程ニナリマシタ際ニ詳細申上ゲタイト思ツテ居リマスガ、來年度ハ此ノ特別會計ノ經費ハ一千五百圓計上シテ居リマスガ、一千五百圓ハ其ノ「グラウンド」ノ維持管理費デアリマス、從ヒマシテ昭和九年度ハ三萬五千圓、昭和十年度ガ三萬五千圓ノ計畫デアリマシタカラ、從ツテ昭和十年度ノ當初豫算ニ比較シテ一千五百圓減ツタ額ガ出テ居リマス、一千五百圓ト云フノハ維持管理費デアリマス、或ハ「メーン・スタンド」ニ點ケマス電燈費、掃除ヲスル人夫賃、通信運搬費、或ハ除草費、サウ云フヤウナモノヲ大体來年度「グラウンド」ガ完成シタ程度ノモノヲ管理スル費用ヲ、他ノ綜合「グラウンド」ノ豫算等ヲ參考ニ致シマシテ計上シタ譯デアリマス、從ツテ是ハドウシテモ本年度ニ着工イタシマシテモ本年度中ニハ完成イタシマセヌカラ、本年度末ノ繰越參事會デ本年度ノ三萬五千圓ハ十一年度ニ繰越サレルコトニ大体ナルドラウト考ヘテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○六番(木村康哉君) 此ノ「グラウンド」ハ只今進行中ノ場所ニ付テハ、相當「グラウンド」トシテノ將來ノ利用其ノ他カラ考ヘマシテ議論モアルト思フノデアリマスガ、併シ事皇室ニ關係アルコトデ、既ニ當局ガ將來計畫ヲ變更シナイト云フ條件ノ下ニ此ノ仕事ヲ進行シテ居ルナラバ、千葉寺附近ノヤウナ所デモ相當利用價值アル「グラウンド」ニナルト云フコトヲ私ハ信ジマシテ此ノ質問ヲ打切ルノデアリマスガ、最後ニ此ノ事業計畫ノ變更ト云フコトハ將來決シテシナイト云フコトヲ一ツ當局ノ頭ニ入レテ置イテ戴キタイ、今日傳ヘラレテ居ルトコロニ依レバ、寄附金ノ募集ガ困難デアル爲ニ此ノ事業ノ計畫ヲ變更シナケレバナラヌト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、御承知ノ如ク此ノ事業ハ既ニ前岡田長官ガ地方長官會議ニ於テ尊キ邊リニ言上、申上ゲタト云フコトモ聞イテ居ルノデアリマス、此ノ計畫ハ輕々シク變更ノ出來ナイ性質ノモノニナツテ居ヤシナイカト思ヒマスカラ、其ノ點當局ノ十分ナル御努力ヲ御願ヒシタイト思フノデアリマス、之デ質問ヲ打切りマス

○十三番(島田彌久君) 大体私ノ承ラムトスルトコロハ六番君ノ質問ニ依ツテ、縣當局ノ誠意アル御答辯ニ依リマシテ諒承イタシマシタ、斯ノ如キ問題ニ付テ議場ニ於テ彼是レ論ジタクナイ、一瀉千里直チニ豫算ヲ議シテ、其ノ目的ノ彼岸ニ達シタイト云フコトガ我々ノ年來ノ希望デアリマス、併シ少シク分ラヌ點ガアルニ依ツテ御聞キシタイト思フノデアリマス、二十五萬圓ノ寄附募集ニ着手シタガ、十七萬圓シカ今出來テ居ナイ、約八萬圓ト云フモノハ豫定ノ金額ニ充タナイト云フコトデアリマスガ、是ハ當局ノ御更迭

ノ爲ニ全然募集ニ着手シナカッタノカ、或ハ着手ハシタケレドモ豫定ノ金額ニ達シナカッタノカ、或ハ縣ノ首腦部ガ變ツタ爲ニ手ガ廻ラナクテ募集ニ着手シナカッタト云フナラバ、是カラ以後デモ此ノ豫定額ニ達スル程度ニ其ノ募集ヲスル考ヘデアルカ、或ハ既ニ決ツテ居ル十七萬圓ヲ打切ル御計畫デアルカラ聞イテ置キタイノデアリマス、私ノ考ヘカラスルナラバアト八萬圓位ノ寄附ノ募集ハ誠ニ易々タルモノデハナイカト考ヘルノデアリマス、何故ナラバ旭光會トカ水難救濟會ノヤウナ寄附ヲ募集シマス時ニ誠ニ易々ト運ブ時ニ、事皇室ニ關スル此ノ問題ニ付テ寄附ヲ拒ム者ハ恐ラクナカラウト想像出來ルノデアリマスカラ、是マデヤツテ出來ナカッタナラバ、如何ナル方面ニ如何ナル方法ヲ以テ寄附ヲ募集シタガ出來ナカッタカ、或ハ首腦部ガ變ツタガ爲ニ其ノ暇ガナカッタト云フナラバ、今後之ヲ募集シテ豫定ノ金額ニ達セシメル御誠意ガアルカドウカヲ聞キタイノデアリマス、次ニハ土地ノ買收デアリマス、土地ノ買收ニ致シマシテモ、寄附ニ致シマシテモ、私ハ獨リ縣廳ノ役人ノミガ之ニ當ルコトガ事業ガ遅々トシテ進行シナイ最大原因デハナカラウカト思フノデアリマス、縣費ノミデハナク寄附金ヲ以テ遂行スル事業、殊ニ國民的事業ニ當ツテハ民間ト協力シテ、寄附ノ募集ニ致シマシテモ、土地ノ買收ニ致シマシテモ、民間ノ人ト手ヲ携ヘテ初メテ意義アルコトデアリ、且ツ事業ノ遂行上捷徑デアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、縣當局ハ是マデ餘リニ民間ノ人ト手ヲ携ヘテ形が見エナイノデアリマス、千葉寺ノ敷地購入ニ當ツテ初メテ市長サンヲ煩ハシタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、市長サンダケデ果シテ是ガ能ク遂行出來ルカドウカト

云フコトヲ私ハ疑ツテ居ルノデアリマス、故ニ此ノ事業ノ遂行上捷徑ヲ得ンガ爲ニ各地
 方々々ニ縣管「グラウンド」地方委員ト云フモノヲ設ケテ居ル筈デアリマシタガ、此ノ
 地方委員ヲ動かシタ形ガ少シモ見エナイノデアリマス、此ノ先モ寄附ノ募集其ノ他土地
 ノ買収等ニ付テ、此ノ綜合「グラウンド」ニ付テ地方委員ハ有名無實ニナツテ、是等ノ
 手ヲ煩ハサイデ押切ル考ヘデアルカ、端的ニ言フナラバ縣ノオ役人ノミヲ以テ此ノ仕事
 ヲヤツテシマウカドウカニ付テ伺ツテ置キマス

○番外五番(學務部長岩重隆治君) 十三番議員ノ御質問ニ對シテ御答イタシマス、只今ヤ
 ッテ居リマス事業ノ程度ニ依リマスト只今集ツテ居ル金デ以テ土地ノ買収モ、又第一期
 ノ工事モ十分完了スルダケノ見込ガ大体付イテ居リマスカラ、只今ノトコロデハ、將來
 ノ理想トシテハ當初ノ大計畫ニ進ミマスガ、先ヅ以テ只今ノ金ノアル程度デ事業ニ看手
 シタイト思ヒマス、二十五萬圓ノ寄附ニ對シテ今マデ十七萬圓ノ寄附申込ガアリ、十萬
 圓近ク現金ガ集リマシタガ、殘餘ノ額ハ寄附募集ニ努力シナカツタカ、努力シテモ取レ
 ナカツタカト云フ意味ノ御質問デアリマシタガ、是ハ主トシテ釀金部ニ屬シマスコト
 デ、總務部ノ御仕事ニナツテ居リマスカラ、私カラ御話申スノハ如何カト存ジマスガ、
 私ガ連絡統制ニ當ツテ居リマス關係上一應私カラ御答辯イタシマスガ、勿論寄附ニ付キ
 マシテハ非常ナ無理ヲスレバ取レルコトモアリマシタケレドモ、當局ト致シマシテハ當
 初ノ計畫ノ豫算カラ見マシテモ、事業ヲ遂行シツツ寄附募集ヲ合セテ行フト云フコトガ
 當初ノ事業執行方法ニナツテ居リマシタシ、又豫算面ニモサウ現ハレテ居リマシテ、ソ

レデ私共ト致シマシテハ一方ニ於テ事業ヲ執行シナガラ、事業遂行上斯ク斯クノ金ガ足
 リナイカラ寄附ヲ募集シテ呉レト云フ風ニ、事業進行ノ狀況ヲ縣民ニ御覽ニ入レ同時ニ
 寄附募集ヲスルノガ最も深切ナヤリ方デアツテ、事業ガドコニ決マルカ、又如何ナル
 「グラウンド」ガ出來ルカ、ソレガ分ラヌ際ニ寄附ノミヲ募集スルノハ如何デアルカ、
 然ラバ其ノ寄附募集ハ一應中止シテ、先ヅ以テ集ツタ金デ出來ルダケノ事業ヲナシ、其
 ノ事業ヲ縣民ニ御覽ニ入レテ此ノヤウニ第一期工事ハ出來タガ、更ニ理想ニ從フ爲ニハ
 コレノ金ガ要ルノダカラ、斯ウ云フ風ニシテ寄附ヲ募集スレバ、縣民モ其ノ事業ヲ
 理解シツツ又將來ノ完成ノ目標モアリマスシ寄附募集モヤリ易カラウ、斯ウ云フ風ニ考
 ヘマスカラ、私共ト致シマシテハ將來工事ガ一部完成スルナラバ、其ノ完成ニ向ツテ寄
 附ノ募集モ續ケテ行ク積リデアリマス、ソレカラ此ノ事業遂行ニ付テ當局ノミガヤツテ
 一般ノ縣民ニ協力ヲ求メナカツタデハナイカト云フ御話ガアリマシタガ、當初ノ計畫ニ
 モ二十三名ノ特別委員ト云フモノヲ御定メニナツテ居リマス、是ハ官民力ヲ合セテ此ノ
 事業ヲ遂行スルヤウナ建前ニナツテ居リマシタガ、當局ト致シマシテハ先ヅ以テ之ガ施
 行ノ中心ニナル當事者デアリマスカラ、先ヅ當局デ以テ仕事ヲ遂行スルト云フ建前デ今
 マデヤツテ參ツテ居リマシタカラ、愈々斯様ニ仕事ノ目標モ立チ、近ク仕事ニモ着手ス
 ルト云フヤウナ段取りニナリマシタナラバ、出來ルダケ之ニ付テハ輿論ヲ尊重シ、又縣
 民打ツテ一丸トナツタ努力ニ依ツテ之ヲ完成シテ行キタイト思ヒマスカラ、其ノ節ハ委
 員ノ方々竝ニ大方ノ各位ニ十分ノ御諒解ヲ求メテ綜合的ノ力ヲ以テ遂行ニ努力シタイト

考へマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○十三番(島田彌久君) 了承イタシマシタ

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第五十一款魚附海岸砂防造林費繰入第一讀會

書記朗讀

第五十一款

魚附海岸砂防造林費繰入

金一萬三千九百九十一圓

第一項 魚附海岸砂防造林費繰入

金一萬三千九百九十一圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第五十二款自作農獎勵資金繰入第一讀會

書記朗讀

第五十二款

自作農獎勵資金繰入

金二萬七千五百七十五圓

第一項 自作農獎勵資金繰入

金二萬七千五百七十五圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第五十三款漁業獎勵資金繰入第一讀會

書記朗讀

第五十三款

漁業獎勵資金繰入

金一千圓

第一項 漁業獎勵資金繰入

金一千圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第五十四款農業學校費繰入第一讀會

書記朗讀

第五十四款

農業學校費繰入

金十二萬一千百三十五圓

第一項 農業學校費繰入

金十二萬一千百三十五圓

○三十九番(星野懿吉君) 此ノ農業學校費繰入デアリマスガ、農業學校ヲ特別會計ニ移シテ以來減額スルト云フコトハ非常ニ喜バシク感ジマスガ、此ノ繰入費ノ減額シタノハ授業料ノ増加デアルカ或ハ生産品ノ増加デアリマスカ其ノ點ヲ伺ヒマス

○番外六番(事務官龍野喜一郎君) 是ハ授業料、入學料、不用品賣却代、過年度收入ト云フモノガ前年度及ビ前々年度ト比較シテ増額シマシタ分ノ半分ヲ縣費繰入ヨリ減ズルト云フコトニナツテ居リマス關係上、具体的ニ申上ゲマスレバ、昭和十一年度ニ於テハ昭和八年度ト九年度トノ歳入關係ヲ照シ合セテ増額シマシタ差額ノ半分ダケヲ減ジタノデアリマス、御質問ニナリマシタ農産收入ハ其ノ時ハ特ニ例外ニナツテ居リマシテ、此ノ増額分ダケハ専ラ實習費ニ充テルト云フコトニナツテ居リマス關係上、其ノ農産收入ハ減額ノ基礎ニナツテ居リマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

○三十九番(星野懿吉君) 農産收入ハ全然此ノ方ニ這入ラナイノデスネ

○番外六番(事務官龍野喜一郎君) サウデス

○三十九番(星野懿吉君) 分リマシタ

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナシト認メテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第五十五款公立學校職員年功加俸資金繰入第一讀會

書記朗讀

第五十五款

公立學校職員年功加俸資金繰入

金四萬一千四十三圓

第一項

公立學校職員年功加俸資金繰入

金四萬一千四十三圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナシト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第五十六款育英資金學費補給金繰入第一讀會

第五十六款

育英資金學費補給金繰入

金一千五百八十二圓

第一項

育英資金學費補給金繰入

金一千五百八十二圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナシト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第五十七款慈惠救濟基本金繰入第一讀會

書記朗讀

第五十七款 慈惠救済基本金繰入

金一千五百四十五圓

第一項 教護費繰入

金一千五百四十五圓

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第五

十八款軍人援護資金繰入第一讀會

書記朗讀

第五十八款 軍人援護資金繰入

金百七十圓

第一項 軍人援護事業費繰入

金百七十圓

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第五

十九款恩賜賑恤基本金繰入第一讀會

書記朗讀

第五十九款 恩賜賑恤基本金繰入

金一千百七十圓

第一項 社會事業助成獎勵費繰入

金一千百七十圓

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第

六十款男女青年團體事業獎勵費繰入第一讀會

書記朗讀

第六十款 男女青年團體事業獎勵費繰入

金二千百一圓

第一項 男女青年團體事業獎勵費繰入

金二千百一圓

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第六

十一款失業救済資金繰入第一讀會

書記朗讀

第六十一款 失業救済資金繰入

金十圓

第一項 失業救済資金繰入

金十圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第六十二款農村及中小商工業關係元利仕拂資金繰入第一讀會

書記朗讀

第六十二款

農村及中小商工業關係元利仕拂資金繰入

金五圓

第一項

農村及中小商工業關係元利仕拂資金繰入

金五圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第六十三款橋梁架換費第一讀會

書記朗讀

第六十三款

橋梁架換費

金五萬三千圓

第一項

橋梁架換費

金五萬三千圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第六十四款補給費第一讀會

書記朗讀

第六十四款

補給費

金九百六十三圓

第一項

市町村債利子補給費

金九百六十三圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第六十五款運用金積戻第一讀會

書記朗讀

第六十五款

運用金積戻

金一萬七百六十圓

第一項

運用金積戻

金一萬七百六十圓

〔採決〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メテ二讀會ニ移スコトニ決シマス、次ハ第六十六款縣債費第一讀會

書記朗讀

第六十六款	縣債費	金九十萬五千四十七圓
第一項	元金償還金	金三十四萬四千六百十六圓
第二項	縣債利子	金五十五萬二千四百四十三圓
第三項	縣債募集費	金八千二百八十八圓

〔説明ト呼ブ者アリ〕

三十六番青木泰助君登壇

○三十六番(青木泰助君) 私ハ第一號議案ノ最後ノ第六十六款ノ縣債費ノ審議ニ當リマシテ聊カ當局ノ御意見ヲ承リタイト思ツテ登壇シテ次第デアリマス、茲ニ提案サレマシタル縣債費九十萬五千四十七圓、是ハ元金利息總計デアリマス、是ハ御説明ナクトモ諒承イタシマシタガ、此ノ機會ニ於キマシテ私共ガドノ位ノ縣債ヲ脊負ツテ居ルカト云フコトヲ檢討シテ見タイノデアリマス、私ノ極ク杜撰ナ調ベニ依リマス、只今ノ我々縣民ノ借金ハ本年ノ分ヲ除キマシテ二千二百四十八萬八千三百二十五圓、其ノ中轉貸ガアルノデ、ソレヲ差引キマス、ト千五百六萬七千九百七十七圓ト云フヤウナ數字ガ現レテ來テ居リマス、之ヲ我々縣民一人當リニシマス、ト約十圓宛ノ負擔デ、是ハ必ズシモ他府縣ニ比シ

テ重イト云フ次第デモアリマス、併ナガラ昭和七年以來此處四、五年ノ間政府ノ方針竝ニ縣ノ方針トシマシテ匡救事業其ノ他凡ユル我々縣民ノ生活救済ノ爲ニドシト、縣債ヲ募集イタシマシテ主トシテ生産的ノ借金ガ加ハリマシタ、之ニ付キマシテハ私共モ其ノ當時協賛ヲ與ヘマシテ此ノ非常時ノ急場ヲ救フコトニ同意イタシタノデアリマスガ、本年ノ豫算ヲ拜見スルト、曩ニ一般質問ノ際ニ申述べタ通り本年ノ我々縣ノ豫算ハ頗ル健全性ニ富ンデ居ルト私ハ申上ゲマシタガ、ソレハ其ノ當時申上ゲタ通り縣ノ借金ヲ五萬圓デ打切ツテアトハ自然增收十七萬圓、整理節約ニ依ルモノガ七萬圓、之デ一千十餘萬圓ノ仕事ヲシヤウト云フコト、縣債ヲ五萬圓デ止メタト云フコトニ付テ私ハ申上ゲタノデアリマス、丁度時正ニ中央ニ於テモ財務當局ハ赤字公債ノ漸減主義ト云フコトヲ固ク守ツテ居ラレルヤウニ承ツテ居リマスガ、我々縣ニ於テモソノ、此處ラデ我々ハ此ノ縣債ニ付テ再檢討ヲシ考察スベキ時期デハナカラウカト信ズル者デアリマス、中央政府ニ於ケル方針ヲ直チニ我ガ千葉縣ノ財政ニ移スト云フコトハ、軍部關係其ノ他違ヒマスノデ直チニ之ヲ移スコトハ出來マス、マイケレドモ、矢張り一家ノ經營ニ當リマシテモ單ニ事業ノ發展ノミナラズ、退イテ自分ノ借金ヲ研究スルト云フコトハ必要デアルト同時ニ、我々縣民モ此ノ邊デ借金ヲ考ヘテ、一萬ノ元手ヲ下シテ三萬五萬ニ返ツテ來ル借金ナラバドシト、ヤルベシ、我々ハ積極主義ヲ持ツテ居ル者デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ縣當局ハ矢張り中央ノ御方針ノヤウニ縣債漸減主義ヲ御執リニナルカドウカ、又今後爲スベキ事業ガ澤山起ツタ場合ニハ從來ノ如ク縣債ニ依ツテ仕事ヲスルカ、

ソレトモ自然増收ニ依ツテ賄フカ、或ハ望ムベキコトデハナイガ増税ニ依ルカ、是ハ將來ノ見込デアリマスカラ、唯御方針ヲ立テル際ノ御考ヘテ聞キタイノデアリマス、次ニハ本年ノ九十萬圓ハ一千萬圓ノ豫算ニ比較シテ元利金ノ償還ガ約一割ニナツテ居リマス、一割以上ノ元利金ヲ拂ツテ、更ニ又恩給金其ノ他已ムヲ得ザル支出等ヲ合算イタシマス、眞ニ縣民ノ生活向上或ハ縣民ノ幸福利益ノ増進ト云フ方面ノ費用ガ減殺サレルデハナカラウカト思ヒマスガ、此ノ點ハ矢張り本年ノ御方針ノ如ク自然増收、經濟界ノ好轉ニ依ル歳入ニ依ツテ之ヲ賄ハントスルモノナリヤ否ヤト云フヤウナ點ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、是ハ豫算ノ總元締デアリマス總務部長サンノ御意見ヲ拜聽シタイト思ヒマス（拍手、降壇）

○番外一番（總務部長川久保常次郎君） 三十六番ノ只今ノ御尋ネニ對シマシテ私カラ御答ヘイタシマス、來年度豫算ヲ編成スルニ當リ、新シク財源ヲ起債ニ求メタモノハ五萬圓程度デアアル、是ハ非常ニ好イ方針デアツタト云フ御褒メノ御言葉ヲ戴イタノデアリマスガ、實ハ本縣ノ財政ヲ見マスルト玆ニ新シク起債ヲスルト云フコトハ相當困難ナノデアリマス、ト申シマスノハ來年デモ全然起債シナイノカト云フトソウデハナイノデ、既ニ前ニ皆サンニ依ツテ繼續費トシテ議決済ミノ既定計畫ニ依ル起債ト云フモノガ相當アルノデアリマス、從ツテ其ノ元利金ノ償還ト云フコトヲ考ヘルト玆ニ新シイ事業ヲ起シテ其ノ財源ヲ起債ニ求メルト云フコトガ相當困難ニナツテ來ル譯デアリマス、サウ云フ點カラ來年度ニ於テハ極力此ノ起債ニ依ツテ行フ事業ノ計畫ヲ差控ヘマシテ橋梁費五萬圓

程度ノモノダケ増加シタト云フ關係ニナツテ居ルノデアリマス、先年來匡救事業ヲ興スコトニナリマシテ特ニ本縣トシテハ此ノ借金ガ殖エタノデアリマス、起債ヲシマシテモ數年間ハ据置キマスノデ、利子ダケ拂ツテ居レバ宜イノデアリマスガ、五年位ノ据置期間ヲ經テ愈々償還期ニ入りマス、年々相當額ノ償還ヲシテ行カナケレバナリマセヌカラ、是ガ其ノ時ノ縣民ノ負擔トナツテ來ルノデアリマス、起債スルニ致シマシテモ之ヲ償還スル頃ニハ、縣民ノ負擔力ガ増シテ税ノ自然増收等ニ依ツテ、自ラ其ノ増額位ハ賄ツテ行ケルト云フナラバ結構デアリマスガ、經濟界ノ景氣不景氣ト云フモノハ必ズシモ容易ニ豫想出來マセヌノデ現在多少景氣ガ好イカラト云ツテ將來ズツソレガ續クモノデモアリマセヌシ、其ノ間ニハ不慮ノ災害ガ起ルト云フコトモ考慮ニ入レテ置カナケレバナラヌカラ、財政計畫ヲ立テルニ當ツテハ常ニ出來ルダケ大事ヲ執ツテ行カナケレバナラヌモノデアアルコトハ御意見ノ通りデアリマス、從ツテ將來新規事業ヲ起スニ當リマシテモ、ソレ等ノ點ヲ十分ニ考慮シマシテ、將來税ノ自然増收等ガ確實ニ見込ミ得ルト云フ時ニハソレ等ヲ財源トシテ縣民ノ福利増進ニ資スル相當ノ事業ヲ計畫シテ行クコトガ出來ルト思ヒマスガ、差當リ利子ノ負擔ニハ堪エルト云フ位ノコトデ、ソコニ新シク起債シテ行クト云フコトハ非常ニ考慮ヲ要スルコトト思ヒマス、從來ノ本縣ノ財政計畫ヲ見マシテモ起債償還ノ爲ニ既ニ二十年度アタリカラ租税ノ増徴ヲスルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、尤モソレハ昨年一昨年アタリノ租税收入ノ狀況ノ儘デ推移スルモノトシテ、即何等増收ガナイモノト見テノ計畫デアリマシテ若シ率ヲ上ゲナクテモ

税金ガ余計ニ這入ツテ來ルト云フコトニナレバ、率ヲ上ゲナクテモ即増稅ヲシナクトモ
 スムトイフ譯デアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ、將來仕事ヲスル上ニ於テモ、又
 起債ノ償還ト云フコトニ付テモ、將來縣民ノ負擔力ガ自然ニ増シテ來テ税金等ノ自然増
 收ガアリ、ソレダケハ償ヘルト云フ程度ニ於テ之ヲヤツテ行クト云フコトガ一番適當デ
 ハナカラウカト考ヘマス、其ノ點三十六番ノ御考ヘニナツテ居ルノト全ク同感デアリマ
 ス、唯併シ仕事ノ性質ニ依リマシテハ、例ヘバ災害復舊ノ如キ假令百萬圓掛ラウガ、二
 百萬圓掛ラウガ、ヤラナケレバナラストイフコトガ起リマシタ時ニハ縣民ノ一時的ノ負
 擔ヲ輕クシテ長イ將來ニ亘ツテ負擔スルコトニスル目的ヲ以テ其ノ財源ヲ起債ニ求メル
 ト云フコトハ是ハ已ムヲ得ナカラウト思フデアリマス、只今ノ處大体サウ云フ風ニ考
 ヘテ居リマス

○三十六番(青木泰助君) 御説明ニ依リマシテ豫算編成ノ根本方針ヲ諒解イタシマシタ、
 私共ト致シマシテハ先刻申述ベタ通り縣民ノ負擔ヲ絶對増サナイデ、經濟界ノ自然ノ好
 調ニ依ル増額ヲ以テドント、事業ヲヤツテ戴キタイト云フノガ御願ヒデアリマス、之デ
 私ノ質問ヲ打切りマス

(「採決」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 採決イタシマス、本款ヲ二讀會ニ移スコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ本款ヲ二讀會ニ移スコトニ決シマス、本

日ハ之ヲ以テ散會イタシタイト思ヒマスガ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ本日ハ之ヲ以テ散會イタシマス、明日ノ
 日程ハ第一號議案ノ一讀會並ニ第二號議案乃至第四十九號議案ノ一讀會、定刻ヨリ開會
 イタシマス、本日ハ之ヲ以テ散會イタシマス
 午後四時五分散會

傍聽人 百二十七名

昭和十年通常千葉縣會議事速記錄

第十一號

昭和十年通常千葉縣會議事速記録第十一號

十二月三日(火曜日)午後二時五分開會
出席議員四十名左ノ如シ

一	謙訪寬治君	二	石井與作君
三	伊藤博愛君	四	成島勇君
五	新藤退藏君	六	木村康哉君
七	大枝十兵衛君	八	川俣義郎君
九	浮谷竹次郎君	十	高野伴藏君
十一	川口爲之助君	十二	木島義夫君
十三	島田彌久君	十四	石橋保君
十五	木倉和一郎君	十六	石川善之助君
十七	鋤柄良司君	十八	古川長太郎君
十九	柳澤清春君	二十	平山成之助君
二十一	長島義三君	二十二	飯田惣兵衛君
二十三	横田清藏君	二十四	押元才司君
二十六	澁谷司君	二十七	梨本太兵衛君
二十八	小柴金一郎君	三十	飯田鐵之助君

- 三十一番 花澤壽太郎君
- 三十三番 鈴木亮君
- 三十五番 一瀬房之助君
- 三十七番 染谷正治君
- 三十九番 星野懿吉君
- 四十一番 石上新藤君
- 三十二番 田中恭三君
- 三十四番 茂木林藏君
- 三十六番 青木泰助君
- 三十八番 高瀧政吉君
- 四十番 渡邊政治君
- 四十二番 吉野力太郎君

缺席議員二名左ノ如シ

二十五番 吉堀正雄君

二十九番 小谷三之助君

○議長(吉野力太郎君) 開會イタシマス、跡廻シニナツテ居リマシタ第九款勸業費第一讀會

書記朗讀

第九款 勸業費

- 第一項 地方測候所費 金九十四萬六千二百二十四圓
- 第二項 農事試驗場費 金一萬七千六百三十七圓
- 第三項 蠶業試驗場費 金十萬七千四百十圓
- 第四項 水產試驗場費 金四萬三千二百八十圓
- 第五項 水產分場費 金二萬七千二百三十圓
- 水產分場費 金四萬五千九百六十四圓

- 第六項 水產分場費 金一萬三千九百六十六圓
- 第七項 工業試驗場費 金一萬二千四百四十圓
- 第八項 種畜場費 金四萬四千三百九圓
- 第九項 蠶業取締所費 金三萬九千四百十二圓
- 第十項 三里塚農場費 金一萬三千八百四十圓
- 第十一項 農產物検査所費 金二十六萬二千六十六圓
- 第十二項 水產製品検査費 金三萬七千四百四十五圓
- 第十三項 產業職員費 金九萬一千七百三十六圓
- 第十四項 水田裏作振興費 金二千百十九圓
- 第十五項 販賣購買統制費 金一萬四千三百七圓
- 第十六項 產業組合擴充費 金五千二百六十六圓
- 第十七項 漁業取締費 金七千百三十六圓
- 第十八項 農家組合指導費 金四千百圓
- 第十九項 獎勵費 金七萬二千八百五十八圓
- 第二十項 模範林費 金八千二百十九圓
- 第二十一項 地方森林會費 金百四十圓
- 第二十二項 害蟲驅除豫防費 金三百五十圓

- 第二十三項 畜牛結核病豫防費 金千六百圓
 - 第二十四項 勸業諸費 金四萬八千八百七十九圓
 - 第二十五項 園藝振興費 金三千圓
 - 第二十六項 輸出百合病害防除費 金一千四百圓
 - 第二十七項 中小商業經營指導費 金二千七百圓
 - 第二十八項 農村工業研究費 金一萬一千九百八十五圓
 - 第二十九項 商工業振興費 金三千圓
 - 第三十項 農業指導員費 金九千圓
- 十八番(古川長太郎君) 勸業費ニ於ケル新規事業ニ付テハ曩ニ長官ノ御説明ニ依リマシテ大体承知シテ居リマスカラ、當局ノ説明ハ省略イタシタイト思ヒマス、動議ヲ提出イタシマス

(「賛成」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 十八番ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナシト認メテ當局ノ説明ハ省略イタシマス、二十一番

二十一番長島義三君登壇

拍手起ル

○二十一番(長島義三君) 跡廻シニナツテ居リマシタ勸業費ニ付キマシテ五六ノ質問ヲ試

ミタイト存ジマス。私ハ昨今新聞其ノ他ニ於テ盛シニ傳ヘラレテ居リマス落花生ノ縣營検査ノ問題デアリマスガ、此ノ事タルヤ當縣會ニ豫算案トシテ計上サレルニ當リマシテ端ナクモ同業組合或ハ生産者ノ方々カラ勃然トシテ反對ノ聲ヲ聞クヤウニナツタノデアリマス、私共概念的ニ考ヘテ居リマスコトハ今マデ本縣ノ生産品ノ検査ガ常ニ民間ノ検査カラ縣營ノ検査ニ移リツツアリ、而シテ其ノ成績モ或ル程度マデ相當見ルベキモノガアリマシテ、其ノ業態ガ振興シツ、アルコトハ固ヨリ是認スル者デアリマス、併ナガラ色々識者ノ意見ヲ聞キマスト、理想ノ検査ハ官營ノ検査ヨリモ民間ノ検査ノ方ガ宜イト云フコトモ言ハレテ居リマス、併ナガラ本縣ノ實情カラ之ヲ見マスルナラバ、水産品検査ニ於テモ其ノ他穀物検査ニ於テモ矢張り向上發達ノ途ヲ辿ツテ居ルコトハ事實デアアルノデアリマス、併ナガラ只今申ス通り落花生ノ縣營検査ハ甚ダ時代ニ即シナイ、寧ロ同業組合ノ從來ノ検査ノ方ヲ生産者モ喜ブ、又検査其ノモノガ宜イト云フコトガ盛シニ主張セラレルヤウニナツタノデアリマシテ、此ノ問題ニ付キマシテ我々ハ相當ノ注意ト而シテ慎重ノ態度デ進マナケレバナラヌト云フ意味合ヲ以チマシテ今日マデ實ハ研究調査ニ努メテ居ツタヤウナ次第デアリマス、併シマダ本當ニ私共ノ頭ノ中デ、此ノ縣營検査ガ果シテ宜シイカ、同業組合生産者ノ叫ブ如ク民間ノ検査ノ方ガ宜シイカト云フコトニ付テ確タル信念ヲ持ツコトガ遺憾ナガラ出來ナイノデアリマス、故ニ私ハ二、三當局ノ意ノ在ル所ヲ先ヅ以テ伺ヒタイト存ズルノデアリマス、第一ハ本縣ノ落花生ノ産業上ニ於ケル地位及ビ生産額ハドウデアアルカト云フコトデアリマス、第二ハ縣營検査ノ必要ナ

ル理由ハ當局ハドウ見テ居ラレルカ、第三ハ落花生ノ移出狀況ハドウデアアルカ、第四ハ落花生検査ノ見込數量ハ縣ハドノ位ニ見テ居ラレルカ、縣管検査ヲ行フニ當リ縣ハドノ位ノ數量ヲ取扱フ見込ガ立ツテ居ルカ、第五ハ検査ノ効果及ビ利益ハドウデアアルカ、第六ハ縣管検査ノ方法ハドウスルカ、從來ノ如ク同業組合等ニ於テ検査シテ居ルヤウナ從來ノ方法ニ依ルモノデアアルカ、若クハ米麥ノ検査員ヲ以テ從事セシメルノデアアリマセウカ、其ノ方法ハ如何ト云フコトデアリマス、第七ハ是等ノ検査ニ要スル經費ハドノ位掛カルモノカ、第八ハ同業組合ノ検査ヲ縣ハドウ云フ風ニ見テ居ツタカ、縣ノ見タル同業組合ノ検査如何、斯ウ云フ問題デアリマス、是等ノ諸點ニ對シマシテ縣ノ御答辯ヲ戴キ、更ニソレニ付キマシテ私共ハ質問ヲ致サウト思フ次第デアリマス、何分ノ御明答アラムコトヲ御願ヒイタシマス、(降壇、拍手)

○番外五番(事務官岡尊信君) 二十一番議員ノ御質問ニ對シテ御答イタシマス、第一ハ本縣落花生ノ産業上ニ於ケル地位及ビ産額ハドウデアアルカト云フ御質問デアリマスガ、本縣ニ於ケル落花生ノ生産高ハ全國中第一位ヲ占メテ居ルノデアリマシテ、又縣内ノ生産ト致シマシテモ縣内ノ食用農産物中ノ重要物産デアリマシテ、其ノ作付反別モ三千六百六十二町歩、收穫高ガ七十七萬八千二百二十六斤、其ノ價額ニ於キマシテ約百萬圓ニ達シテ居ルノデアリマス、而モ其ノ大部分ハ縣外ニ移出スル品物デアリマス、從ツテ之ガ品質ノ改善、規格ノ統一ト云フコトハ取引上ノ圓滑ヲ圖ル上ニ於キマシテ極メテ重要ナルモノニナツテ居ルノデアリマス、第二ノ縣管検査ノ必要ナル理由ト云フコトニ對スル

御質問デアリマシタガ、本縣ノ落花生ハ現在同業組合ニ於テ検査ヲ實施シツツアリマスガ、同業組合ニ於キマシテ検査シテ居ルノハ土鞘ト申シマシテ、土ノ附イテ居ルモノニ付テノミ限ラレテ居リマシテ、加工品タル洗鞘、煎リ即チ煎ツタモノ、剥身ト申シテ皮ヲ取ツタモノ、斯ウ云フヤウナモノニ對シマシテハマダ検査ガ行ハレテ居ナイノデアリマシテ、然ルニ隣縣デアリマス神奈川縣ニ於キマシテハ昭和三年以來土ノ附イタモノヲ始メトシテ加工品等總テニ對シ縣管検査ヲ實施シマシテ益々改良増産ヲ圖リ品質ノ向上ニ努メテ居リマス、本縣産ハ是等ノ改良品ニ壓倒サレマシテ逐年栽培減少ノ狀況ニアルノデアリマス、從ツテ此ノ際縣管検査ヲ實施シマシテ生産上ノ指導ヲ徹底スルト同時ニ生産ノ改良増産、收穫後ノ處理ト云フヤウナコトニ付キマシテ此ノ際實行スルニ非ザレバ當業者ノ福利増進ヲ圖ルコトハ困難ノヤウニ認メラレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ事情ガ縣管検査ヲ必要トシマス理由デアリマス、第三ハ落花生ノ移出狀況ハドウカト云フ御質問デアリマスガ、本縣産ノ落花生ノ一箇年ニ於ケル移出數量ハ約二十二萬八千二百袋内外デアリマシテ、之ガ仕向先ハ神奈川縣、東京、其ノ他東北地方ナドデアリマシテ、其ノ大部分ハ神奈川縣デアリマシテ、土鞘ノモノ即チ土ノモノガ移出數量ノ約一割ニ過ギナイノデ、其ノ他ノ大部分ハ洗ヒ、煎リト云フヤウナモノデアリマシテ、是等ガ現在ハ同業組合ノ検査ヲ受ケズシテ、所謂無検査品トシテ移出サレテ居ルノデアリマス、神奈川縣ニ於ケル取扱業者ニ於テハ自分ノ方ノ品物ト一緒ニシテ、神奈川縣ノ「レツテル」ヲ貼ツテ他府縣ニ出シテ居ルヤウナ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、今其ノ縣

外移出ノ數量ヲ見マスト土ノモノガ二萬八千三百十二袋、洗ヒノモノガ六萬二千七百九十六袋、煎ツタモノガ十一萬一千四百七袋、剝イタモノガ二萬五千七百四十袋ト云フヤウナ狀況ユナツテ居ルノデアリマス、第四ノ落花生検査ノ見込數量ハドノ位カト云フヤ質問デアリマスガ、生産者ト業者トノ間ニ於ケル落花生ノ取引ハ概ネ其ノ全部ガ土ノモノ、賣買デアリマシテ、更ニ業者ハ之ニ煎リトカ剝身トカ云フヤウナ加工ヲ致シマシテ縣外ニ移出スル慣例ユナツテ居ルノデアリマス、縣管検査ニ於キマシテハ土ノ生産検査ハ勿論、更ニ煎リ、洗ヒ、剝身ト云フヤウナ加工品ノ検査ヲモ行フノデアリマス、ソレ等ノ數量ヲ申上ゲマス、第一ノ土ノモノガ十五萬六千四百八十五袋、一袋ト云フノハ五十斤入りト假定シタノデアリマス、洗ヒノモノガ四萬五千九百十七袋、是モ同様一袋五十斤入りト見タノデアリマス、其ノ次ハ煎リノモノデアリマスガ、是ハ八萬三千九十三袋、是ハ一袋ヲ約四十八斤ト見タノデアリマス、剝身ガ一萬八千二百九十八袋、是ハ一袋ヲ百斤ト見タノデアリマス、是ガ第四ノ落花生検査ノ見込數量デアリマス、第五ノ検査ノ効果及ビ利益如何ト云フ御話デアリマスガ、是ハ縣管検査ノ必要ト云フトコロデ申シタ通りデアリマシテ、縣管検査ニ於キマシテハ生産検査ト相埃チマシテ移出検査ヲモ實施スルノデアリマスノデ、其ノ検査ノ効果ト致シマシテハ第一ニ規格ノ統一ニ依リマシテ取引ノ圓滑且ツ敏速ヲ期スルコト、第二ハ品質ノ向上ニ依リマシテ聲價ヲ向上セシメルト云フコト、第三ハ品種ノ統一竝ニ栽培改良ヲ圖ルコト、第四ハ移出検査ニ依リマシテ販路ノ擴張ヲ期スルコト、第五番ハ組合検査ニ比シマシテ検査ノ手数料ヲ輕減ス

ルト云フトデアリマス、尙ホ検査上ノ利益ト致シマシテハ本縣産ハ神奈川縣産ニ比シマシテ品質優良ノ故ヲ以チマシテ相當高ク賣レナケレバナラヌモノガ現在デハ大体ニ於テ百斤ニ對シテ一圓内外安クナツテ居ルノデアリマス、尤モ時期ニ依ツテハ高クナツテ居ル時モアリマスガ、安クナツタ時ト高クナツタ時ト平均シテ百斤ニ付テ一圓内外安クナツテ居ルノデアリマス、縣管検査ノ結果假ニ百斤ニ付テ七十錢位價格ヲ向上セシメルト云フト致シマシタナラバ、昭和八年本縣産千二百一萬二千八百二十斤ニ對シマシテ、八萬九千七百四十圓約九萬圓ノ利益ト云フトニナリマス、尤モ検査實施ニ伴ヒマシテ乾燥、調製、包裝ノ改良ト云フヤウナコトノ爲ニ生産者ノ勞費ヲ要スルト云フコトハ勿論アルノデアリマスガ、從來ト致シマシテモ同業組合ニテ検査ヲ執行シテ居リマス關係上斯ウ云フ負擔ト云フモノハ必ズレモ過重ナル負擔デハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、第六番目ニ縣管検査ノ方法ハドウカト云フヤウナ御質問デアリマスガ、此ノ方法ニ付キマシテハ細カイ規則ト云フヤウナモノハ何レ検査實施前ニ生産者ノ代表デアルトカ、同業組合ノ關係者デアルトカ、其ノ他ノ關係ノ方々ト御協議ヲシ御意見ヲ聞キマシテ細カイ規定ハ作ルノデアリマスガ、検査執行者ハ從來ノ穀物検査員ヲシテナサシメルニ過ギナイノデアリマス、或ハ更ニ特別ノ方法ヲ執ルカト云フヤウナ御質問デアツタヤウニ思ヒマスガ、是ハ從來ノ農産物検査員ヲモ或ル程度マデ使ヒマスガ、更ニ其ノ外ニ常置的ニ數名ノ落花生専門ノ常置員ヲ置キマス、其ノ外ニ現在ノ同業組合ト同様ニ臨時的ニ二十數名ノ者ヲ入レマシテ検査ヲ執行イタスノデアリマス、ソレカラ第七番目ニ

検査ニ要スル經費ハ幾ラカト云フヤウナ御質問デアリマスガ、検査ニ要スル經費ハ豫算ニモ大体計上シテアリマスガ合計七千八百圓ヲ以テ此ノ検査ヲ實施シテ行キタイト思ツテ居リマス、第八ニ同業組合ノ検査ノ狀況ハドウカト云フ御質問デアリマスガ、現在ノ同業組合ノ落花生ノ検査ハ事務所ヲ海上郡ノ旭町ニ置キマスノト、其ノ外検査事務所ヲ八街町ニ置キマシテ、又各郡ノ主要産地二十數箇所ニ出張所ヲ置キマシテ、概ネ季節的ニ検査員ヲ配置シテ組合區域内即チ縣下一般ニ亘リマシテ検査ヲ實施シテ居ルノデアリマス、前ニモ申シタ通り同業組合ガ行ナツテ居ル検査ノ中デ私共ガ物足りナク思フ點ハ、生産者カラ仲買人ニ買ハレテ行ク間ニ於ケル土ノモノノ検査ヲシテ居ルダケデアリマシテ、千葉縣ヨリ他府縣ニ送り出サレル場合ノ加工品ニ對シテ検査ヲ行ナツテ居ナイト云フコトガ私共非常ニ物足りナク思フ第一ノ點デアリマス、モウ一ツハ内容量即チ重量ヲ任意ニシテ居リマス、六十斤ノモノモアレバ、六十五斤ノモノモアレバ、七十斤ノモノモ入レルト云フ風ニ内容量ヲ統一シテ居ラナイ點ガ第二デアリマス、其ノ外検査ノ方法ニ付キマシテモ幾分物足りナイ點モアルノデアリマスガ、是等ノ事項ハ又他ノ機會ニ申上ゲルコトニ致シタイト思フノデアリマス、最モ遺憾ト思ヒマスノハ他府縣ノ市場ニ行ツテ、他府縣ノモノト競争ヲシナケレバナラナイ重要性ヲ持ツテ居ル加工品ニ付キマシテ検査ヲ行ナツテ居ナイ、又土ノモノニ對シテモ斤量ニ制限ガナイ、此ノ點ハ非常ニ物足りナク感ズル事項デアリマス、其ノ他詳シイコトハ御質問ニ應ジテ御答イタシタイト思ヒマス

○二十一番(長島義三君)

只今番外五番カラノ御答辯デ大体ハ了承イタシタノデアリマスガ、重ネテ御伺ヒイタシタイト思ヒマスコトハ御答辯ノ中ニモアリマシタ如ク、此ノ落花生ハ全國第一位ノ生産デ、而シテ縣内ニ於キマシテモ重要物産ノ一ツデアルト申サレテ居ルコトデアリマス、殊ニ落花生検査ヲ施行スルニ當リマシテ同業組合ガ幾十年トナク是等ノ検査ニ従事イタサレ而シテ品種ノ改良、販賣ノ統制、其ノ間ノ斡旋トカ、種々ナル業務ニ従事サレマシテ、此ノ千葉縣特異ノ産物タル落花生ノ發達ノ爲ニ相當貢獻サレテ居ルコトハ願著ナ事實デアアルノデアリマス、然ル所今回縣營トシテ此ノ検査ガ移管サレルコトニナリマスレバ、ソレ等ノ功積多大ナル組合ハ將來ドウ云フコトニ依ツテ此ノ組合ハ存續シテ行クノデアリマセウカ、或ハ又縣ト致シマシテ是等ノ組合ヲ不必要ト感ズルモノデアリマスカ、乃至ハ此ノ組合ニ對シマシテ、大ニ協力サレテ助成シテ行ク御考ヘデアリマスカ、組合ニ對スル縣當局ノ處置如何ト云フコトヲ聞キタイノデアリマス、第二ニ只今検査方法ヲ話サレタノデアリマスガ、只今ノ穀物検査員ヲシテ充テ、更ニ數人ノ常置員ヲ置キ、臨時的ノ者ヲ二十數名置カレルト云フ御話デアリマシタガ、是レ又組合ト同様ニ今日マデ長イ間此ノ検査ニ従事サレマシタ其ノ検査員ノ各位ガ、今後若シ他ノ人ヲ採用セラレルト云フコトデアリマスナラバ當然失職ノ立場ニ置カレルノデアリマス、此ノ検査員ニ對シテ縣ハドウ云フ考ヘヲ御持チデアリマセウカ一應御伺ヒシタイト思ヒマス

○番外四番(經濟部長坂井貞一君)

只今ノ御質問ニ對シマシテ私カラ御答イタシマスガ、

同業組合ノ今日マデ落花生々産ニ對スル色々ノ功績ニ付キマシテハ非常ニ縣モ考慮シテ居ルノデアリマシテ、將來トモ同様同業組合ノ存續ニ付テハ縣ハ大ニ期待シテ居ルノデアリマス、同業組合ハ勿論検査ガ其ノ主タル事務デアツタデアリマセウガ、検査ダケガ其ノ使命デハナカツタノデアリマシテ、同業組合ニハマダヨリ以上色々ヤラナケレバナラヌトコロノ使命ガアルダラウト思フノデアリマス、デアリマスカラ、検査ヲ縣營ニ移シマシタ後ト雖モ、同業組合ト云フモノノ存立ニ付キマシテハ縣ハ大ニ之ヲ希望スルノデアリマス、同業組合ヲ潰サウト云フヤウナ考ヘハ毛頭持ツテ居リマセヌ、將來トモ同業組合ニ於テ本縣落花生ノ生産ノ増殖デアルトカ、改良或ハ販路ノ擴張ト云フヤウナ方面ニ大ニ活動ヲシテ貰ハナケレバナラヌノデアリマス、デアリマスカラ縣ト致シマシテハ將來同業組合ガ色々事業ノ共同經營ノ施設ヲヤルトカ、或ハ縣ト共ニ品種ノ改良ニ手ヲ携ヘテ働ク、或ハ品質ノ改善ヲ圖ル、或ハ販路ノ擴張ヲ圖ルト云フヤウナ事業ヲ縣トシテモ同業組合ニシテ戴キタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマス、同業組合自身モ又ソレヲ是非ヤリタイト云フ御希望ガアルナラバ縣ハ喜ンデ之ニ對シテ補助々成ノ途ヲ講ジテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、次ニ現在ノ検査員ヲ若シ縣營検査ノ場合ニ一人モ採用シナカツタナラバ失職スルデハナイカト云フ御心配デアリマス、現在ノ検査員ハ検査ニモ非常ニ馴レテ居ルノデアリマスカラ、私ハ出來ルダケ多ク現在ノ検査員ヲ採用シタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマス、唯縣ニハ採用ニ當リマシテ色々標準ト云フモノガアリマスノデ此ノ標準ニ據ラナケレバナラヌノデアリマス、併シ斯ウ云フ際ノコトデアリ

マスカラ直チニ此ノ標準ヲ適用スルト云フコトモ色々事情ガアルダラウト思ヒマスカラ、此ノ際ニ於テハ出來ルダケ特別ニ事情ヲ斟酌イタシマシテ、今御話ニナリマシタヤウナ御希望ヲ出來ルダケ之ニ加味シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○二十一番(長島義三君) 承知シマシタ

○二十三番(横田清藏君) 二十一番君ノ質問ニ對スル當局ノ御答辯ニ依リマシテ私ノ伺ハウト思フコトモモウ大部分諒承イタシマシタガ、實際ニ於テ今日ノ御答辯ヲ承リマスマデハ、縣下ノ落花生ニ對シテ從來同業組合ガ執ツテ來タ功績ハ全ク認めラレテ居ラレナイカト私ハ實ニ遺憾ニ感じテ居ツタノデアリマスガ、只今ノ御答辯デ縣ノ意ノアル所ハ大体了承イタシマシテ満足ニ思フ次第デアリマス、生産物ノ縣營検査ト云フコトハ私ハ結構ナコトト思ツテ居リマスガ、尙ホ實際ニ當リマシテハ余程改善ヲシテ戴カナケレバナラヌコトモアルヤウニ思ヒマス、特ニ落花生ト云フモノハ相場ノ變動ガ激シイノデアリマシテ、價格ガ相當上ツテ居リマス時、若シ其ノ機會ヲ逸スルヤウナコトガアリマシタナラバ生産者竝ニ商人ハ多大ノ打撃ヲ蒙ルノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ從來同業組合ノヤツテ居ツタ検査ハ非常ニ機敏ニ出來テ居リマスノデ、縣營検査ニナリマスト他ノ諸種ノ検査ノ關係其ノ他ノ都合ニ依リマシテドウモ商機ヲ逸スルヤウナ場合ガアルヤウニ私ハ承知イタシマス、其ノ點ニ付キマシテハ生産者竝ニ同業者ノ意ノアルトコロヲ十分汲取ツテ戴キマシテソレ等ノ打撃ヲ蒙ラナイヤウニシテ戴キタイト思ヒマス、ソレ等ノ點ハ如何デアリマスカ

○番外四番(經濟部長坂井貞一君) 私カラ御答イタシマスガ御尤モデアリマス、其ノ點ハ大ニ我々モ注意ヲセネバナラヌト思フノデアリマスガ、唯商機ヲ逸シナイト云フ爲ニ早クヤラナケレバナラヌト云フコトダケヲ眼目ニ致シマスト兎角検査ガ粗雜ニ流レテ、唯検査ノ印ダケヲ付ケルト云フコトニ流レ勝チノコトハ、各縣デヤツテ居リマス色々ノ検査ノ實情カラ見マシテモサウ云フコトガ有リ得ルノデアリマス、我々ハ勿論敏速ニシテ商機ヲ逸シナイト云フコトガ第一ノ「モットー」デアリマスガ、敏速ナラムガ爲ニ兎角検査ガ粗雜ニ流レルト云フコトガアツテハナラス、サウ云フコトニナリマスレバ一面ニ於テハ商機ヲ逸シナイカモ知レマセヌガ、又半面ニ於テ信用上ノ問題モ起ルノデアリマスカラ、我々ハ商機ヲ逸シナイ、敏速ニヤツテ、今マデ民間デヤツテ居ツタ時ハ非常ニ早カツタガ、縣營ニ移ツタガ爲ニ非常ニ手數ガ掛ツテ煩雜ニナツテ遅レル、斯ウ云フ非難ハ受ケナイヤウニ十分注意イタシマス、又ソレト同時ニ検査ハ早クナクテモ確ツカリヤツテ置イテ、千葉縣ノ検査ノモノナラ不信用ナモノハナイ、斤量ニ於テモ誤魔化シハト云フヤウナ信用ヲ得タイト考ヘテ居リマスノデ、其ノ兩方面ニ付テハ二十三番議員ノ御注意モアリマスノデ、我々ハ十分其ノ方面ニハ努力スル考ヘデアリマス

○二十三番(横田清藏君) 大体了承イタシマシタ最後ニ希望ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、只今ノ御答ニ依ツテ了承イタシマシタガ、尙ホ検査ニ當リマシテハ正確ト云フコトハ固ヨリ必要ナコトデアリマスガ、何ヨリモ私ハ淳朴ナ生産者ニ對シテ検査員ハ深切ヲ

旨トシテ戴キタイト思ヒマス、是ガ一番大事ナコトデナイカト思フ、農村ノ人達ハ淳朴デアリマスカラ、官僚式ナ態度ニナリマスト一切ガ壞レテシマウ、或ル意味ニ於テ縣營検査ヲ生産者ガ嫌ガルノモソコニ原因ガアルノデハナカツタカト思フノデアリマス、又現在ノ農産物検査員ハ餘程其ノ質ハ向上シテ居ルト思ヒマスガ、検査員ノ質ニ對比シテ其ノ待遇ガ誠ニ遺憾ニ存ゼラレルノデアリマス、私ハ舊イ歴史ハ知リマセヌガ、最初検査員制度ガ立テラレタ時分ニハ單ニ米ニ付テノミ其ノ検査ガ施行サレタヤウニ思ツテ居リマスガ、其ノ時代ト今日トヲ考ヘマスト、大小麥アリ、甘藷アリ、更ニ今回落花生ガ生産検査ヲ受ケルヤウニナリマシタ、検査員ノ努力ト云フモノハ從來ノ數倍ニ上ツテ居ルト思ヒマス、殊ニ私ハ甘藷ノ検査ヲ受ケル立場ニアル者デアリマスガ、甘藷ノ検査ノ如キハアノ夏ノ炎天ニ午後三時頃カラ夜ノ八、九時、時ニ依ルト十時十一時頃マデモ汗ミドロニナツテ之ニ從事シテ居ルノデアリマス、ソレニ對シテ專屬ノ検査員ノ待遇モ低イノデアリマスガ、臨時ノ検査員ナドハ一日僅カニ七、八十錢位、斯ウ云フ状態デアリマスノデ、検査員諸君ハ今マデ眞面目ニ努力サレテ居ルコトハ私十分承知イタシテ居リマスガ、動モスレバ報酬ノ少イトコロカラ往々ニシテ生産者ノ非難ヲ招クヤウナ嫌ヒガナイデモナイ、是ハ全ク検査員ノ素質ニモ依リマスガ、立派ナ検査員ヲ採用スルナラバ待遇ハ人間並ニシテ戴カナイト、如何ニ理想ヲ申シマシテモ事實ハ左様ニ行クマイト思ヒマス、是等ノ點ニ付キマシテドンナ御考ヘデアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○番外四番(經濟部長坂井貞一君) 私ヨリ御答イタシマスガ第一ノ深切ノ點デアリマスガ、是ハ我々官公吏トシテ大ニ考ヘナケレバナラヌ點ダラウト考ヘマス、トコロガ検査ニ付キマシテハ私ハ斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、兎角縣管検査ト申シマスト一般人ハ力デ押ヘ付ケテ検査スル觀念ヲ抱キ易イノデアリマス、此ノ點ハ此ノ縣管検査ニ付テ甚ダ遺憾ナノデアリマシテ、勿論検査デアリマスカラ、斤量ハドウデアルカ、品質ハ揃ツテ居ルカドウカト云フコトヲ調ベルノガ勿論検査デアリマスガ、此ノ縣管検査ニハモウ一ツ大キナ使命ガアルノデアリマス、ソレハ事前ノ指導デ、斯ウ云フ品物ヲ作ルト好イ値デ賣レルゾ、斯ウ云フ立派ナ品物ヲ作ルニハ斯ウ云フ肥料ヲヤツタラ宜イ、サウ云フ事前ノ指導ト云フコトガ縣管検査ヲヤリマス大キナ目的ダト考ヘテ居リマス、又ソレヲヤツテ初メテ此ノ縣管検査ト云フモノノ効果ガ現レルノデアリマス、勿論検査員デアルト云フ立場ヲ忘レテハイケマセヌガ、検査ヲスルト云フコトト、モウ一ツハ事前ニ、作ル前ニ手ヲ執ツテ深切ニ斯ウ云フ作り方ヲセヨ、斯ウ云フ品物ガ今世間デ非常ニ重要視サレテ居ル、斯ウ云フ物ヲ作ルト高ク賣レルゾ、サウ云フコトヲヤラセタイト私ハ考ヘテ居ル、深切ト云フコトヲ「モットー」トシテ此ノ事務ニ携ハラナケレバナラヌト云フコトハ二十三番議員ノ御説ノ通りデアリマス、將來此ノ検査ヲ實施スルニ當リマシテハ特ニ検査員ニ御趣旨ノアルトコロヲ傳ヘ萬遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居リマス、次ハ検査員ノ待遇ノ改善デアリマス、是モ非常ニ御同情アル御説デアリマシテ、此ノ點ハ十分各府縣ノ待遇ノコトモ參酌イタシマシテ將來出來ルダケ好イ待遇ヲ與ヘテ立派ニ檢

査員ヲ養成シテ、サウシテ千葉縣ノ検査ヲ受ケタモノハ世間デ高ク取引サレルト云フ域ニ進ンデ行キタイト考ヘテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○二十三番(横田清藏君) 大体諒承イタシマシタ、今日ノ私共ノ質問ニ對シテハ十分効果アラシムルヤウ御骨折ヲ願ツテ質問ヲ打切りマス

○三十番(飯田鐵之助君)……(「登壇々々」ト呼ブ者アリ) 簡單デスカラ……私音聲ヲ痛メテ居リマスカラ極メテ簡單ニ質問イタシマス、大体私ノ承ラムトスルところハ同僚兩君ニ依ツテ質問サレマシタノデ、私ハ漏レテ居ル點ダケヲ質問シタイト思ヒマス、此ノ落花生問題ニ付キマシテハ縣ハ縣管検査ヲシタ方ガ生産者ノ利益デアアル、又同業組合ハ我々が長年ヤツテ來タノデ我々デヤツテ行ク方ガ生産者ノ利益デアアルト云ツテ居ル、サウシテ見ルト結論ハ如何ニスレバ生産者ガ利益ヲ得ルカト云フコトニ歸着スルノデアリマス、即チ到着點ハ同ジデアアル、シテ見レバ是ハ實際問題ニ徴シテ又我々ハ質問應答ニ依ツテ反對ノ理由ヲ明カニシテ、所謂慎重審議ヲ重ネマシテ、成程縣會デハ能ク其ノ手ヲ盡シテ決議サレタモノダト云フコトヲ當業者モ納得シ生産者モ得心ノ行クヤウニシタイト云フノガ私ノ質問ノ目的デアリマス、依ツテ先ヅ私ハ、同僚ガ或ル程度マデ質問イタシマシタガ、縣管検査ニ依リマス種々ノ手數ヲ經ルガ故ニ其ノ検査ニ滯滞ヲ來シテ商機ヲ逸スルノ虞ナキヤ、是ガ反對ノ最モノ要點ニナツテ居ルヤウデアリマス、然ルニ縣當局ハソレハ心配アリマセヌト云フ答辯ヲシテ居ルガ、然ラバ此ノ豫算ニ於テ、検査員ハ何人使ツテサウシテ商機ヲ逸スルヤウナコトノナイヤウニ検査ヲスルト云フノデアアル

カト云フコトヲ一ツ聞キタイノデアリマス、ソレカラ縣營検査ハ目方ヲ餘分ニ入レサセル、縣營検査ハ百斤ノトコロニ二百斤ナリ三百斤ナリ餘計ニ目方ヲ入レサセラレル、ソレデナケレバ検査ガ通ラナイト云フコトモ反對者ガ唱ヘテ居ルノデアリマス、是ハ私ハ其ノ選別サヘ好ケレバ餘分ニ入レサセル必要ハナイカト思ツテ居リマスガ、是ハ寧ロ杞憂ニ過ギナイカト思ツテ居リマスガ、サテ此ノ點ハ縣ノ検査方針トシマスレバ餘分ニ入レサセナケレバ検査ハ出来ナイト云フノデアリマスカ、サウ云フ意思デハナイカト云フコトヲハツキリ御尋ネシタイノデアリマス、ソレカラ入レル袋デアリマス、是ハ先刻番外五番ノ答辯ニ依ルト規格ヲ統一スル爲ニ一袋五十斤トスルト云フ御答デアリマシタ、成程規格ヲ統一スルニハ五十斤ナリ六十斤ナリ、一定ノモノニスルト云フコトハ結構ナコトデアリマス、併ナガラ從來ハ一袋六十六斤マデ入レルコトモ出来ル、六十六斤マデ入レルコトガ出来ル物ニ五十斤ニ止メルト云フト、一袋デ十六斤ダケ宛入レ物ニ於テ損ヲスル譯ニナリマス、ソレカラ尙ホ運賃ハ一箇ニ付テ幾ラト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、五十斤モ六十六斤モ同ジ値段デ運搬サレルコトニナリマスカラ、此ノ點ニ於テモ損失ガアルヤウニ思ハレルノデアリマスガ、是ハサウ云フ損失ノナイ方法ガアルナラバ伺ヒタイ、サウスレバ此ノ點ガハツキリシテ此ノ點ニ付テノ反對ハシナクテモ宜イト云フコトニナリマス、ソレカラ從來色々ナ物ヲ縣營検査ニシテ來タガ、矢張り検査ヲ實行スル時ニハ種々ナ反對モアリマシタガ、サテ愈々ヤツテ見ルト成績ノ擧ツテ居ル物モ大分アル、然ルニ落花生ハ是マデ同業組合デ検査シテ來タ物ヲ縣營検査ニシナケレ

バ何カ落伍者ニデモナルト云フヤウナ虞デモアルノカドウカ、實際ハドウ云フモノデア
ルカ、ソレカラ今一ツハ検査料ノコトデアリマス、検査料ハ縣營検査ト同業組合ノ検査
トドレ位ノ相違ガアリマスカ、此ノ點ヲ御尋シタイノデアリマス

○番外五番(事務官岡尊信君) 三十番議員ノ御質問ニ御答イタシマス、第一ハ縣營検査ニ
移スト種々手數ガ掛ツテ検査ガ遅延シ爲ニ商機ヲ逸スル憂ナキヤ、斯ウ云フ御質問デア
リマスガ、是ハ先程二十三番ノ御質問ニ對シテ番外四番ヨリ御答辯ガアリマシタト同
一問題ノヤウニ思ヒマスカラソレニ依ツテ御了承ヲ御願ヒシタイト思ヒマスガ、先ツサ
ウ云フコトノナイヤウニシタイト思ツテ居リマス、第二ハ縣營検査實施ニ當ツテ検査員
ヲ何人入レルカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、是モ先程大体答辯イタシタト思ヒマス
ガ、五百餘農産物検査員ノ手ヲ使フ外ニ專任ト致シマシテ常置的ノ者五名、其ノ外ニ季
節的ノ者ヲ二十數名置ク積リデアリマス、是ハ豫算編成當時ノ基礎ニナツテ居ル數デア
リマスガ、第三番目ハ規格ヲ統一シテ、假ニ五十斤トスルナラバ現在六十六斤入りノ袋
ニ五十斤ダケ入レルト云フコトニナレバ、其ノ差十六斤減ル爲ニ袋ノ價格ニ於テ損失ガ
アルノデハナイカ、尙ホ運賃ハ一箇幾ラト云フノデアルカラ五十斤モ六十斤モ同ジデア
ルノニ、五十斤ニシテシマツタナラバ運賃ニ於テ損ヲシナイカ、斯ウ云フ御質問デアリ
マスガ、是ハ私共ノ方デ五十斤ト云フコトヲ現在ニ於テ規則ニ決メタノデアリマセ
ス、ケレドモ現在中央ノ市場ニ於テ取引サレテ居ル狀況ヲ見ルト他府縣ガ大体ニ於テ五
十斤デアリマス、五十斤ニ規格ヲ統一シナケレバ工合ガ悪イノデアリマシテ是ハ是非統

一シタイト思ヒマス、併ナガラ此ノ點先進縣アル神奈川縣ノ検査ノ狀況ヨリ察シマス
 ルト、成程御説ノヤウニ六十六斤入りニ五十斤入レタノデハ袋ガ餘ツテ損デハナイカト
 云フヤウナ意見モ最初アツタサウデアリマスガ、併シ袋ハ必ズシモ六十六斤入りノ袋ノ
 ミシカナイ譯デハナク、五十斤入りノ袋ガナイト云フ譯デハナイノデ、小サイ袋ヲ買ヘ
 バ大キナノヨリ少シ安イト云フヤウナ事情ニアルノデ、此ノ點ハ少シモ心配ナイト云フ
 コトヲ先進縣アル神奈川縣ヨリ最近調査ヲシテ參ツタノデアリマス、次ニ運賃デアリ
 マスガ、現在千葉縣ハ大体ニ於テ六十斤内外ト云フノデアリマスカラ、運送契約上ニ於
 テ一々秤貫スルノハ手數デアルト云フ關係上一箇幾ラト云フコトニナツテ居ルノデアリ
 マスガ、若シ是ガ五十斤ト決リ百斤ト決ツタナラバ、五十斤モ六十斤ノモノモ同ジ運賃
 ト云フコトハ是ハ運送契約上ニ於テアルベカラザルコトデ、六十六斤ノモノガ五十斤ニ
 ナツテ、而モ容積ガ小サクナツタナラバ、從來十五錢デアツタモノハ十三錢デ行クト云
 フヤウニ下ルベキモノデ、是ハ運送契約上ノ關係デ御心配ハナカラウト思ヒマス、第四
 ニ落花生ヲ縣管検査ニシナケレバドウ云フ不都合ガ生ズルカト云フヤウナ御質問デアリ
 マシタガ、是モ先般二十一番議員ノ御質問ニ對シテ大体ハ御答辯申シタ積リデ居ルノデ
 アリマスガ、現在ノ狀況ヨリ考ヘテ見テ縣管検査ニ移シ規格ヲ統一シ品種ヲ向上セシメ
 ルト云フコトガ現在必要デアルノミナラズ、現在同業組合デ長イ間努力サレテ今日マデ
 及ンデ居リマスガ、一番大切ナ加工品ノ移出品ニ付テ検査ヲシテ居ラス、唯其ノ一割デ
 アル土ノモノニ付テノミ検査ヲシテ居ルト云フコトハ、私共トシテハ土ノ検査モ必要デ

アルガ、加工品ノ検査モヨリ以上必要デアルト云フヤウナ點カラ之ヲ行ヒタイノデアリ
 マシテ、以上申上ゲマシタ點ニ依リマシテ縣管検査ノ必要ナルコトヲ御諒承願ヒタイト
 思ヒマス、第五番目ニハ検査料ハ縣管ト同業組合トノ關係ハドウデアアルカト云フ御話デ
 アリマスガ、縣ニ於キマシテ規則ヲ作ツタ後デナケレバ是モハツキリ申上ゲラレナイノ
 デアリマスガ、大体私共ノ腹案ト致シマシテハ、土ノモノガ二錢、洗ヒノモノ及ビ煎リ
 ノモノガ三錢、是ハ五十斤ニ付テバアリマス、ソレカラ剥身ノモノガ百斤ニ付テ五錢、
 スウ云フ積リデ居リマス、現在同業組合ニ於テハ土ノモノダケデアリマスガ、土ノモノ
 ニ對シテ證票料検査料ヲ合セテ七錢取ツテ居リマス、サウ云フ譯ニナツテ居リマス
 ○三十番(飯田鐵之助君) 只今ノ答辯ニ依リマシテ大体諒承イタシマシタガ、最初ノ私ノ
 質問ノ要旨ヲ一寸間違ヘテ居ルヤウデアリマス、商機ヲ逸スルト云フ虞ハ、手ガ足リナ
 イカラ急イデ出來ナイデヤナイカト云フ意味デ、故ニ何人検査員ヲ使ツテヤルカ、ソレ
 ニ依ツテ商機ヲ逸シナイト云フコトモ出來ルト云フノデ、是ハ一括シタ質問デアツタノ
 ヲ別々ニ答辯イタサレマシタカラ、ソレデモ大体分リマシタ、大体縣ノ意ノアルトコロ
 ハ分リマシタ、就テハ同業組合ガ今日マデ相當努力ヲシテ來タト云フコトヲ聞イテ居リ
 マスガ、縣ハ若シ此ノ検査ヲ愈々行フ場合ニハ同業組合ニ對シテ相當同情アル措置ヲ執
 リ、検査員ナドニ對シテモ同様ノ意思アルモノト考ヘテ居リマス、是ハ意思アルト云フ
 ナラバ答辯ヲ要シナイノデアリマス、之デ打切りマス
 ○十八番(古川長太郎君) 時間ヲ延長シタイト思ヒマス、動議ヲ提出イタシマス

〔賛成〕ト呼ブ者アリ

○議長(吉野力太郎君) 時間ヲ延長イタシマス、十九番

十九番柳澤清春君登壇
拍手起ル

○十九番(柳澤清春君) 本縣ノ産業進展上最モ重要性ヲ帯ビテ居リマス勸業費ニ付キマシテ御伺ヒイタシタイト存ジマス、豫算面ヲ見マスト九十四萬六千二百二十四圓デ相當額ノ豫算デアリマスガ、内容ヲ検討イタシマスト大シテ豫算ハ大キクナイヤウニ思フノデアリマス、此ノ中ニハ農産物ノ検査手数料或ハ水産物ノ検査手数料ガ這入ツテ居リマスノデ、差引イタシマスト先進縣デアアル静岡縣アタリト比較スルト勸業費ニ於キマシテハ非常ニ少イト思フノデアリマス、本縣ハ地ノ利ヲ得テ居リマシテ、産業ヲ進展イタシマス上ニ於テハ非常ニ有利ナ點ヲ幾ツモ具備イタシテ居リマス、曩ニ本縣ノ産業ヲ振興セシメルトコロノ計畫、五箇年計畫ト云フモノヲ立テテ居リマスノデ、此ノ計畫ニ基イテ豫算ヲ十分計上イタシマシテ産業進展上ニ盡シマシタナラバ、恐ラク遠ク離レタ静岡ナドノ如キハ十分壓倒スルコトガ出來ル素質ヲ持ツテ居ルノデハナカラウカト思フノデアリマス、此處ニ三十項ニ亘リ曰ク農事試驗場費、蠶業試驗場費、或ハ販賣購買統制ノ費用、或ハ水産試驗場費、或ハ農家組合指導費等トアリマスガ、私農村ノ一人トシマシテ誠ニ貧弱ニ思フノデアリマス、第一ニ御伺ヒイタシタイトハ農事試驗場デアリマスガ、昨日モ參リマシテ拜見スルト、私共ガ三年前ニ行ツテ見マシタ姿トハ大分其ノ面目ヲ新

タニシマシテ、相當ノ計畫ヲ以テ産業振興ニ當ツテ居ルヤウナ風ニ見ヘマスガ、事實農村ニ於キマシテ農事試驗場ヲ唯一ノ頼ミトシテ、先ヅ本縣ノ農事改良ヲナサムト欲スレバ、品種ノ改良ヲスルコトガ先決問題デアリマス、優良品種ノ獎勵ニ當リマシテ種々經濟部カラハ御手紙ヲ頂戴イタシテ居リマシテ、之ニ依ツテ私共ハ出來得ルダケ農業ノ振興所謂優良品種ノ普及發達ヲ圖ルヤウニ努メマシテモ、種子ヲ頂戴イタシタイト申シマスト先ヅ申込ノ二割ガ頂戴出來レバ關ノ山デアリマス、斯ウ云フヤウナ事情ニ於テ優良品種ノ統一ヲ圖リ生産増加ヲ見ルト云フコトハ私ハ不可能ダト思フノデアリマス、本年ノ豫算ヲ見ルト前年度ニ比シテ八千八百五十一圓ノ増額デアリマスガ、此ノ農事試驗場ハ本縣ノ農事改良進歩發達上ニ一大貢獻ヲナス場所デアリマス、ドウゾ此ノ方面ニハ相當ノ豫算ヲ計上イタシマシテ、假ニ五箇年計畫ヲ以テ優良品種ノ普及發達ヲ圖ラムト欲スル當局ノ御意思デアレバ、之ヲ三年或ハ二年ニ縮メマスレバ、本縣ノ農村ノ向上ハソレダケ早ク又利益モ増進スルコトニナルノデアリマシテ、所謂經濟更生ノ本旨ニモ副フ譯デアリマスカラ左様ニ願ヒタイト思ヒマスガ、甚ダ此ノ點ニ於テ遺憾ノ意ヲ表スル次第デアリマス、次ニ伺ヒタイトハ農産物ノ検査費デアリマス、之ニ付キマシテハ或ハ本款ニ於テ伺フノハ筋違ヒカモ知レマセヌガ、農産物ノ検査手数料ハ相當ノ額ヲ以テ縣收入ニナツテ居リマス、農村ハ此ノ検査ヲ受ケル爲ニハ非常ナ努力ヲ拂フノデアリマス、勿論他力本願主義デナク自力更生ヲ以テ進ムト云フコトハ農村民ノ思ヒヲ致サナケレバナラストコロデアリマシテ、相當ノ検査費ヲ納メナケレバナラヌノデアリマス、ソコデ

私ハ検査手数料ハ無手数料ニシテモ差支ナイデハナイカ、其ノ理由ハ農業倉庫ヲ設置シタル所ニ於テハ手数料ナシテ検査ヲ致シテ居リマス、小作人階級ノ者ハ假令一俵ニ付キ六錢ノ手数料ヲ拂フノデモ、其ノ賣買ニ付テハ一錢ノ相場ニモ思ヒテ致スノデアリマスカラ、六錢ノ手数料ヲ拂フト云フコトハ小作人階級ニ於テハ非常ニ苦痛デアリマス、ソレガ農業倉庫ヲ設置シテアル所デハ無料デアリマス、之ヲ農産物ノ検査手数料或ハ水産物ノ検査手数料ト云ハズ、手数料ヲ減額スル意思ガ當局ニアルヤ否ヤ承リタイト存ズルノデアリマス、次ニ販賣購買ノ統制ニ付テ是ハ一般質問ノ中ニ於テモ同僚カラ質問ガアツタヤウデアリマスガ、生産ト云フコトニ於テハ町村農會指導員、或ハ郡農會、縣農會、縣農事試驗場、或ハ農産課、農政課等ノ力ニ依リマシテ相當力ヲ致シテ居リマスノデ、漸次優良品種等モ普及サレテ居リマスガ、販賣ニ付テハ極メテ下手ナノデアリマス、此ノ販賣ト云フコトニ付テハ、商機ト云フヤウナコトニ付テモ色々御説ガアリマシタガ非常ニムツカシイノデアリマシテ、東京市場ノ物價ノ高低、又其ノ時ノ事情ニ精通シテ居ラヌケレバナラヌノデアリマスガ、農村ノ者ハ之ニ付テハ殆ド知識ガナイト云ツテモ宜イノデアリマス、之ニ付テ縣ハ思ヒテ致シテ一萬四千三百七圓ノ豫算ヲ計上シテ居リマスガ、本縣農産物ノ莫大ナ品物ノ販賣ヲスル上ニ於テ、之レ位ノ統制費ヲ以テ指導スルコトハ不可能ナリト斷言シテ憚ラヌノデアリマス、三百六十五日ノ中物價ノ高低、頻々トシテ來ルトコロノ電話、「ニュース」其ノ他ノ問題ニ於キマシテ、通信機關ハアルヤウナモノ、三百三十餘町村ニ亘ツテノ農産物ノ販賣統制ニ當ツテハ私ハ非常ニ

不足デアルト思ヒマス、然ルニ此ノ豫算ニハ販賣ノミナラズ購買ノ統制費モ含ンデ居ルノデアリマス、即チ肥料ノ購入ト云フヤウナコトニナリマス、尙更此ノ豫算ニ依ツテ統制ヲスルト云フコトハ至難デアラウト思ヒマスカラ、此ノ點ニ於テ縣ハ最モ良イ方法、例ヘバ先般縣ハ販購聯ヲ通ジ兩國ニ斡旋所ヲ置キ農村トノ連絡ヲ密ニシテ此ノ統制ヲ圖リ、遠ク滿洲ニ或ハ北海道ニ其ノ統制連絡ヲ求メテ有利ニ販賣ノ統制方法ヲ講ジテ居リマスガ、是等ガ此ノ豫算位デ行クトハ私ハ思ヒマセヌ、從ツテ是等ニ對シテ實際問題トシテ農村ニ參リマスレバ、何トカ農村デ是等ノ費用モ負擔センケレバナラヌト云フヤウナ情勢ニアルコトヲ聞及ンデ居リマス、縣ハ此ノ販賣購買統制ニ對シテ如何ナル御方針ヲ以テ本縣ノ重要農産物ニ對シテ居リマスカ、承リタイト存ジマス、次ニ農家組合ノ指導費ガ四千百圓計上サレテ居リマス、是モ隨分貧弱デヤナカラウカト思ヒマス、是モ縣當局ニバカリ御絶リスルコトハ無論イカヌノデアリマスガ、獎勵シ擴充セシメテ行クト云フコトニ於テハ矢張り總テノ豫算ニ現ハレテ居ルヤウニ、一ツノ事業ヲナサント欲スレバ縣ガ之ヲ指導シ、學者ナリ技術者ナリガ十分研究シテ之ヲ指導啓發スルニハ當然豫算ガ伴フベキデアリマスノデ、此ノ點ニ於キマシテ頗ル少額ヲ遺憾トスルノデアリマス、數百ノ農家組合ノ設置、而シテ此ノ農家組合ハ非常ナ好評ヲ博シテ居ルヤウニ私ハ聞イテ居リマスノデ、各郡トモエライ勢ヒヲ以テ農家組合ノ設置ヲ致シツツアルヤウニ聞及ンデ居リマスノデ、果シテ此ノ程度ノ金デ此ノ獎勵ガ出來ルカドウカヲ承リタイト存ジマス、尙ホ農業指導員ヲ十箇年計畫ヲ以テオヤリニナルト云フ御話デアリマス

ガ、ソレハ一時金ハ出マス、約二十萬圓カラノ金ヲ要スルノデアリマスガ、此ノ二十萬圓ハ一、二年デ取返シガ付クト私共ハ思フノデアリマス、農村ニハ町村農會等農事振興機關ガアツテ表面盛ンニヤツテ居ルヤウニハ見ヘテ居リマス、併シ三百三十有餘箇町村中、眞ニ理想的ニ農村建設ニ向ツテ農事獎勵ヲシテ居ル町村ハ或ハ指折り數ヘル程デハナカラウカト思フノデアリマス、是ハ實際問題デアリマス、農會長ハ技術員ニ任セル、書記ガ居レバ書記ニ任セル、書記ハ書記トシテノ事務ガアル、技術員ハ農事試驗場ニ於テ相當養成サレ十分ニ農村ヲ理解シ農業ノ指導啓發ニ當リマスノデ、之ヲ全縣下ニ設置シタ場合ハ非常ナ利益ヲ擧ゲルト私ハ思ヒマス、只今マデ申上ゲタトコロノ品種ノ改良増殖、之ニ對シテ技術員ハ勇往邁進スル、而シテ之ヲ縣職員ニスルト云フコトデアリマスガ、生活ガ安定シテ本當ニ一時ノ腰掛ケデハナク働クヤウニナル、只今マデノ農會技術員ハ本當ニ一時的腰掛ケデアル、資格ヲ持ツテ居ルカラ青年學校ノ教員ニデモナリタイト思ツテ居ル、デ若シサウシテナレバ退職ノ場合ハ恩給ニ浴シテ生活ノ安定ヲ得、安ンジテ職務ニ從事シ又一面相當ノ信望モ出來ルト云フコトニナルノデ非常ニ結構ナ次第デアリマスガ、九千圓デ十箇年計畫ト云フコトデアリマスガ、私ハ年度ヲ縮メテ五箇年計畫位ニシテ、所謂損シテ得取レト云フ譬ガアリマスノデ、一箇年デヤラウトスレバ十萬圓デアリマスガ、併シ勿論一度ニヤレナイト云フ理由モ縷々長官ヨリ承ツタノデアリマスガ、サウ云フ利益ガアルト云フコトヲ申上ゲテ更ニ御伺ヒイタシタイト思ヒマス、要スルニ年度ヲ繰上ゲテ五箇年計畫位ヲ以チマシテ千葉縣全体ノ農會指導技術員ヲ設置

スル意思アリヤ否ヤト云フコトデアリマス、最後ニ承リタイノハ商工業振興費デアリマス、私共農民トシテ商工業ノコトヲ申上ゲマスト人ノ領分ヲ侵スヤウニナリマスガ、農村ノ振興ニ依リ農村ノ購買力ヲ増スト云フコトニ依ツテ商工業者モ發達シテ行クノデアリマス、最近ハ商工業者ヨリ産業組合反對ノ反産運動ノ聲ヲ聞イテ居リマスガ、一應御尤モノヤウニモ存ジマスガ、然ラバ農民ガ本當ニ自力更生ガ出來テ購買力ガ充實シテ來レバ、商工業ノ進展モ可能トナルノデアリマス、玆ニ商工業振興費トシテ三千圓ガ計上サレテ居リマスガ、是ハドウ云フ方針ニ依ツテ此ノ商工業振興ノ方策ヲ講ズルノデアルカヲ承リタイノデアリマス、勸業費ニ付キマシテハ尙ホ相當意見モアリマスガ、御答辯ヲ承ツタ後ニ御伺ヒイタシタイト存ジマス、以上數項ニ付キマシテ御答辯ヲ煩ハス次第デアリマス (拍手、降壇)

○議長(吉野力太郎君) 答辯ヲ留保シテ暫時休憩イタシマス

午後三時十八分休憩

午後三時四十二分開會

出席議員三十六名左ノ如シ

- | | | | |
|-----|-------|-----|--------|
| 一 番 | 諏訪寛治君 | 二 番 | 石井與作君 |
| 三 番 | 伊藤博愛君 | 四 番 | 成島勇君 |
| 五 番 | 新藤退藏君 | 七 番 | 大枝十兵衛君 |
| 八 番 | 川俣義郎君 | 九 番 | 浮谷竹次郎君 |

十番	高野 伴藏君	十一番	川口 爲之助君
十三番	島田 彌久君	十四番	石 橋 保君
十五番	木倉 和一郎君	十六番	石川 善之助君
十七番	鋤柄 良司君	十八番	古川 長太郎君
十九番	柳澤 清春君	二十番	平山 成之助君
二十一番	長島 義三君	二十二番	飯田 惣兵衛君
二十三番	横田 清藏君	二十六番	澁 谷 司君
二十七番	梨本 太兵衛君	二十八番	小柴 金一郎君
三十番	飯田 鉄之助君	三十一番	花澤 壽太郎君
三十二番	田中 恭三君	三十三番	鈴 木 亮君
三十四番	茂木 林藏君	三十五番	一瀬 房之助君
三十六番	青木 泰助君	三十七番	染 谷 正治君
三十八番	高瀧 政吉君	三十九番	星野 懿吉君
四十番	渡邊 政治君	四十二番	吉野 力太郎君
欠席議員六名左ノ如シ			
六番	木村 康哉君	十二番	木島 義夫君
二十四番	押元 才司君	二十五番	吉 堀 正雄君
二十九番	小谷 三之助君	四十一番	石 上 新藤君

○議長(吉野力太郎君) 開會イタシマス、番外五番

○番外五番(事務官岡尊信君) 十九番議員ニ御答イタシマス、第一ハ農事試験場ニ於テ優良品種ノ改良ヲ圖リ、之ガ種子ノ配布ヲシテ居ルノデアアルガ、如何ニモ要求ニ對シテ少ク、大体ニ於テ二割位シカナイヤウデアアルガ、之ヲ大ニ擴張シテ三年掛カルモノナラバ一年ナリ二年ナリデヤツテ行クト云フ方法ハナイカ、斯ウ云フ御質問ノヤウデアアツタノデアリマス、此ノ點御尤モナ御意見デアリマシテ、私共ト致シマシテモ出來ルダケ御趣旨ニ副フヤウニシタイト考ヘテ居ルノデアリマス、本年ノ農事試験場豫算増額ハ八千八百五十一圓ノ大部分六千三百四十五圓ハ委託採種圃ノ増額デアリマシテ、前年ニ比較シテ大体ニ於テ約七割位ヲ増ス豫算ニナツテ居ルノデアリマシテ、十九番議員ノ御希望ニ直チニ副フ譯ニハ行カナイカモ知レマセヌガ、成ルベクソレニ副フヤウニ努力シタイト考ヘテ居リマス、第二番目ニ農産物ノ検査費ニ於キマシテハ、其ノ大部分ガ手数料收入デアアルヤウデアアルガ、今日ノ農村ノ現況カラ考ヘテ見テ手数料ヲ減額スル意思ハナイカ、尙ホ農業倉庫ノ手数料免除ト對比シテ權衡上カラ考ヘテモ何トカスル方法ハナイカト云フヤウナ御質問デアアツタノデアリマスガ、是モ今日ノ農村ノ現況カラ考ヘタナラバ是非何トカシナケレバナラヌモノト存ジテ居リマスガ、御承知ノ通り農産物検査ノ事業ハ歳出ニ於テ二十六萬二千六十六圓ニ對シテ二十一萬七千三百三十四圓ノ手数料收入ニナツテ居リマス、其ノ差約五萬圓ト云フモノハ一般縣財政ヨリ補給ヲ仰イデ居ルト云フヤウナ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、現在ノ縣ノ財政状態カラ考ヘテ見テモ、更ニ是

レ以上手助けヲシテ貰フト云フコトハ隨分困難ナヤウナ事情ニナツテ居ルノデアリマスガ、主義ト致シマシテハ十九番議員ニ全然私モ同感デアリマシテ、時アル毎ニソレノ當局ニ向ツテ御願ヒシテ居ルヤウナ事情デアリマス、尙ホ農業倉庫ノ手数料ト一般トノ對比ト致シテ權衡上云々ノ問題モアリマシタガ、是モ御尤モナ御意見デアリマシテ私共ト致シマシテハ此ノ點十分將來考慮ニ置キマシテ適當ノ方法ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス、次ニ農家組合ノ指導費四千百圓ハ如何ニモ少イデハナイカト云フ御意見、甚ダ御同情アル御意見デアリマスガ、現在農家組合三千ニ對シテソレノ指導啓發ヲシテ居ルノデアリマシテ、本年度ニ於テハ此ノ豫算ニ於テ前年以上ニ能率ヲ上ゲテ指導啓發ヲ十分ニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ農業指導員新設ニ對スル豫算本年度支出額ハ九千圓デアツテ、十箇年後ニ於テ完成スルヤウニナツテ居ルガ餘リニ長イデハナイカ、將來ニ於テ出スモノデアレバ現在ニ於テ出シテ早ク充實セシメタラドウカ、斯ウ云フ御質問デアリマスガ、是ハ當初ノ長官ノ御説明ニモアリマシタシ、尙ホ御質問ニ對スル經濟部長ヨリノ答辯モアリマシタノデ大体御諒承ノコトト思ヒマスガ、是ガ單ニ毎年三十人宛置イテ行クト云フコトダケトシタナラバ甚ダ氣ノ長イ話デ効果ガ直チニ擧ラナイト存ズルノデアリマスガ、實際ノ方法ト致シマシテハ現在既ニ二百二十余名ノ町村技術員ト云フ既設ノモノガアルノデアリマス、是ハ勿論待遇等ニ於テハ違フノデアリマスガ、二分ノ一補助若クハ八分ノ一補助ト云フヤウナ方法ニ依ツテ現在二百二十餘名ハアルノデアリマス、此ノ者ハ其ノ儘ニシテ置キタイ、ソレニ加フルコトノ毎年三十人宛デ

アリマスカラ、結局五年トチヨツト位デ全縣下ニ充實スルノデアリマス、全縣下ニ充實シテ第六年目第七年目以後ニ於テハ從來ノ二百二十余人ヲ減シテ、毎年三十人宛減シテ、ソレニ新規ノ者ヲ三十人宛加ヘテ行クト云フ方法ヲ執ルヤウニ致シマスカラ、實際上ニ於テ待遇ナリ色々ナ點カラ行クト或ハ違ツテ居ルカモ知レマセヌガ、全縣下ニハ數年ニシテ及ブコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、今マデノ二百二十余人モ此ノ際全部縣ニ引繼イダラドウカト云フ御意見モアルヤウデアリマスガ、之ニハ養成方法ヲ一ツ考ヘナケレバナラヌト、モウ一ツハ町村ノ農會ニ於テ是非置イテ貰ヒタイ、一年モ早ク置イテ貰ヒタイト云フ希望ニ充テテ居ル町村ガ果シテ三百三十アルカドウカ、中ニハマダ理解シナイ町村モアルノデ、理解セシメル迄ノ間ニ相當年月ヲ要スルモノト思フノデアリマスガ、大体斯ウ云フヤウナ風ニ計畫ヲ立テタノデアリマス、此ノ點御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○番外六番(小作官松下兼美君) 販賣統制ニ關シテ十九番議員ノ御質問ニ御答イタシマス、十九番議員ノ御質問ハ販賣ト云フコトハ非常ニ困難ナコトデアアル、又縣下ノ者ハ大体ニ於テ下手デアアル、而モ豫算ガ一萬四千三百七圓デハ改善ヲ圖ルコトハ不可能デハナイカ、從ツテ縣ハ如何ナル方針ヲ以テ進ムカト云フヤウナ御質問デアツタカト存ジマスガ、販賣統制ニ關シテハ主トシテ消費地ノ需要嗜好ト云フヤウナモノヲ調査イタシマシテ、ソレニ適スルヤウナ生産ノ指導ヲ農産課或ハ關係ノ團體ヲシテヤツテ貰フト同時ニ、出來タモノノ宣傳ヲ主トシテヤツテ居ルヤウナ次第デアリマス、即チ米ニ付キマシ

テハ數回ニ亘リマシテ京濱市場ニ宣傳ヲナシ、本年ノ如キハ御承知ノ通り關東第一デア
 ルト云ハレル程度ユマデナリマシタノハ誠ニ同慶ニ堪エナイ次第デアリマス、其ノ外小
 麥、園藝作物ニ付テハ出來ルダケ消費地ノ嗜好ト云フモノヲ考慮イタシマシテ、品種ノ
 問題デアルトカ、或ハ肥料ノ方面ニ十分ノ指導ヲ加ヘテ此ノ目的ヲ達シタイト思フノデ
 アリマスガ、取敢ズ國庫ノ販賣改善ニ關スル助成等ノ關係モアリマスノデ、近ク販賣統
 制委員會ト云フヤウナモノヲ設立イタシマシテ、現在マデ調査研究イタシマシタ上ニ、
 更ニ農産物ノ生産ノ狀況デアルトカ、或ハ出荷ノ狀況デアルトカ、又取引ノ狀況ト云フ
 ヤウナコトヲ調査研究イタシマシテ、最モ千葉縣民ノ爲ニ利益ノ舉ガルヤウ努力イタシ
 タイト思フノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○二番(石井與作君) 議長……

○十九番(柳澤清春君) 只今ノ御答辯中農事試驗場ニ付キマシテノ私ノ質問ハ計畫ガアル
 ヤナシヤト云フコトヲ御尋ネイタシタノデアリマスガ、詰リ優良品種ノ普及ヲ圖ル上ニ
 於テ年度計畫ヲ以テ之ヲナサントスルトコロノ計畫ガアルカト云フコトモ質問中ニ這入
 ツテ居リマス、之ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ農業指導員ガ現在二百二十余名居
 ルト云フ御話デアリマスガ、是ハ棄テテ置イテ別ニ新タニ三十名宛ヤルノダト云フ風ニ
 今聞キマシタガ、サウナリマスト是非一ツ自分ノ町村ニ農業技術員ヲ置イテ吳レト云フ
 ヤウナ熱烈ナ申出ガアツタ場合、二百二十余ノ町村ハ既ニ置イテ居ルノデアアルカラソレ
 ハイカスト云ツテ、新シク設置セシメルノダケダト云フト成程アト百何箇町村デスカラ

早ク行キマセウガ、サウ云フ風ニモ聞エマシタガソレハドウ云フ風ナ譯デアリマスカ伺
 ヒタイト思ヒマス、ソレカラ農政課長ノ御答辯デスガ、縣デハ販賣購買ノ統制ガ下手ダ
 ト云フ風ニ申シタノデハナイ、農家ノ方ガ販賣購買ガ非常ニ下手ダ、ダカラ縣ハ學者技
 術家ノ意見ヲ聞イテ一ツ十分ニヤツテ下サラナイトイカヌ、斯ウ云フ風ニ申上ゲタノデ
 アリマスカラ其ノ點ハ違ツテ居リマス、販賣統制ニハ非常ニ御力ヲ入レテ居ルヤウデア
 リマスガ、全ク農村ノ人ハ自分デ作ツテ身分デ相場ヲ付ケテ賣ルコトガ出來ナイ、人ガ
 勝手ニ相場ヲ付ケテ買フ、凡ユル商工品ハ全部生産者自身ガ是ダケノ勞費ト税金ト、又
 是ダケノ利益ガナケレバナラヌト云ツテ自分ノ方デ相場ヲ付ケテサウシテ賣ル
 ノデアリマス、獨リ農産物ニ於テハ市場ニ持ツテ行ツテ勝手ニ相場ヲ付ケラレテシマ
 ウ、米相場又然リ、故ニ米穀自治管理案ノヤウナモノガ出來ルノデアリマセウカラ大變
 好イト思ツテ居リマスガ、サウ云フ風ニ農村ノ人ハ自分デ粒々辛苦シテ相當肥料モ使ヒ
 勞働シテ又税金モ出ス、サウシテ出來上ツタ生産物ニ對シテハ向フ様デ勝手ニ相場ヲ付
 ケテ買ハレルト云フヤウナ誠ニ慘メナ有様デアル、是ハ販賣統制上大ニ御心配ヲ願フベ
 キ點デアラウト思フノデアリマス、十分此ノ點ハ御心配願ヒタイト思ヒマス、大体私ノ
 質問ハソレダケデアリマス、只今ノ二項ニ付テ御答ヲ得タイト思ヒマス

○番外五番(事務官岡尊信君) 重ネテノ御質問ニ御答イタシマス、第一ノ農事試驗場ノ優
 良品種ノ改良竝ニ普及ト云フコトニ付テ年度計畫ト云フモノヲ立テ、ヤツテ居ルカドウ
 カト云フ御質問デアリマスガ、是ハ只今御示シスルヤウナハツキリシタ年度計畫ト云フ

モノハ持ツテ居リマセヌガ、ソレゾレ主任者ト致シマシテ大体標準ナリ計畫ナリハ持ツテ居リマスガ公ニ決メマシタ年度計畫ト云フモノハ出來テ居ラナイノデアリマス、ソレカラ農業技術員ニ付テノ重ネテノ御質問デアリマスガ、是ハ私ノ申上ゲ方ガ足ラナカツタカト思ヒマスガ、現在ノ制度ハ御承知ノ通り町村農會デ技術員ヲ設置シテ、設置シタ時カラ三年間ヲ新設町村農會技術員ト申シテ、之ニ對シテハ二分ノ一ノ縣費ノ補助ヲ出シ、其ノ二分ノ一ニ對シテ國庫カラ補助ガアルノデアリマス、ソレカラ三年經ツテ第四年目カラ後六箇年間ヲ既設町村農會技術員ト申シテ、之ニ對シテハ二分ノ一ノ縣費ノ補助ヲ出即チ八分ノ一ノ縣費ノ補助ヲスルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、サウシテ新設既設ノ三年ト六年ヲ越シテ九年經チマスルト、農會技術員ニ對シテハ補助費ト云フモノガ全然ナイノデアリマス、之レガ現在ノ狀態デアリマス、此ノ現在ノ狀態ニアル者ガ然ラバ何人アルカト申スト新設既設合セテ二百二十余人デアリマス、是ハ從來通りデ此ノ儘ニシテ置キマシテ、從來ノ者ヲ殖ヤスト云フコトヲシナイデ、從來カラノ計畫ニ此處デ一大改革ヲ加ヘテ、今度カラノ者ハ毎年三十人宛縣費ノ補助デハナク、待遇ノ上カラ申シテ縣吏員トシテ置クノデアリマス、一人當リ五十圓ノ技術員デアラナラバ、縣カラ縣技術員トシテ二十五圓ノ辭令ヲ渡シテ其ノ町村ニ駐在セシメ、其ノ駐在シタ町村農會ニ於テハ自己ノ費用ヲ以テ二十五圓ノ町村技術員ト云フ辭令ヲ出シテ行カウ、斯ウ云フ制度ノモノヲ毎年三十人宛増シテ行クノデアリマス

○十九番(柳澤清春君) モウ一ツ殘シマシタカラ... 只今農産課長ノ御話デハ農産物ノ檢

査ニ付テ手数料ガ二十一萬圓バカリ這入ル、ソレニ要スル費用ハ二十六萬圓、差引五萬圓ト云フモノハ一般ノ縣經濟カラ之ヲ出シテ居ルノデアアルカラナカク、容易デハナイト云フ風ニ承リマシタガ、一應御尤モト存ジマスガ、五萬圓一般會計カラ御出シ下サイマシテモ私共ハソレ以上ニ利益ガアルト思ヒマス、本縣ノ米ガ非常ニ優秀ナ成績ヲ收メテ來タト云フノハ全ク検査ノ結果デアツテ、農家トシテハ非常ナ利益ヲ得テ來テ居ルコトト思ヒマス、五萬圓以上出スコトハ困難ダト云フ御話デアリマスガ、寧ロ検査手数料ヲ減シテモ、一般カラ出シテ行クバ千葉縣ノ農家ハ經濟的ニ非常ナ利益ヲ得テ來ルノデアル、縣ガサウ云フ利益ヲ農家ニ與ヘルト云フコトニナルノデ、ドウゾモツト豫算ヲ取ツテ貰フヤウニ御願ヒイタシマス

三番伊藤博愛君登壇
拍手起ル

○三番(伊藤博愛君) 私ハ農村問題ニ付キマシテハ四番成島勇議員ノ說ニ最モ共鳴スル者デアリマスガ、今日ハ幸ヒニ柳澤先輩ガ詳シク御質問ニナツタノデ、私ノ質問スベキトヨロハ大体ニ於テ無クテツタノデアリマスガ、其ノ點ハ省イテニツ三ツ大キナコトヲ伺ツテ見タイト考ヘマス、岡田知事時代ニ農村工業化ヲ盛シニ唱ヘラレマシテ縣會ニモ案トシテ提出サレタノデアリマスガ、今日勸業費ヲ見マスル時果シテツレガ我々ノ豫想通りノ案ガ出テ居ルカ、或ハ指導機關ガ設ケラレテ居ルカニ對シテ心細ク感ズル者デアリマス、農村發展上或ハ中小商工業者ノ發展上矢張り此ノ問題ニ關聯シナケレバナラナイ

コトト考ヘマスガ、農村工業化ヲ如何ニシテ進展サセルカ、我々考ヘルノニ一ノ指導機關ナシトハ申シマセヌガ、之ヲ指導スルニ最モ必要ナルモノハ應用化學ニ依ルトコロノ工業、是ガ農村ニ最モ必要ナノデアリマス、然ルニ其ノ方面ニ對スル指導機關ノナイト云フコトヲ私ハ非常ニ遺憾ニ思フノデアリマス、勿論千葉縣ニ於テハ工業學校ガ一ツモ無クデアリマシテ、其ノ方面カラノ缺陷モアリマセウガ、ドウシテモ農村ノ進展或ハソレニ關聯スルトコロノ商工業者ノ進展ヲ圖ルナラバ、先ヅ此ノ方面ニ第一番ニ力ヲ注ガナケレベナラヌト考ヘルノデアリマス、デ其ノ指導ハ如何ナル方法ヲ以テスルカ、如何ナル人ヲ以テ指導スルカ、今後ドウ云フ御計畫ガアルカト云フコトヲ御聞キシタイノデアリマス、ソレカラ今一ツ農村工業化ニ對シテ最モ我々ガ心ヲ掛ケナケレバナラヌコトハ、千葉縣ガ何故此ノ工業ガ進展シナイカト考ヘマス時、殆ド百人ノ人ガ九十九人マデ電力料ノ高値デアルト云フコトニ何人モ異論ナイノデアリマス、(拍手)本年ノ春ニ於キマシテ東京電燈ガ京成ニ千葉縣ノ營業區域ヲ賣却セントシタ時ニ如何ニ千葉縣民ガ之ニ對シテ關心ヲ持チ反對シタカト云フコトハ我々ハ目新シク目撃シテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ眞ニ農村工業化ヲ圖ルナラバ先ヅ以テ電力料ノ値下ヲ要求シナケレバナラヌノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ縣當局ガ會社ニ對シテ積極的ニ値下ノ運動ヲナサル御方針ガアルカ、御意見ガアルカト云フコトヲ御聞キシタイノデアリマス、ソレカラ今一ツハ電燈會社ガ其ノ區域々々ノ電力料ヲ決メル時ハ主務省カラ其ノ縣ニ對シテ諮問ガアルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、果シテソレガ事實デアルカ、若シ

諮問アリトスレバ何時頃如何ナル値下ヲスルカト云フ要求ハ勿論縣トシテハシテアルコトト思ヒマスガ、サウ云フ默契ガアルカナイカト云フコトヲ御聞キシタイノデアリマス、ソレカラ甘藷ノ縣營検査ニ付テ御伺ヒシタイノデアリマスガ、甘藷ヲ縣營検査ト致シマシタ關係上、縣外移出ニ付キマシテハ非常ニ品質ガ向上シ統一サレタト云フコトヲ聞イテ居リマシテ是ハ誠ニ目出度イコトデアリマス、併ナガラマダ縣營検査ガ本當ニ統一的ニ計畫的ニナツテ居ラナイト云フコトヲ私ハ遺憾ニ思フ者デアリマス、縣外移出ノモノニ付テハ今申シマシタ如ク縣營検査ガ實行サレ効果ヲ舉ゲテ居リマスガ、縣内消費ノモノニ付キマシテハ是ハ自由検査トサレテ居リマス關係上殆ド検査ヲ受ケル生産者ハナイト云フ状態ニアルノデアリマス、然ルニ縣ハ唯手數料ヲ取ラムガ爲メ、或ハ札ヲ賣ラムガ爲ニ検査員ガ生産者ノ家ニ行ツテ少クトモ其ノ一割位ヲ検査スルト云フ名目ノ下ニ此ノ札ヲ買ツテ呉レト云フヤウナ運動ヲシツ、アルト云フコトヲ私共ハ陳情サレルノデアリマス、果シテ是ガ本當デアルカ、若シ本當デアルトスルナラバ宜シク此ノ自由検査ト云フモノハ撤廢スベキデアラウト考ヘマスガ、縣ニ於テサウ云フ御意思ガアルカナイカト云フコトヲ伺ヒシタイノデアリマス、ソレカラ今一ツハ産業組合ト中小工業者ノ關係ニ付テ御伺ヒシタイノデアリマス、近來産業組合ノ進出ガ甚ダシイト云フヤウナコトカラ中小工業者ハ反産運動ヲ盛ンニ起シツ、アリマスガ、此ノ運動ガ果シテ當ヲ得テ居ルモノデアルカナイカ、之ヲ檢討シテ見マスル時私ハ大部分ガ見當遠デハナカラウカト考ヘテ居ル者デアリマス、ソレハ何故カト申シマスナラバ現在ノ農村ニ於キマシテ

ハ購買力ノ無イヨトハ勿論縣當局モ御承知ノヨトト思ヒマス、購買力ナク生産費ヲ割ル位ノ農村ニ對シテ商人ノ商品ガ賣レ行ク筈ガナイト考ヘマス、然ルニ商人ノ品物ガ賣レナイノハ、農村ガ産業組合ノ購買部ヲ利用シテソレカラ買フ爲ニダト斯ウ一口ニ考ヘテ居ルヤウニ私ハ思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ縣ハドウ御覽ニナツテ居ルカ、若シ是ガ見當違ヒデアルトスルナラバドンナ方法ヲ以テ此ノ誤解ヲ解クカ、其ノ方針ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、先日商工業者ガ大會ヲ開キマス時ニ千葉縣知事ハ御出席ガナカツタト云フ御話デアリマス、又一昨日デアリマスカ、縣ノ産青聯ノ大會ガアツタ時ニハ私出席イタシマシタガ、縣カラハ殆ド首腦部ハ見エナカツタノデアリマスガ、何故ニ斯ウ云フ時出ナイノデアルカ、産業組合ガ本當ニ短ヲ超エタヤウナ意見ヲ吐クナラバ宜シク縣ハソレニ對シテ誤解ヲ説イテヤルベキデアリ、或ハ又間違ツタ點ヲ説イテヤルベキデアルト考ヘテ居リマス、又商人ニ對シマシテモ、矢張りソレト同様ニ若シ間違ツタ意見ヲ喋々スルナラバ之ニ對シテ宜シク其ノ誤解ヲ説イテヤルベキデアルト思フノモ、縣ガ出席シナイト云フコトハ、唯下役ヲ遣ツテ御座成りのノ祝辭ヲ讀マセルノミデハドウシテ本當ノ平和ナ千葉縣ヲ出現スルコトガ出來マセウカ、益々對立シテ終ニハ社會問題トモナルノデハナイカト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ縣ニハ如何ナル指導方針ガアリマスカ、ソレカラ今一ツハ家畜飼料ノ研究デアリマスガ、昨年研究所ノ設置ニ付キマシテ五千圓、經營費ニ付キマシテ五千圓計上サレテ居ツタヤウデアリマスガ、先月二十一日ノ時事新報ヲ見マシタ時ニ、有力者ノ寄附ヲ宛込

デ建設スルト云フ御計畫デアツタト云フヤウニ書イテアリマスガ、果シテソレガ事實カ、其ノ寄附ガナイ爲ニ今日マデ實現ガ覺束ナイト云フヤウニ書イテアリマスガ、寄附ヲ以テ事業ヲ爲スコト勿論結構ナコトト思ヒマス、併ナガラ千葉縣ノ産業進展上ノ爲ニハドウ云フ方法ヲ以テヤラナケレバナナイカ、唯寄附ノミヲ宛込ンデ殆ド假想的ノ仕事ヲスルト云フコトハ其ノ産業進展上誠ニ危険ガアルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、我々ガ毎年聲ヲ大ニシテ農村ノ副業ヲ叫ビ、養鶏ノコトヲ申シマスノハ、如何ニ此ノ事業ガ大切デアルカラ思フカラデ、一日モ早ク之ヲ實現サセナケレバナラナイノデアリマス、然ルニ寄附ヲ宛込ンデ、若シ其ノ寄附ガナケレバ斯ノ如キ大切ナ事業モ出來ナイト云フコトニナリマスルナラバ、農民ハ非常ニ心細ク感ズルノデアリマス、果シテソレガ事實デアルカナイカハ分リマセウガ、實際ニ於テ其ノ建築ガ實現セラレツアルカ、或ハ實現スルモノデアルカ、本年度ノ此ノ豫算デ十分其ノ事業ガ遂行サレルノデアルカト云フコトヲ御聞キシタイノデアリマス、マダ御聞キシタイコトガアリマスガ、是ハ明日ニデモ保留イタシマシテ先ヅ此ノ四點ヲ御伺ヒシタイト考ヘルノデアリマス (降壇)

○番外四番(經濟部長坂井貞一君) 電力料問題ニ付キマシテ私カラ御答イタシマスガ、千葉縣ノ電燈料並ニ電力料ガ他府縣ニ比シテ非常ニ高イト云フコトニ付テハ私共非常ニ遺憾ニ考ヘテ居リマス、ドコノ縣ノ電燈料電力料ト比較シテモ本縣ハ非常ニ高イノデアリマス、此ノ料金値下ノ問題ニ付テハ非常ニ我々モ希望イタシテ居ルノデアリマス、併ナ

ガラ今御質問ノ此ノ料金ノ値下ニ付キマシテ縣ハ積極的ニ運動スル意思アリヤ否ヤト云フ問題、料金ノ設定ノ時ニ千葉縣トシテ意見ヲ述ベル點ニ付テノ御質問ガアリマシタガ、是ハ警察部ノ所管ニ屬シテ居リマスノデ、今日ハ警察部長ハ不在デアリマスガ、是ハ他日私ノ方ヨリ警察部長ニ御質問ノアリマシタコトヲ申シ傳ヘマシテ、警察部長ヨリ此ノ點ニ付テ御答辯申上ゲルコトニ致シマス、次ニ中小商工業者ト産業組合トノ關係デアリマスガ、只今御議論ノアリマシタ通りデアリマシテ、我々ト致シマシテモ此ノ問題ニ付テハ非常ニ頭ヲ悩マシテ居リマス、是ハ又一地方ノ小サナ問題デハナイノデアリマシテ、中央ノ問題ト致シマシテモ商工省ト農林省トガ此ノ問題ヲ如何ニ解決スベキカニ付テハ非常ナ苦心ヲシテ居ルノデアリマス、唯過日來私ガ度々申上ゲマスヤウニ私ト致シマシテハ是ハ兩方トモ各々相俟ツテ發展シテ行カナケレバナラヌ問題デアルト云フ持論ヲ抱イテ居リマス、ト申シマスノハ中小商工業者ガ發展シテ行クニハ是非トモ購買力ヲ作ラナケレバナラヌ、其ノ購買力ノ根源ハ農村デアリマスカラ、矢張り産業組合ト云フモノモナクテハナラヌモノダ、サウ云フ點カラ産業組合ハ産業組合トシテノ使命ヲ守ラセ、又中小商工業者ハ中小商工業者トシテノ領域ヲ守ラセテ、お互ニ相助ケ合ツテ發展セシメルコトガ今日ノ國家ヲ發展サセルベキ大キナ動力デアラウト私ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ斯ウ云フ會合ニハ是非知事ナリ縣ノ幹部ガ出席シナケレバナラヌ、サウシテサウ云フ者ノ意見ヲ聞カナケレバナラヌト云フ御意見デアリマス、是ハ尤モデアリマス、我々トシマシテモ時間ノ許ス限リ又用事ノ繰合セノ付ク限リニ於テハ是ハ大ニサウ

云フ御意見ヲ聞キタイト思ヒマス、過日知事ノ出席シナカッタコトニ付テノ御話モアリマシタガ是ハ縣會ノ開會中デモアリマシテ非常ニ多忙デアリマシタ關係上出席出來ナカツタノデアリマスガ、斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ是非斯ウ云フ機會ニハ出席イタシマシテ、各方面ノ色々ノ意見ヲ聞イテ、將來ノ色々ノ事案ニ對シテ處理シテ行カナケレバナラヌト云フコトハ日頃カラ私共モ考ヘテ居ルノデアリマス、將來トモサウ云フ風ニ取計ヒタイト考ヘテ居リマス、其ノ他ノ問題ニ付キマシテハ他ノ參與員カラ御答ヲ致スコトニ致シマス

○番外五番(事務官岡尊信君) 三番議員ニ御答イタシマス、第一ハ甘藷検査ノ問題デアリマスガ、甘藷ノ検査ハ現在自由検査ニナツテ居ルガ甚ダ不徹底デアルカラ之ヲ強制検査ニスル意思ナキヤト云フ御質問デアツタト思ヒマスガ……

○三番(伊藤博愛君) 違ヒマス、只今農産課長ノ御言葉デスガ、一寸間違ヒデアラウト思ヒマスカラ私カラモウ一度簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、甘藷ハ縣外移出ノモノハ縣管検査ヲ行ナツテ居ルヤウデアリマスガ、縣内消費ノモノニ對シテハ自由検査ヲ執ツテ居ル、其ノ意味カラ伺ツタノデアリマス

○番外五番(事務官岡尊信君) 縣外移出、縣内消費ニ對シテ現在ノ狀況カラ考ヘテ見マシテモ、私共トシテハ検査ノ徹底ヲ圖ル上ニ於テ強制検査ノ方法ヲ執ツテ行キタイト云フ考ヘハ常ニ持ツテ居リマス、モウ一ツハ検査ガ余リ適當ナ方法デナクテ、中ニハ所謂札賣リト云フヤウナ向モアルヤウダガト云フ御話ガアリマシタガ、検査ニ當ツテ札賣の方

法ヲ執ルト云フコトハ極メテ面白クナイコトデアリマシテ、嚴重取締ヲ要スルコトデアリマスノデ、現在ニ於テハ斯様ナコトハ無イト信ジテ居リマスガ、若シアリトシマスレバ十分調査ヲ致シマシテサウ云フコトノ無イヤウニ努力シタイト思ヒマス、次ニ家畜飼料ノ問題ト云フ御話デアリマシタガ、是ハ佐倉ノ飼料研究所ノ御話デアリマスカ御伺ヒイタシマス。

○三番(伊藤博愛君) 左様デアリマス

○番外五番(事務官岡尊信君) 御質問ノ要旨ハ佐倉ニ昨年度ノ豫算ヲ以テ飼料研究所ヲ置キ、之ニ對スル臨時費ガ五千圓、經常費ガ五千圓、計一萬圓、其ノ中ノ七千五百圓ヲ有志ノ寄附ニ仰ギアトノ二千五百圓ヲ縣カラ支出スル、斯ウ云フコトニナツテ居ルガト云フ御話デアリマスガ、實際上サウナツテ居ルノデアリマス、之ニ付キマシテハ現在既ニ佐倉種畜場ノ隣接地約三段歩ヲ借りマシテ飼料研究ニ着手シテ居ルノデアリマス、尙ホ五千圓ノ建築費ニ付キマシテハマダ其ノ建築ガ出來ナイデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、建築ハ出來テ居リマセス、之ニハ第一ハ當初計畫ヲスル際ノ寄附ノ受入レ方法ガハツキリ決ツテ居ラナカッタト云フコトガ一ツノ理由デアリマス、之ニ付キマシテハソレハ關係方面ト交渉中デアリマス、何故建築ヲ早ク急ガナイカト云フ御疑問ガアルダラウト思ヒマスガ、現在ノ佐倉種畜場ノ内部ニ付キマシテ色々調査ヲシテ見マスト色々ノ部屋ガ相當利用出來ルモノガアリサウニモ考ヘテ居リマスノデ、サウ云フ點ナドモ目下調査中デアリマシテ、全然飼料研究ヲヤラナイト云フノデハナイノデアリマス、現ニ

本年度ニ於キマシテモ主任者ヲ採用シテアリマスルシ諸般ノ設備モ致シマシテ現在飼料ノ研究ヲ實際ニハヤツテ居リマス、唯有形的ノ建物ナリ或ハ寄附ノ受入レナリ、サウ云フヤウナ點ガ未ダ出來テ居リマセスガ、マダ年度モアルコトデアリマスノデ、其ノ點ハ十分ニ篤ト研究シ出其得ルモノナラバヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○番外六番(小作官松下兼美君)

農村工業化ノ問題ニ付キマシテ私ノ方デ關係シテ居ル範圍内ニ於テ御答辯申上ゲタイト思ヒマス、農村工業化ト云フコトハ非常ニ必要ナモノデアル、縣トシテハ如何ニシテ之ヲ進展セシメルヤ否ヤ、殊ニ此ノ仕事ヲスル上ニ於キマシテハ應用化學方面ノ知識ヲ有スル者ガ必要デアルガサウ云フ者ガナイヤウデアアル、縣ハ之ニ對シテドウ云フヤウニスルカ、及ビ農村工業ニ付キマシテ如何ナル指導方法、如何ナル計畫ヲ有スルヤ否ヤト云フ點ニ付キマシテ、私ノ方デ關係アル範圍内デ御答申上ゲタイト思ヒマス、農村工業ノ問題ニ付キマシテハ大キナ問題ト致シマシテハ都會ノ工業ヲ地方ニ分散スルコトデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ他ノ參與員カエ御答辯アルコト、思ヒマスガ、私共ノ關係イタシテ居リマス農村工業ハ、地方ニ生産サレマス物資ニ加工シテ價值ノ増加ヲ圖リ從ツテ農村ノ經濟ニ弾力性ヲ持タシメルト云フ點デアリマシテ、此ノ點ニ關シテハ御説ノ通り應用化學方面ノ知識ヲ有スル人ガ必要デアルト認メマシテ、關係方面等ノ意向ヲ聽取イタシマシテ現ニ其ノ方面ノ權威者ヲ採用イタシテ居ルヤウナ次第デアリマス、本件ニ關シマシテハ帝國大學、農業大學、農事試驗場方面ノ各權威者ガ全力ヲ擧ゲテ指導スルト云フヤウナ言質モ得テ居ルヤウナ次第デアリマシ

テ、近ク是等ノ結果モ現レルコト思ヒマス、ソレカラ指導方法ニ關シテハ御案内ノ通り或ル品物ヲ作ルコトハ割合ニ簡單デアリマスガ、之ヲ販賣スルト云フ點ニ於テ挫折ヲ來タス例ガ多イノデアリマス、從ツテ私共ハ生産品ノ價格ノ變動ノ狀況ヲ調査シ、又販路ガ果シテ巧ク見付カルヤ否ヤト云フヤウナ方面ヲ調査イタシマシテ、ソレ等ノ點ニ於テ何等心配ガナイト云フ事柄ニ付キマシテハ直グ様之ヲ指導督勵イタシマシテ實行ニ移ラセル、然ラザルモノニ付キマシテハ十分ナル調査研究ヲ致シマシテ之ヲ指導スルト云フヤウナ方針ヲ執リタイト思ツテ居リマス、計畫ニ付キマシテハ、具体的ニ申上ゲル程度ニマデ進ンデ居リマセヌノハ誠ニ遺憾デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○番外八番(事務官中根秀雄君) 只今三番議員ノ御質問中ニ工場誘致ノ問題ト電力料ノ關係ガアリマシタノデ其ノ點ニ付キマシテ御答申上ゲマス、工場ノ誘致ニ付キマシテ電力料金ノ低イト云フコトハ非常ニ重要ナ要件デアリマシテ、日本ニ於ケル輕工業分布ノ狀況カラ見テモ、或ハ最近出來マス輕金屬工業、窒素固定工業ノ状態ヲ見マシテモ、總テ電力料金ノ安い地方ニ是等ノ工場ガ發達シテ居ルノデアリマス、是等カラ見テモ電力料ト云フモノハ工場誘致ノ爲ニ非常ニ大切デアルト云フコトハ分ルノデアリマシテ、私共商工關係ノ事務ヲ擔當スル者ハ其ノ點ニ付テ苦慮イタシテ居ルノデアリマス、併ナガラ工場誘致ノ問題ハ必ズシモ電力料ダケデハ決定サレルモノデハナイト思フノデアリマス、例ヘバ工場敷地ヲ買收スル際ノ買收費ノ多寡、或ハ風土氣候ノ良否、或ハ交通ノ便否、殊ニ海運ノ便否、或ハ又勞働供給ニ付テ其ノ地方ニソレダケノ能力ガアルカドウ

カ、或ハ勞働賃銀ガ安いカ高イカ、或ハ勞働者ノ思想問題ガ惡化シテ居ルカドウカト云フ問題、或ハ土地一般ノ人氣ハドウカ、斯ウ云フヤウナ諸點ガ工場誘致工場分散ニ當リマシテハ重大ナ要素トシテ考慮セラレルノデアリマス、不幸ニシテ本縣ハ先程同僚カラ御答辯ガアツタ如ク電力料金ハ比較的高イノデアリマス、併シ其ノ他ノ諸點ニ於テハ勞働關係ノ問題、土地ノ價格ノ問題等ニ於テハ他府縣ニ比較シテ優ルトモ劣ツテハ居ラナイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、是等ノ長所特質ヲ生カシテ行クナラバ、東京横濱方面ニアリマス大工場ノ分場ヲ當方面ニ獲得スルト云フコトハ相當易々タルモノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、デアリマスガ、何ト申シマシテモ電力料金ト云フモノハ工場誘致ニハ非常ニ重大問題デアリマシテ、私共機會ガアツテ斯ウ云フ問題ニ口出シガ出來ル時ニハ極力適當ナ料金ニ調整サレマスルヤウニ十分努力イタシタイト考ヘテ居リマス、尙ホ又工場誘致ノ事務デアリマスガ、此ノ事務ハ商工事務トシテハ從來監督行政ヲ主トシテ簡單ナ指導ヲヤツテ居ル様ナ現狀ニ照シテ相當積極的ナ仕事デ輕カラザル負擔ナノデアリマシテ、自分ナガラ齒痒クナルヤウナ次第デアリマスガ、他府縣ノ狀況ヲ見マスト工場誘致ノ問題ハ地元ノ商工團體、商工會議所ト云フヤウナモノガ中心ニナリマシテ其ノ地方々々ニ於テ之ヲヤツテ居リマス、或ハ買收サルベキ敷地ノ決定ヲ爲スト云フ風デ、具体的ニ色々ナコトヲ決定シマシタ上デ縣ト相談シテオ互ニ協力シテ效果ヲ擧ゲテ居ルヤウニ考ヘマス、ドウカ三番議員ノ如ク斯ウ云フ方面ニ付テ關心ヲ持タレル方ガ縣下ノ地方ノ者ニ呼ビ掛ケテ工場誘致ニ關シテ注意ヲ喚起シテ我々ト提携シテ其ノ實

現ヲ期シタイト考ヘテ居リマス、以上ヲ以チマシテ御諒承願ヒマス

○議長(吉野力太郎君) 御諮リ致シマス、第九款勸業費ノ質問ヲ繼續スルコトトシテ本日ハ之ヲ以テ散會イタシタイト思ヒマスガ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 御異議ナイト認メマシテ散會スルコトニ致シマス、明日ノ日程ハ

第一號議案ノ一讀會竝ニ第二號議案乃至第四十九號議案ノ一讀會、定刻ヨリ開會イタシマス、本日ハ之ヲ以テ散會イタシマス

午後四時三十分散會

傍聽人 百 十 名

昭和十年通常千葉縣會議事速記録

第十二號

昭和十年通常千葉縣會議事速記録第十二號

十二月四日(水曜日)午後二時五分開會
出席議員三十五名左ノ如シ

一	番	諏訪寬治君	二	番	石井與作君
三	番	伊藤博愛君	四	番	成島勇君
六	番	木村康哉君	七	番	大枝十兵衛君
八	番	川俣義郎君	十	番	高野伴藏君
十三	番	島田彌久君	十四	番	石橋保君
十五	番	木倉和一郎君	十六	番	石川善之助君
十七	番	鋤柄良司君	十八	番	古川長太郎君
二十	番	平山成之助君	二十一	番	長島義三君
二十二	番	飯田惣兵衛君	二十三	番	横田清藏君
二十四	番	押元才司君	二十六	番	澁谷司君
二十七	番	梨本太兵衛君	二十八	番	小柴金一郎君
二十九	番	小谷三之助君	三十	番	飯田鉄之助君
三十二	番	田中恭三君	三十三	番	鈴木亮君
三十四	番	茂木林藏君	三十五	番	一瀬房之助君

三十六番	青木泰助君	三十七番	染谷正治君
三十八番	高瀧政吉君	三十九番	星野懿吉君
四十番	渡邊政治君	四十一番	石上新藤君
四十二番	吉野力太郎君		

欠席議員七名左ノ如シ

五番	新藤退藏君	九番	浮谷竹次郎君
十一番	川口爲之助君	十二番	木島義夫君
十九番	柳澤清春君	二十五番	吉堀正雄君
三十一番	花澤壽太郎君		

○議長(吉野力太郎君) 開會イタシマス、縣ヨリ議案ノ送付ガアリマシタカラ書記ヲシテ朗讀イタサセマス

書記朗讀

庶第八一五號

昭和十年十二月四日

千葉縣知事 石原雅二郎

千葉縣會議長 吉野力太郎殿

通常縣會議案送付ノ件

一、第五十號乃至第五十二號昭和十年通常縣會議案
右及送付候也

○議長(吉野力太郎君) 議案ヲ配布イタサセマス

書記議案ヲ配布ス

○議長(吉野力太郎君) 議案ノ配布漏レハアリマセヌカ

(「アリマセヌ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 議案配布漏レハナイモノト認メマス、長官ノ御説明ガアリマス

知事石原雅二郎君登壇

○知事(石原雅二郎君) 議案ノ御説明ヲ致シマス、茲ニ昭和十年追加更正豫算竝ニ其ノ他ノ議案ヲ提出イタシマシテ更ニ各位ノ御審議ヲ煩ハシタイト存ジマス、今回提出イタシマシタ豫算案中一般會計ニ於テ歳出ノ追加ヲ要シマスモノハ土木費七十三萬七千九百五十三圓、市町村土木補助費五萬六千四百四十七圓、縣債費千二百二十一圓デアリマスガ、他面ニ於キマシテ大原漁港修築費更正減額五萬三千圓、御成婚紀念事業費繰入減額千八十圓ガアリマスノデ、差引シマシテ結局七十四萬四千四百四十一圓ヲ増額スルコトトナルノデアリマス、而シテ其ノ財源ト致シマシテハ國庫補助金、歳出更正減額及ビ繰越金ヲ以テ其ノ一部ニ充當イタシマシタガ、殘餘ノ六十三萬五千八百圓ニ付キマシテハ租稅ノ増徴ニ依リテ一時之ヲ支辨スルコト困難ト存ジマスノデ、之ガ財源ヲ起債ニ求メルコトト致シマシタ、尙ホ今回提案イタシマシタ災害復舊費ハ土木課關係ノ災害復興費ノミデアリマシテ、耕地課關係ニ付キマシテハ農林省ノ補助額ガ未ダ確定イタシマセヌ爲ニ本縣會開會中ニ提出ノ運ビニ至ラナカッタノハ頗ル遺憾ニ存ジマス、何レ遠カラズ補

助金額確定次第參事會ニ提案イタシマシテ御決議ヲ願フコトニ致シタイト存ジマス、以下提出イタシマシタ議案ノ内容ニ付テ御説明ヲ申シマス、本年七月六、七兩日竝ニ八月二十九日ニ於キマスル大暴風雨ニ加ヘ、九月二十四、二十五兩日ニ亘ル豪雨ニ依リマシテ本縣未曾有ノ出水ノ爲メ縣下全般ニ亘リマシテ道路、橋梁、堤防、護岸ニ多大ノ災害ヲ蒙リマシタ、是ハ急速ニ復舊ヲ要シマスノデ、土木費ニ於キマシテ七十三萬七千九百五十三圓ヲ計上シ、更ニ町村管理ニ屬スル道路、橋梁、護岸、堤防ニ付テモ亦捨置キ難キ状態デアリマスカラ、之ガ復舊費ニ對スル補助費トシマシテ五萬六千四百四十七圓ヲ計上イタシマシタ、尙ホ其ノ財源ノ一部トシマシテ起債ヲナスコトト致シマシタ關係上、縣債利子千百二十一圓ヲモ追加計上イタシタ次第デアリマス、次ニ大原漁港修築費本年度支出額ハ當初豫算ニ於キマシテ五萬四千圓ヲ計上イタシマシタガ、本年度ニ於テ豫定ノ國庫補助ヲ受ケル見込ガアリマセヌノデ五萬三千圓ヲ減額更正スルコトトシ、又御成婚紀念事業繰入ニ於キマシテ特別會計、御成婚紀念事業費ノ減額ニ伴ヒ千八百圓ヲ更正減額スルコトト致シマシタ、特別會計御成婚紀念事業費ニ付キマシテハ模範林地拂下代年賦金ノ利率引下ゲニ依リマシテ曩ニ提出シマシタ模範林繼續年期及支出方法變更案ノ通り昭和十年度分千八百圓ヲ更正減額スルコトト致シタ次第デアリマス、以上ノ外右豫算ニ伴フ起債及償還方法ヲ提出イタシマシタガ、之ガ詳細ニ亘リマシテハ必要ニ應ジ説明ヲ致シマス、何卒慎重審議ノ上速カニ御協賛アラムコトヲ切望イタシマス（拍手降壇）

○議長(吉野力太郎君) 御諮リ致シマス、本案ヲ本日ノ日程ニ追加シテ會議ニ付スルコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 異議ナキモノト認メマシテ本日ノ會議ニ付スルコトニ致シマス

○三十六番(青木泰助君) 只今知事ヨリ御説明ノアリマシタ第五十號乃至第五十二號議案ハ勸業費了ノ後ニ議シタイト云フ動議ヲ提出イタシマス

(「賛成」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(吉野力太郎君) 異議ナキモノト認メマシテ左様決定イタシマス、三番

○三番(伊藤博愛君) 昨日ノ質問ニ引續キマシテ伺ヒマス、縣ノ御答ハ私ノ云ヒ方ガ拙ツタカ、或ハ聞キ方ガ拙ツタカ、私ノ質問ニ對スル答辯ガ的ヲ外レテ居ルヤウニ考ヘマスカラ、其ノ點ノ質問ノヤリ直シヲシタイト思ヒマス、甘藷ノ縣管検査ニ付キマシテハ、縣内デ消費スルモノノ自由検査ノ撤廢ヲ要望シタノデアリマスガ、其ノ意思ガアルカナイカト云フ質問デアツタノデアリマス、農村工業化ニ付テノ電氣料値下ニ付テハ經濟部長サンカラ色々善處スルヤウナ御答辯ガアリマシタガ、是ハ千葉縣ト致シマシテ現在東電ノ電料々金ト云フモノハ全國デ最高イノデアリマシテ、而モ其ノ收入ハ固定資金ノ一千五百九十三萬圓ニ對シテ一箇年ノ收入ハ五百八萬六千有餘圓アルノデアリマシ

テ、此ノ年々ノ費用ヲ差引イテモ尙ホ二百五十七萬九千幾圓ト云フ純益ニナツテ居ルノデアリマス、是ガ幾ラノ利廻リニナルカト申シマスナラバ一割六分二厘、其ノ爲ニ縣下ニ値下問題ガ起ツテ居ルノデ、二割以上値下セヨト云フコトガ問題ニナツテ居ルノデアリマス、然ラバ若シ二割以上値下ゲセシメタナラバドンナ結果ニナルカト申シマスナラバ、マダソレデモ九分八厘ノ好利廻リニナルノデアリマシテ、我々ノ要望ハ決シテ不當ノ要望デハナカラウト思フノデアリマス、勿論是ハ民衆ノ力ニ依ラナケレバナライコトデハアリマスガ、併シ縣ハ之ニ對シテ何等カノ權力ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ縣民ノ要望ニ對シテハ宜シク之ヲ聽容レ其ノ爲ニ努力スベキデアラウト考ヘマシテ質問シタノデアリマスガ、警察關係デアルカラ何レ後日警察部長カラ答辯ガアルデアラウト云フヤウナ話デアリマシタ、少クトモ産業開發ニ關係スルコトデアリマスカラ、警察關係デアルカラト云ツテ警察部長ノ答辯ノミヲ以テ我々ハ満足スルモノデアリマセヌ、縣當局少クトモ知事以下之ニ關係スル人ガ之ニ對シテドウ云フ方針ヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ聞キタカツタノデアリマス、ソレカラ家畜飼料ノ研究問題デアリマスガ、是ハ日本電氣工業株式會社或ハ旭海產興業株式會社ノ「ケルブミル」、之ヲ米國アタリデ盛ンニ鶏或ハ豚ニ對シテ研究シタ結果最モ効力ガアルト云フヤウナ御話ガアリマシタ、ソレガ盛ンニ輸出ニナツタノデアリマス、トコロガ最近ハ米國デモ製品ガアリマスノデ日本ノ方カラノ輸出ガ思ハシクナイノデ、日本デ之ヲ使用セシメルト云フヤウナ關係カラ會社カラ要望サレテ起ツタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ果シテサウデアツタカ

ドウカ、勿論會社カラ要望サレテ研究シタトコロデ、本當ニ効果アルモノデアラナラバ、ドナタカラ要望サレテ研究シタトコロデ差支ナイコトデアリ、寧ロ我々ノ望ムトコロデアリマスガ、少クトモ研究所ヲ設置スルト云フコトハ地方ノ要望デハナカツタノデアリマシテ、縣當局ガ寧ロ進ンデ提案サレタノデアリマスカラ、寄附ノ受入ガナイカラト云フノデ有耶無耶ニ葬ルト云フコトハ、決議ニ參加シタトコロノ議員トシテハ看過スルコトガ出來ナイノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテドンナ程度ニナツテ居リマスカ、又ドンナ方法デ之ヲ實現スルカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、今一ツ附加ヘテ御聞キシテ置キタイコトハ、私ハ漁業家デナイノデ寧ロ十八番君ニ關係ガ深イノデアリマスガ、此ノ海岸線ノ長イ千葉縣ガ漁業關係ニ於テドンナ結果ニナツテ居ルカ、私ハ此ノ間新聞ニ出タモノヲ基礎ニシテ御聞キスルノデアルカラ是ガ當ヲ得テ居ルカ居ラナイカハ分リマセヌガ、前年度ノ增收ハ三千萬圓デ、縣下ノ各種ノ生産高ガ二億圓ヲ突破シタト書イテ居リマシタガ非常ニ喜バシク感ズル次第デアリマス、其ノ内譯ヲ見マスルト最モ大キナノガ工産デアリ、次ガ農産デアリ、其ノ次ニ水産ガ位シテ居ルノデアリマス、其ノ理由ヲ見マスト三面海ニ圍マレテ居ル千葉縣ガ水産ニ於テ振ハナイヤウニ書イテアリマスガ、果シテ是ハ其ノ通りデアルカドウカ、アノ九十九里地方ハ年々歲々相當ノ向上ヲシテ居ルニ拘ラズ、漁業家ガ一人減リ二人減リ、本年度ノ如キモ相當減リツツアルヤウニ考ヘラレマスガ、此ノ指導方法ニ付テ如何ナル對策ヲ御持チデアルカ、ソレヲ御聞キシタイノデアリマス、ソレカラ産業組合ト中小商工業者ノ關係デアリマス

ガ、是ハ追ツテ質問者ガアルヤウデアリマスカラ、私ハ之ヲ保留イタシマシテ、他ノ方ガ質問シテ尙且ツ答辯ニ満足ヲ得ナカツタナラバ尙ホアトデ質問ヲシタイト考ヘテ居リマス、以上……

○番外五番(事務官岡尊信君) 三番議員ヨリ重ネテノ御質問デアリマスノデ私ヨリ御答イタシマス、甘藷ノ縣管検査中縣内消費ノ分ニ對シテハ現在自由検査ヲシテ居ルガ、之ヲ撤廢スル意思ガアルカドウカト云フ御質問ノヤウデアリマス、現在縣ト致シマシテハ直チニ縣内消費ノモノニ對シテモ検査ヲ撤廢スルト云フ意思ヲ持ツテ居ラナイノデアリマス、併ナガラ三番議員ノ御質問ニハ色々理由等モ御有リノコトト考ヘマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ將來十分研究調査ヲシテ見タイト思ヒマス、次ニ佐倉ノ種畜場ニ設置スベキ飼料研究所ニ付テノ御質問デアリマシタガ、其ノ後ノ經過ハドンナコトニナツテ居ルカト云フヤウナコトモ加味サレテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ昨年ノ縣會ニ提案イタシタモノデアリマシテ、御承知ノ通り我ガ千葉縣ノ海岸ニアリマス海藻「カジメ」ヨリ取リマス「ケルブミル」ガ米國ニ相當輸出サレ家畜ノ飼料ニハ使ハレルノデアリマス、併シ「ケルブミル」ガ家畜ノ飼料トシテドウ云フ効果ヲ持ツテ居ルカト云フヤウナコトニ付テ研究スル必要ガアル、斯ウ云フ民間カラノ意見モアリ、廳内ニ於テモ是非研究シテ見タイト云フ議ガアリマシテ、當時只今三番議員ノ仰セラレタ會社ヨリ臨時費並ニ經常費ノ一部ノ寄附ガアルト云フヤウナコトデアリマスノデ、之ヲ豫算ニ編成シ提案シ議決ヲ經タノデアリマス、其ノ金額ハ昨日申サレタ通り臨時費ニ於テ五千圓、經常費ニ於

テ五千圓、計一萬圓ノ内七千五百圓ガ寄附ト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、今日ニ至リマシテ色々ノ事情ヲ見マスルト外國輸出ハ色々ノ事情ヨリ其ノ當時ト全ク趣ヲ異ニスルヤウナ状態ニナツテ居ルノデアリマス、モウ一ツハ原料等ガ非常ニ少イ爲ニ一時ニ大量注文ヲ受ケテモ之ニ應ズルコトガ出來ナイト云フ狀況ニアツタノト、又當初ノ寄附申込ニ對スル寄附者ト縣トノ間ノ行違ヒト云フヤウナモノモアツタノデアリマスカ、現在寄附ハ收納サレテ居ラナイノデアリマス、從ツテ寄附ヲ財源トスル事業ガ、其ノ收入ノナイ中ニ事業ニ着手スルト云フコトハ是ハ財政ノ關係上思ハシクナイノデアリマシテ、有形的設備ハ今日マデ着手サレテ居ラナイノデアリマス、併ナガラ今日此ノ事業ガ必ズシモ輸出品トシテノミナラズ、内地トシテモ家畜ノ飼料トシテドウ云フ効果ガアルカト云フ成績ヲ調査スル必要ガアル、其ノ研究ノ必要ヲ認メマシテ、縣ニ於キマシテハ參事會ノ決議ヲ經テ佐倉種畜場ノ附近ニ三段歩ノ土地ヲ借地契約ヲ致シマシテ、此處ニ家畜飼料ノ栽培モヤツテ居リマスシ、尙ホ之ニ專任ニ當ルベキ技術者ノ任命モ致シテ研究イタシテ居リマス、是ハ必ズシモ「ケルブミル」バカリデハナイノデ、本縣特産ノ醬油ヨリ生ズル醬油粕或ハ其ノ他ノ物ニ付テモ研究ヲスル必要ガアリマスノデ、目下事業ニハ着手シテ居ルノデアリマスガ、唯有形的建物ノ設備ヲ致サナカツタノハ先程申シタヤウナ色々ノ事情カラデアリマス、併シ年度モマダアルコトデアリマスノデ、此ノ點將來トモ行違ヒノ點ナドモ十分明瞭ニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、此ノ程度ヲ御了承願ヒタイト思ヒマス

○十八番(古川長太郎君) 私ハ海産物ノ製品検査ニ付テ少シク御尋ネシタイト思ヒマス、本縣ニ於キマスル海産物ノ生産検査ニ付キマシテハ既ニ検査規則ガ制定サレテ居ルノデアリマスガ、海産物ノ製品ノ中最モ重要ナ地位ヲ占メテ居ルトコロノ末廣鱈、此ノ検査ヲ實施サレテ戴キタイト云フコトハ當業者ノ現在ニ於ケル要望デアリマス、然ルニ其ノ副産物タル干鰯ノ如キ肥料ヲ検査シテ、斯ウシタヤウナ高級品ニシテ且ツ海外ニマデ輸出サレテ居ルヤウナ品物ニ對シテ何故ニ検査シナイノデアルカ、當局ハ之ヲ實施スル御意思ガアルカドウカ、若シ御意思ガアリトスルナラバ其ノ時期竝ニ之ニ對スルトコロノ御腹案ニ付テ詳細御伺ヒシタイト思ヒマス

○番外八番(事務官中根秀雄君) 只今ノ十八番議員ノ御質問ニ對シマシテ私ヨリ御答辯申上ゲマス、只今御話ニモゴザイマシタガ如ク末廣鱈ハ本縣ニ於ケル主要ナル物産デアリマシテ其ノ年額モ五百萬圓ヲ突破シテ居ルヤウナ狀況ニアルノデアリマシテ、此ノ大切ナル鱈製品ニ付テ從來製品検査ヲ行ツテ居ラナイ爲ニ聲價ガ落チテ大阪市場等ニ於テ或ハ富山ノ製品等ニモ脅威ヲ受ケテ居ルト云フコトハ誠ニ御話ノ如クデアリマスガ、此ノ検査ニ付キマシテハ二、三ノ困難ヲ伴フノデアリマシテ、其ノ困難ヲ克服シテ然ル後デナケレバ實施シテモ其ノ効果ガ擧ラナイノデハナイカト考ヘルノデアリマス、然ラバ其ノ困難トハ何カト申シマス、末廣鱈ノ検査ヲ致シマスルト検査員約二十四名竝ニ其ノ監督者一名ガ要ルノデアリマシテ、其ノ人件費ハ約一萬余圓ニ上ルノデアリマス、ソレカラ又末廣鱈ノ統計ノ上カラ見マシテ從來ノ標準ニ依ル手数料ヲ取ルトシマスと約

五千圓位ノ手数料收入ガアル譯デアリマシテ、其ノ間ニ四、五千圓ノ縣費負擔ヲシナケレバナラナイト云フヤウナ財政的ノ理由ガアルコトガ一ツデアリマス、第二ノ點ハ他ノ鱈製品デアリマス加工ノ程度ガ比較的少イカラ鑑別ガ極メテ容易デアリマス、然ルニ末廣鱈ニナリマス或ハ調味料ノ問題デアルトカ、乾燥ノ程度デアルトカ、可成リ検査ニ於ケル鑑別ガ困難デアルト云フコトガ第二ノ理由ナノデアリマス、第三ニハ他ニ鱈製品ハ主トシテ海濱ノ漁村ニ於テ製造サレテ居ルモノデアリマスガ、末廣鱈ハ海岸地方デモ勿論生産サレマスガ、可成リ山間ノ地マデモ原料ヲ運ンデ其處デ加工製造シテ居ルノデアリマス、之ヲ一々検査スルト云フコトニナリマス検査ノ手數モ掛リマスシ、又其ノ爲ニ商機ヲ逸スルト云フヤウナ虞モアルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、從ツテ此ノ點ニ付キマシテハ縣ニ於テモ從來集荷系統ノ確立ト申シマス、出荷組合ヲ組織シテ一定ノ場所ニ集合シテ検査サセル、サウ云フ集荷系統ノ確立ニ付テ努力シテ居ルノデアリマスガ、マダ其ノ十分ナル域ニマデ達シテ居ラナイヤウニ考ヘルノデアリマス、縣ト致シマシテモ勿論重要ナ産物デアリマスカラ、早晚此ノ方面ニマデ検査ノ制度ヲ確立シタイト云フ考ハ持ツテ居ルノデアリマスガ、是等ノ財政上ノ調和ノ問題或ハ検査其ノモノニ附纏ツテ居ル困難ヲ克服スルヤウナ時期ニ於テ實現シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ從來ニ於テモ只今申上ゲタ集荷系統ノ確立ニ付テハ努力イタシテ居ツタノデアリマスガ、今後ハ一層此ノ方面ニ力ヲ用ヒマシテ一日モ早く完全ナ集荷系統ヲ作ツテ此ノ検査ヲ施行シタイ、斯ウ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○十八番(古川長太郎君) 只今ノ番外八番ノ御答辯ニ依リマスト検査ヲシナイ理由トシテ
 財政、鑑別、商機、斯ウ云フ點ニ付テ御心配ニナツテ居ラレルヤウデアリマスガ、私ハ
 本縣ノ漁村ヲ更生スル上カラ致シマシテモ甚ダ是ハ必要デヤナイカト考ヘルノデアリマ
 ス、大体此ノ仕事ハ本縣ニ於テハ大正十年縣ガ獎勵シテ初メテ本縣ニ於テ始メタヤウニ
 記憶シテ居ルノデアリマス、當時ニ於テハ製造方法ハ勿論デアリマスガ、調味料ト云ヒ
 乾燥ト云ヒ、總テニ付テ非常ニ嚴選イタシマシタ爲ニ、高級品トシテ市場ニ於テ非常ニ
 歡迎サレテ居ツタノデアリマス、當時ハ生産能力ハ極ク微弱デアツテ少量シカ出來ナカ
 ヲタノデアリマスガ、而モ其ノ市價タルヤ一貫八圓内外ニ取引サレテ居ツタノデアリ
 マス、併ナガラ今日ニ至ル間ニ少量ヨリ大量生産ニ移リ、又検査ヲ致サナカツタ結果モ
 アリマセウガ、製品ハ非常ニ粗惡ニ流レマシテ、其ノ結果市價一貫八圓ニ對シテ八圓位デ
 取引サレテ居ツタノガ驚ク勿レ八十錢、其ノ十分ノ一ニマデ低落シテ居ル次第デアリマ
 ス、取引上ニ於ケル道程ヲ少シ申上ゲマスナラバ、本縣産ガ東京並ニ關西市場ニ於テ強
 敵トシテ競争シテ居ルノハ富山縣ノモノデアリマス、富山縣産ト本縣産ガ市場ニ於テハ
 今カラ三年前程ハ、此ノ取引ハ六貫匁一箱デアリマスガ、其ノ一箱ニ對シテ二圓位ハ本
 縣産ガ高價ニ取引サレテ居ツタノデアリマス、然ルニ富山縣産ニ於テハ本縣産ニ非常ニ
 壓倒サレテ、之ガ品種ノ向上其ノ改善ノ一策ト致シマシテ今カラ三年前ニ縣管検査ヲ施
 行シテ、其ノ結果ト思ヒマスガ今年九月關西市場ニ於テ調査スルト、反對ニナツテ、本
 縣ガ一箱ニ付テ三圓位安ク取引サレテ居ルヤウナ現況デアアルノデアリマス、縣下ノ生産

ハ別段調査イタシマセムガ、山武郡ニ於ケルトコロノ九年度ノ生産高ハ二十五萬三千五
 百箱デアリマスガ、今日ニ於テハ恐ラクソレ以上ト思フノデアリマス、而シテ此ノ相場
 ハ勿論需要者ノ意ニ合フヤウナ品ヲ造ラナケレバ相場ハナイノデアリマスガ、富山縣ノ
 ヤウニ製品検査ヲ致シマシタナラバ恐ラク同等カ、ソレ以上ノ相場ヲ以テ取引サレテ居
 ルデヤナイカト考ヘルノデアリマス、縣下デ之ヲ生産スル所ハ海上、匝瑳、長生、夷隅
 ノ一部、此ノ四郡デ大体山武ノ一郡位出來ヤシナイカト思フノデアリマスガ、之ヲ合セ
 マスト恐ラク五十萬箱以上ニナルノデアリマス、サウ致シマスト富山縣産ト比較イタシ
 マシテ、假ニ一箱ニ付テ三圓ノ差額ガアルトスルナラバ、其ノ差額デスラモ百五十萬圓
 以上ノ利益ヲ本縣ガ受ケルヤウナ次第ニナルノデアリマス、斯様ナ次第カラ致シマス
 ト、一ツハ縣管検査ニ依ルト人件費ヲ四、五千圓縣ガ足サナケレバナラヌト云フ御説デ
 アリマスガ、産業開發ノ上カラ云ヒマス時ニ、四五千圓縣ガ足シテモ、ソレヲ差引イテ
 本縣産業上ニ於ケル利益ハ幾ラデアルカラ考ヘタ時ニ、私共ハ一日モ早ク之ガ實施ヲ希
 望スル一人デアリマス、只今農村ト云ハズ、漁村ト云ハズ、更生ノ聲ハ高ラカニ叫バレ
 テ居ル次第デアリマス、此ノ検査ニ依ツテ更正ノ一端トナスヨトガ出來ルナラバ何ヲ購
 躑シテ此ノ検査ヲ實施シナイノデアリマセウカ、私共ハ此ノ點強ク御願ヒスル次第デア
 リマス、大体縣ト致シマシテハマダ検査ヲ實施スル目鼻ハハツキリ付カナイヤウデアリ
 マスガ、私共ハ斯ウシタヤウナ點カラ申シマシテ、本縣ノ此ノ産業ノ助長ニ付キマシ
 テ、若シ豫算ノ關係ガアルナラバ農事會ニデモ御願ヒシテ速カニ之ヲ施行サレムコトヲ

希望スル次第デアリマス、私ノ質問ハ之デ打切りマス

○番外八番(事務官中根秀雄君) 只今重ネテ末廣鱈ノ縣管検査ニ付キマシテ御質問ガアリマシタ、只今御話ノ如ク本縣ノ製品ガ比較的劣ツテ居ルノデアリマシテ、是ハドウシテモ當業者ノ間ニ競争ガ激シイ爲ニ自然製品ガ粗悪ニ流レルノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ反シテ富山ノ方ハ大体ニ於テ「大羽」鱈ノ産地デアリマシテ、末廣鱈ニハ適シテ居ナイ鱈ガ多イノデアリマス、從ツテ極ク短期ノ間ダケシカ末廣鱈ニ適シタ鱈ガ出ナイノデアリマス、ソレデ自然精製ト申シマスカ、念入りノ製作ヲシテ居リ、其ノコトガ恐ラク大阪市場ニ於テ受ケテ居ルノデアラウト私共觀測シテ居ルノデアリマス、勿論末廣鱈ニ付キマシテハ縣管検査ハ致シテ居リマセヌガ水産助長ノ一ツトシテ之ニ付テモ十分ナル監督指導ヲ行ヒマシテ、或ハ調味料ニ付テ講習ヲ致シマストカ、其ノ他規格ノ關係ニ付テ協議會ヲ開クトカ、相當ノ努力ハ致シテ居ル積リデアリマス、併ナガラ之ヲ縣管検査ニ移スト移サナイデハ、只今御話ガアツタ通り製品ニ非常ナ差異ガ出來ルダラウト私モ確信シテ居ルノデアリマシテ、是非先程申上ゲタヤウナ困難ヲ克服シテ成ルベク早ク此ノ検査ガ施行出來ルヤウニ努力スル積リデアリマス、以上ヲ以チマシテ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○三番(伊藤博愛君) マダ當局ノ答辯ガ殘ツテ居リマスカラ御答ヲ願ヒマス

○番外八番(事務官中根秀雄君) 先程三番議員カラ本縣ノ産業統計ヲ御示シニナリマシテ、三面海ニ圍マレテ居ル本縣ノ水産ガ近年振ハナイデハナイカト云フヤウナ御意見デ

アツタヤウニ思ヒマスガ、統計ノ數字ノ上カラダケデハ必ズシモ漁業ノ不振ト云フコトハ斷ゼラレナイデハナイカト考ヘルノデアリマス、私此處ニ詳シイ數字ハ持合シテ居ラナイノデアリマスガ、全國ノ統計ヲ見マスト沿岸漁業ニ於ケル漁獲物、ソレカラ製造加工方面ニ於ケル生産高、斯ウ云フモノヲ比較イタシテ見マスト千葉縣ハ依然トシテ全國ニ覇ヲ唱ヘテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマシテ、統計ノ上デ他府縣ニ劣ツテ來タ所以ハ遠洋漁業ニ於テ不振ノ點ガアルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、即チ本縣ガ多年天惠ニ頼ツテ沿岸漁業ニ專念シテ遠洋方面ヘノ進出ヲ多少怠ツタ傾向ガアルノデハナイカ、又他府縣ニ於テ漁港ノ施設等ノ關係カラ「トロール」船デアルトカ、其ノ他各方面ノ遠洋漁業船ガ入港イタシマス爲ニ遠洋漁業ニ於ケル水揚高ガ増加シタ爲ニ、水産統計ニ於テハ稍々本縣ガ下位ニ立ツタノデハナイカト考ヘテ居リマス、更ニ一ツハ漁獲ト云ヒマスカ、漁獲高其ノモノニ於テハ本縣ノ統計ヲ見テモ必ズシモ減少シテ居ルヤウニハ考ヘナイノデアリマシテ、寧ロ價格ノ値下リト云フコトガ水産統計上ニ於ケル數字ノ上ニ或ハ減少シ或ハ進展シテ居ラナイヤウナ結果ニナツテ居ルノデハナイカト私ハ密カニ考ヘテ居ルノデアリマス、更ニ斯ウ云フヤウナ漁業ノ状態ニ對シテ縣トシテハドウ云フ方策ヲ以テ臨ンデ居ルカ、斯ウ云フ御意見ノヤウニ伺ツタノデアリマスガ、此ノ漁業ノ振興ト云フ問題ハ非常ニ大キナ日本ノ問題デアリマシテ、農林省當局ニ於テモ各種ノ機關ヲ動員シテ其ノ間ノ方策ノ樹立ニ努メテ居リマスルシ、或ハ帝水トカ大水ト云フヤウナ系統團體ニ於テモソレ等ノ事項ニ付テ日夜苦慮イタシテ居ルノデアリマス、本縣ニ於

テモ是等中央ニ於テ定マリマシタ方針ニ則ツテ之ヲ縣内ニ施行イタシマス同時ニ、縣限リニ於テ出來ルヤウナ事項ニ付テハ出來ルダケノコトヲヤツテ居ル積リデアリマス、例ヘバ船溜ノ施設デアルトカ、船揚機械ノ施設、漁港ノ施設、或ハ今回新タニ計上イタサレマシタ沿岸漁業振興費ノ如キハ、此ノ千葉縣ノ海ニ即シテ新ナル漁法ヲ指導シ或ハ漁場ヲ開拓スルト云フヤウナ重大ナル使命ヲ持ツモノデアリマシテ近キ將來ニ於テ其ノ効果ガ沿岸漁業ノ爲ニ現ハレルコトヲ確信シテ居ルヤウナ次第デアリマス、又内灣關係ニ於テモ從來三箇年ニ亘リマシタル海洋觀測ノ結果ヲ實地ニ指導スルト云フ意味ニ於キマシテ新ニ淺海増殖試驗費ナルモノヲ計上シタヤウナ次第デアリマス、斯ウシタ物的ノ施設ノ外ニ此ノ漁村ニ於ケル配給關係ト申シマスカ、組織ノ方面ニ於テ從來單ニ漁業權ノ主体デアルニ過ギナカツタ漁業組合ヲ改組シテ積極的ニ經濟行爲ヲヤリ得ルトコロノ協同組合ノ制度ヲ普及イタシマスヤウニ努力シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、以上ノ如ク中央ノ方針ニ基ク指導並ニ縣限リデアラマス指導ニ付テ努力イタシテ居ルヤウナ次第デアリマス、以上ヲ以テマシテ御了承願ヒマス

○三十八番(高瀨政吉君) 私ハ蠶業試驗場費ニ付キマシテ御尋ネシ又其ノ他養蠶ニ關係スル二、三項目ニ付テ伺ヒ且ツ意見ヲ申上ゲテ當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト存ズルノデアリマス、蠶業試驗場費ガ本年ハ相當増額サレテ提出セラレルト云フコトヲ當業者竝ニ我々ハ期待シテ居リマシタガ、此ノ數字ヲ見マスト圖ラズモ減額ニナツテ居リマス、是ハ果シテ蠶業獎勵上カラ見テ如何ナモノデアラウカ、試驗場ノ設備ハ昭和八年度ノ豫算ニ於

テ鴨川支場ヲ建設イタシマシテ漸ク最近完成ノ域ニ達シテ居リマス、此ノ試驗場建設當時ノ豫算ト、現在完成シテ十一年度ヨリ是等ノ事業ヲ實施スル時ニ於テ更ニ經費ガ計上サレテ居ナイ、斯様ニ考ヘラレマス、單ニ此ノ支場ヲシテ原蠶種ノ飼育ヲスルダケニ留ツテ居ルノデアツテ、其ノ他ハ更ニ設備費ノ計數ガ見エナイノデアリマス、斯様ニ設備ヲ致シマシテモ内容ノ充實ヲ圖ラズシテドウシテ當業者ノ指導ニナルコトガ出來マセウカ、此ノ豫算ダケ見ルナラバ支場ハ原蠶種ノ製造所デアアル、支場ト云フ門標ヲ取ツテ寧ろ原蠶種製造所ト名ヲ付ケタ方が妥當ダト思ヒマス、縣當局ハ何故養蠶業ニ力ヲ盡サスノデアラウカト私ハ疑フノデアリマス、養蠶關係ノ蠶糸課ニ屬スル豫算ヲ見マスト僅カニ總計十三萬二千圓、此ノ數字ヲ以テ果シテ養蠶界ヲ善導スルコトガ出來ルヤ否ヤ私共ハ疑ヲ持ツモノデアリマス、縣ハ農村ノ經濟更正トカ色々指導的設備ヲシテ斡旋ハサレテ居リマスガ、斯ウ云フヤウニ農村經濟ノ行詰ツテ居ル時ニ於テ斯ウ云フ設備ヲスルナラバ、當然副業ノ獎勵ヲシナカツタナラバ其ノ實ハ恐ラク學ガルマイト思ヒマス、而シテ縣下副業中ニ於テ養蠶ノ右ニ出ズルモノハナカラウト思ヒマス、又全國的ニ見タ時ニ於テ本縣ハ産額ニ於テ十一倍ヲ占メ、其ノ豫算ノ全國平均ハ一府縣二十五萬圓ノ豫算ヲ持ツテ居ル、而シテ本縣ハ産額ニ於テ十一位ヲ占メ、豫算ノ順位ハ三十五位ニナルノデアリマス、副業トシテ主位ヲ占メテ居ルノニ何故ニ他府縣ニ比シテ斯様ニ貧弱ナ豫算デアルカ、ソレカラ先日經濟部長ハ額ハ少クテモ運用ノ如何ニ依ツテ十分發揮スルト云ヒマスガ、如何ニ御手腕ノアル當局デモ無イ豫算ハ運用スルコトハ出來得ナイト

思ヒマス、ソコデ先ツ此ノ試験場ノ問題トシテ、何故ニ内容ノ充實ヲシナクテ試験場ノ機能ガ發揮スルコトガ出來ルヤ否ヤ、之ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス、又之ヲ經濟的ニスルナラバ本場ニ於テハ男子ノ講習生ヲ置イテ縣下ノ技術員其ノ他蠶種製造ノ主任者ヲ養成シテ居リマス、分場ニ於テノ最近ノ様子ヲ見マスト女子ノ傭人ヲシテ此ノ飼育ニ從事サセテ居ルヤウデアリマス、此ノ時ニ於テ縣下養蠶業者ハ男ガ從事シテ居ツタノデハ採算ハ取レナイ、ドウシテモ家計經濟カラシテ之ヲ女子ノ仕事トシテ與ヘルコトガ最モ急務ダ、サウ云フ意味カラシタナラバ、支場ノ傭人料ヲ見マスト總額四千四百幾ラカノ傭人料デアリマス、之ヲ本場ト分場トニ二分シ更ニ其ノ他ノ人夫ヲ差引イテ三分ノ一ト見テモ之ニ要スル傭人料ガ千有余圓デアリマス、ソコデ女子ニ講習シテ之ニ此ノ費用ヲ充當シテヤツタナラバ、ソレニ僅カ五百カ千ノ金ヲ加ヘタナラバ、此ノ女子講習生ノ養成ガ出來タナラバ、是ハ當業者ノ仕合セノミナラズ縣ノ經濟ニナルト思フ、斯様ナ傭人デ原蠶種ノ如キ貴重ナモノヲ任セルト云フコトハ實ニ不安デアル、昨年ハ本場ニ於テ、壯蠶期ニナルト相當飼料ヲヤラナケレバナラヌト云フヤウナ關係カラ、勞銀ガ安イカラト云フノデ同盟罷業シタコトガアルデアリマセヌカ、此ノ貴重ナ原蠶種ヲ作ルノニ此ノ傭人ノミヲ當ニシテ之ヲ飼育シタナラバ、若シ之ガ壯蠶期ニ於テ同盟罷業ヲシタナラバドウ云フヤウナ處置ヲ執ラレルカ、ソコデ之ヲ以テ相當講習生ヲ養成シテ責任アルトコロノ者ヲシテ之ニ從事セシメタナラバサウ云フヤウナ憂モ除クコトガ出來マセウシ、此ノ縣ノ

經濟ノ傭人料ヲ以テ相當ノ教育ヲ與ヘルコトガ出來ルナラバ養蠶經濟ハ非常ニ得ルトコロガアルヤウニ思ヒマス、サウ云フ輿論ハ相當當業者ヨリ縣ニ通ジテ居ル筈デアルガ、ドウモ縣ノ方ハ耳ガ遠クテ聞エナイノカモ知レナイガ、私ハ何故ニソレヲシナイカラ遺憾トスルノデアリマス、斯様ナ希望ハ私一人ノ希望デハナク縣下養蠶業者ノ希望デアルガ、縣ガ斯様ナ設備ヲシナイコトハドウ云フ譯デアルカ、又將來ニ於テ斯ウ云フヤウナ計畫ヲナサルカ否カ、之ヲ御尋ネスル次第デアリマス、次ハ獎勵費第十五目ノ稚蠶共同飼育所設置獎勵費ヲ見マスト、昨年マデノ稚蠶共同飼育桑園ヲ廢シテソレニ代ツタヤウデスガ、是ハ私共養蠶業者ハ双手ヲ擧ゲテ賛成スルモノデアリマス、此ノ事業ハ最モ機宜ニ適シタコトデ、今ノ養蠶業者トシテハ何等カノ方法デ安ク繭ヲ飼ハナケレバナラヌ時ニ於テハ、此ノ共同的作業ヲシテ成ルベク經費ヲ節約スルコトガ最モ必要ナコトデアリマス、併ナガラ私此ノ參考書ヲ見タ時ニ於テ少シク意見ヲ異ニシテ居リマス、此ノ運用ニ於テ少シク縣ニ過チガアリハシナイカ、又民情ニ少シ疎イヤウナ嫌ヒガアル、願ハクバ民ノ事情ニ成ルベク即シテ運用ヲ圖ツテ戴キタイ、斯ウ存ズルノデアリマス、ソレハ參考書ニ依ルト縣下養蠶實行組合中最モ有効ト認ムルモノ三組合ヲ選定シ之ガ設置ヲ獎勵センガ爲五千圓ヲ新規計上シタリ、斯ウナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトハ將來ハ全体ニ及ボスベキモノデアアルガ、有効ト認メラル、三組合ニ之ヲ獎勵シテ三組合ニ五千圓ノ金ヲ補助スルナラバ一組合ガ千六百六十六圓ニナリ、聞ク所ニ依リマスト五割ノ補助ニ相成ルトカノコトデアリマスガ、サウ致シマスト地元組合ハソレダケ

ノ負擔ヲシナケレバナラヌ、ソレヲ農林省ノ獎勵規程ノ最小限度ノ四十坪ヲ計算シタナ
 ラバ一坪當リ八十三圓ニナル、斯様ナコトヲ養蠶ガ經濟的ニヤレルデアラウカ、建物坪
 八十三圓ト云フノハ少シク多クハナイカ、又其ノ半額ヲ負擔スルナラバ四十一圓ト云フ
 算盤ヲ出マセガ、今縣下組合ノ平均戸數ハ二十一戸ニナツテ居リマス、又千七百ノ組
 合ニ於テ十五名乃至三十名ノモノガ千有余ヲ越ヘテ居リマス、大体ニ於テ此ノ組合ハ二
 十名乃至二十五名ト承知シテ宜シカラウト思ヒマス、サウ云フ數字カラ之ヲ二十名トシ
 テ計算スルナラバ、一戸ニ於テ八十三圓ヲ負擔シナケレバナラヌ、サウ云フヤウナ負擔
 ラシテ此ノ行詰ツタ養蠶家ガ之ヲ設置シテハ却ツテ經濟的ニドウデアラウカ、ソレダケ
 ノカハ持ツテ居ラナイノデアリマス、私ハドウシテモ斯ウ云フヤウナ設備ヲスル上ニ付
 テハ最小限度ノコトニシテ、經費ヲ少クシテ坪當リハ五十圓程度デ出來ルダラウト思ヒ
 マス、二十戸ニシテ、四十坪トスレバ二千圓、ソレデ千圓ノ補助金ヲ出シタナラバサウ
 云フ組合モ出來ヨウト思ヒマス、又偶々五十戸百戸ト云フ組合ガアルガ、ソレ等ハ到底
 七、八十坪ノ建物デハ間ニ合ハナイガ、併シ實力ガアルカラ自由ニナル、大体ニ於テ多
 數ヲ占メル人員ニ打算シテ標準ヲ示シタナラバ、一組合ガ千圓程度デハナカラウカト思
 ヒマス、サウ云フコトニスルナラバ全体ニ及ボスコトモ容易デアラウガ、今斯様ニ金額
 ヲ示シテ一年ニ僅カ三箇所位宛ノ獎勵デアラナラバ、千七百ノ組合ガアルカラ、六百年
 カ、ラナケレバ全部ニ行直ラナイ、斯ウ云フ年數ヲ經タノデハ今ノ獎勵事業ハ手續イ、
 少クトモ一郡一箇所位トシテ、ソレヲ模範ニ示スト云フコトナラバ非常ニ結構デア

ガ、今ヤ之ニ付テ豫算ヲドウスルコトモ如何カト思ヒマスノデ、私ハ此ノ參考書ノ附記
 ヲ少シク伺ツテ其ノ運用ヲ變ヘテ戴キタイ、一組合ニ千圓位ノ程度ニ御留メ下サルナラ
 バ直チニ茲ニ五組合ガ實現スル、勿論今後トモ御繼續願ハナケレバナラヌノデスガ、獎
 勵金ハ幾分少クテモ成ルベク數多ク願フコトガ最も必要デアラウト思ヒマス、ソレデ本
 年度ヨリ其ノ運用ニ付テ最モ優良ナル三組合ト云フコトデナク、全体カラ見テ縣下五組
 合ニ補助スルト云フコトニ御訂正出來ヌモノデアリマセウカドウカ、又第十三項ノ産業
 職員費中ニ産繭處理技術員ヲ一人設ケル、是ハ今ノ政府ノ方針ニ基キマシテ、産繭處理
 技術員ヲ一人設ケル、是ハ今ノ政府ノ方針ニ基キマシテ、産繭處理統制法案ガ將ニ衆議
 院ニ御提出ニナルヤウナコトニ聞イテ居リマス此ノ時ニ於テ最モ時宜ニ適シタコト、思
 ヒマスガ、此ノ技術員ヲ置クナラバドウ云フヤウニ産繭ヲ御統制ナサル積リデアアルカ、
 私ハ斯ウ云フ技術員ヲ置ク時分ニハ之ニ對スル相當ノ設備ヲ要スルモノデアルト思フ、
 既ニ昨年度ヨリ産繭統制案ガ通過シマセヌデモ政府ニ於テハ相當ノ豫算ヲ計上シテ之ニ
 助成スル方法モ立ツテ居リマス、去ル一日ノ新聞ヲ見マスト農林省ハ新規豫算トシテ養
 蠶關係ニ五百三十一萬幾ラカノ金ヲ補助助成スルトシテアリマス、政府ガ五百萬圓カラ
 ノ金ヲ新規ニ編成シテ助成スルト云フコトナラバ、之ヲ三府四十三縣ニ平均シマシタナ
 ラバ一府縣ニハ十萬以上ノ交付金ガアル譯デ、本縣ニ於テハ既ニ經常部ニ於テ一萬何千
 圓ト云フ補助ヲ得ラレルヤウニ此ノ豫算ニモ現レテ居リマス、サウスルト十二三萬圓ノ
 補助ガアル譯デアアルガ、本省ガ十數萬圓ノ補助ヲ與ヘルノニ、我ガ縣ノ蠶糸課ハ全部ヲ

舉ゲテ十二、三萬ノ豫算デハ、政府ハサウ云フ所ニハ矢張り割合ヲ考ヘテサウ呉レナイト思フ、斯ウ云フコトニナリマスト設備ヲシナケレバ補助ハ貫ヘナイ譯デア、此ノ技術員ヲ置イテ産繭ノ檢定所ガナカツタナラバ此ノ働ク場所ハナカラウト思ヒマス、産繭處理統制案ガ發布サレルナラバ、現況ニ於テ産額ノ約四割ノ繭ハ特約取引デア、是ハ乾繭ヲ獎勵シテ最近デハ生繭ノ場外取引モ出來ルヤウニナルトカ聞イテ居リマスガ、何レニシテモ此ノ産繭ノ統制ガ出來タナラバ特約組合ハ多少多クナル、特約組合ノ現在ノ取引ノ状態ハ各々製糸家ガ自分特異ノ蠶種ヲ配給シテ、收益ガ多ク生産費ノ多ク掛カラヌモノヲ普通蠶種ト同値ニ買ツテ、ソレヲ一割二割ノ鞘ヲ取ツテ居ル、併ナガラ遺憾ナガラ當業者ハ之ヲ破棄スルコトガ出來ナイ、是ハドウシテモ統制法ニ依ツテ第三者ノ檢定ニ待ツト云フコトニシナケレバナラス、ソコデ來年ニ於テハ特約組合ハ皆商號ヲ落シテ第三者ノ檢定ニ待ツト云フヤウナ條件デサウ云フヤウナ協定ヲシタイト思フ、併ナガラ遺憾ナガラサウ云フヤウナコトヲ協定シマシテモ縣ニ於テ其ノ設備ガナクテ、僅カニ本場ノ製糸ノ試験ヲ之ニ宛テテ、僅カノモノシカ一日ニ出來ナイトスレバ、千七百ノ組合カラ檢定ヲ願ツテモ到底間ニ合ハナイ、斯ウ云フコトデアレバ此ノ産繭ノ處理ノ上ニ付テハ一大主義ヲ以テ此ノ檢定ノ増設若クハ新設ヲ何ガ故ニ計上シナイノデア、何方ニ於テ必要ナ技術員ヲ置クナラバ之ヲ活動サセルトコロノ設備ガナケレバナラス、何故ニ縣ハ左様ニナサラヌノデアラウカ、此ノ邊ノ事情等モ明ラカニシテ欲シイ、恐ラク縣下ノ養蠶家ハ首ヲ長ウシテ此ノ豫算執行ノ方法等ヲ期待シテ居ルノデアリマス、斯様

ナコトデハ縣下ノ養蠶家ハ定メシ落膽シテ居ルモノト思フノデアリマス、何分今後ニ於テモ此ノ養蠶業ハ縣下ニ於テ相當重大ナ使命ヲ持ツテ居リマスカラ、之ニ付テ縣ハドウ云フ御考ヘヲナサツテ居ルカ、併セテ御尋ニスル次第デアリマス

○番外七番(技師本橋六三君) 只今三十八番議員カラ蠶糸課關係ニ付キマシテ非常ニ御同情アル御質問ヲ戴キマシテ有難イ次第デアリマス、御質問ノ要旨ニ付テ御答イタシマスガ、第一ノ御質問ハ蠶業試験場ノ豫算ヲ非常ニ減額シテ居ルデハナイカ、蠶糸業ハ本縣ニトツテモ非常ニ重要ナ地位ニアリマスルシ、全國的ニ見テモ繭ノ産額ハ十一番目ニアリマスガ、誠ニ御尤モデアリマス、現在蠶業試験場ニ於キマスル事業ト致シマシテハ明治四十三年ニアノ試験場ガ出來テ原蠶種ノ製造及ビ配布ノ事業ト、蠶ニ關スル各種ノ試験事業、桑園ニ對スル試験、製糸ニ關スル試験、繭ノ檢定並ニ鑑定ニ關スル事業、講習生ノ養成、講習講話、實地指導ト云フヤウナ事業ヲ行ツテ居ルノデアリマスガ、昨年鴨川ニ蠶業試験場ノ支場ガ出來マシテ今申シマシタヤウナ事業ヲ行フコトニナツテ居リマスガ、現下ノ蠶糸業ノ情勢ハドウシテモ統一シタ優良品種ヲヤラナケレバナナイ、サウ云フ關係カラ申シマスト全國的ニ原蠶種ヲ統制スルコトガ必要デ、一昨年原蠶種ノ國家管理法ガ通リマシテ、是ハ昭和十四年カラ全國的ニ蠶ノ品種ト云フモノハ製糸場ノ蠶種デモナケレバ民間ノ原種デモナイ、全部國ノ統制蠶種デアルト云フコトニナルノガ根本デアルト云フ關係カラ、本縣ニ於テモ其ノ政府ノ主義ヲ遵奉シマシテ、主トシテ原

蠶種ノ全額配布ト云フヤウナ原蠶種ノ國家管理ニ伴フトコロノ事業ヲ行ツテ行キタイ希望デアルノデアリマス、從ツテ明年度豫算ニ付キマシテモサウ云フ方面ニ付テ色々心配シタノデアリマスガ、何分經費ガ非常ニ尨大ニナリマス爲ニ其ノ實現ノ出來ナカツタト云フコトハ甚ダ遺憾デアリマス、併シ國家管理法ガ發布サレマシテ、此ノ事業ヲドウシテモ十四年度ニハヤラナケレバナラヌト云フコトニ付テハ當然必要ナ經費ハ御願ヒシテ御期待ニ副ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ蠶糸課關係ノ豫算ガ甚ダ少イト云フヤウナ誠ニ御同情アル御質問デアリマスガ、本縣ノ蠶糸課ハ漸ク昨年農産課カラ分離シテ本年ハ二年目デアリマシテ、所謂本當ノ初店デアリマスノデ、十分ノ豫算詰リ持參金ガ少カツタノデアリマスノデ、ソレハ甚ダ遺憾ニ思ヒマスガ、大体ノ蠶糸業ノ情勢ニ鑑ミマシテ段々豫算ノ方面モ上司ノ諒解ヲ得マシテ一人並ノ全國的ノ狀態ニ上ボシテ見タイト思ツテ居ルノデアリマス、第二ノ御質問ハ八日市場ニアル蠶業試驗場ニハ男子ノ養成ヲシテ居リマスガ、鴨川支場ニハ女子部ヲ設置シテ女子教育ヲ行ツテハドウカト云フヤウナ誠ニ蠶糸業ニ適切ナル御質問デアリマス、誠ニ同感デアリマス、蠶糸業ニ付テノ女子教育ヲナシマシテ農村ノ中堅ノ女子ヲ養成シ、一面養蠶ノ教師モ男子バカリデナク、農村ノ養蠶業ニ従事スル者ノ指導トシテ女子ノ養蠶教師ヲ養成スルト云フコトハ誠ニ結構ニ存ジマス、從ツテ其ノ御趣旨ニハ賛成デアリマスガ、鴨川支場デ女子ノ教育ヲスルト云フコトニシマスト色々ノ關係ガアルノデアリマス、即チ養蠶ノ時期以外ノ女子ノ教育ヲドウスルカ、現在ノ職員ハ僅カ三名デアリマシテ、其ノ三名ノ職員デ以テ養蠶ニ關

スル學理ト實地、ソレ以外ニ女子ノ教育マデスルト云フコトハ不可能デアル、例ヘバ女子トシテノ修養ノ修身教育ノ如キ、又家庭ニ必要ナル裁縫ノ如キ、斯ウ云フヤウナコトモシナケレバナナルマイ、サウシマスルト講師ヲ相當ニ入レマシテ或ル程度ノ經費ノ増額ニモナル譯デアリマス、ソレカラ何名カノ女子生徒ヲ養成シマスルナラバ、ソレヲ廣ク縣内カラ採用スルノデアルカラ、ドウシテモソレヲ收容スル所ノ寄宿舎ノ設備ガ要ル、ソレカラ今申上ゲタトコロノ現在ノ三名ノ職員デハ教養上ニ不十分デアルト云フ三ツノ條件又色々財政等ノ關係モアリマシテ本年ハ相當考慮ヲシタガ實現出來ナカツタコトハ遺憾デアリマス、併シ御意見ノ如ク女子ニ蠶業教育ヲ普及シマシテ中堅女子ヲ養成スルト云フコトハ極メテ必要デアリマスノデ、十分考慮イタシマシテ成ルベク御期待ニ副ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ第三ノ稚蠶共同飼育所ガ本年新規事業トシテ計上サレタコトハ誠ニ賛成デアル、併シ之ガ運用ニ付テハモット考慮スベキ餘地ガアルデハナイカ、斯ウ云フ御質問ノヤウニ拜承シマスガ、稚蠶共同飼育所ノ設置ハ先般知事閣下ノ御説明ニモアリマシタ通り本縣ノ蠶糸業ノ現状カラ見マシテ非常ニ必要デアル、斯ウ云フ飼育所ガ出來マスルト繭ノ生産費ガ非常ニ低減スル、ソレカラ繭ノ質ガ非常ニ向上シテ來ル、ソレカラ蠶作ガ安定スルノミナラズ共同ノ爲ニ組合ノ協同精神ガ作興スル之ガ爲ニ農村ノ受ケル利益ハ大キナモノデアリマス、豫算ニ提出シテアルノハ三箇所デアリマスガ、是ハ獨リ本縣ダケガヤルノデハアリマセヌノデ、國庫ノ助成ヲ得テ本縣ガスルノデアリマシテ、國ノ助成方針ガ非常ニヤカマシイノデアリマス、御參考マデニ申上ゲ

テ見マスレバ、養蠶ノ共同飼育所ハ極メテ少數ノ人間デハイケナイ、ドウシテモ現在設置シテアリマス養蠶實行組合デ共同ノ員數ハ二十名以上デナケレバナラナイ、ソレカラ蠶種ノ氣候モ春バカリデナク、春モ夏秋モ晩秋モト云フヤウニ何回モ共同ニ依ツタ事業ヲ行ハナケレバナラナイ、ソレカラ掃立ノ斤量デアリマスガ、是ハ第一期ニ六百「グラム」以上デ、余リ小サナ「グラム」デハイケナイ、六百「グラム」以上ノ蠶ヲ二眠起キマデ共同ニ依ツテ飼育スルダケノ設備ヲ充實スル、ソレカラ構造ハ木造ノ平家建デアリマシテ瓦葺ニスルコト、坪數ハ今御話ノ通り四十坪以上デアリマス、ソレカラ飼育室ノ天井及ビ床ハ緊密ナ板張りニ致シマシテ保温用ノ暖爐ハ耐火性ノ構造デナケレバナラヌ、欄間ハ從來ノ蠶室ト違ツテ之ヲ密閉シテ全然空氣抜キヲ造ラナイ、斯ウ云フヤウナ非常ニムヅカシイ條件ニナツテ居リマス、御參考マデニ申上ゲマスガ、斯ウ云フモノヲ造リマスト非常ニ金ガ掛カルノデアリマシテ、蠶ヲ飼育シナイ時分ニハドウ云フコトニスルカト申シマス、是ハ農繁期ニ於ケル託兒所ニモナリマスシ、農家ノ共同作業場公會堂或ハ青年ノ道場ニモナルト云フヤウナ關係上非常ニ大キナ設備ガ要ルノデアリマス、今御意見ノ通り之ヲ四十坪ト致シマスト大体私共ノ計算デハ坪七十圓トシテ二千八百圓、補助ガ半分アリマスカラ千四百圓ノ三箇所半乃至四箇所位ト存ジマス、併シ本縣ハ掃立量ハ大体カラ申シテ大キナデアリマスカラ、大体五十坪位ノモノヲ作りタイト云フ考デアリマス、仰セノ如ク箇所數ノ多イコトハ極メテ結構デアリマスガ、何分農林省ノ助成方針ニモ關係ガアリマスノデ、本省ト打合ノ上坪數ガ少クテモ、尙ホ單價ガモ

ツト安クテモ助成ガ出來ルヤウニ協議イタシマシテ成ルベク御希望ニ副ヒタイト存ジマス、ソレカラ產繭處理ニ對スル職員ノ設置デアリマスガ、是ハドウ云フ仕事ヲスルカト申シマス、本縣ト致シマシテハ大体ニ於テ御意見ノ通り繭ノ特約取引ガ四割デアリ、將來益々増加スル傾向ガアリマスノデ之ニ付テハ相當考察スベキ點モ多々アルノデアリマス、而シテ養蠶業者ヲシテ繭ヲ成ルベク有利ニ販賣セシメルト云フコトニ付テハ產繭處理ノ統制ヲ致シマシテ政府ノ方針ニ基キ處理ヲ合理的ニスルト云フコトガ大キナ眼目デアリマス、サウ云フ關係デ新規事業トシテ設ケ萬遺憾ナキヲ期スル覺悟デアリマス、以上簡單デハアリマスガ御諒承ヲ願ヒマス

○三十八番(高瀧政吉君) 只今御説明ヲ戴キマシテ大体分リマシタガ……

○議長(吉野力太郎君) 三十八番一寸待ツテ下サイ、質問應答ハ簡單明瞭ニ願ヒマス

○三十八番(高瀧政吉君) 是ヨリ簡單明瞭ニハ出來ナイ……女子教育デスガ、教師ナドヲ目的ニシナイ方ガ最モ宜イト思ヒマス、女子教育ヲシテ縣ノ技術員ノ養成ト云フコトデナク、一般養蠶業者ノ望ンデ居ルノハ、實際ニ於テ飼育ノ技術ヲ覺エテ家庭經濟ヲ作ル爲ニ養蠶ヲヤル、其ノ女子ノ技術ヲ修養スル機關ヲ設ケテ戴キタイト思ヒマス、又稚蠶共同飼育所ニ付テ本省ノ規程ガドウダトカ仰シヤイマシタガ、余リ本省デムヅカシイコトヲ言ツテ居ルト多額ノ補助ガ無駄ニナル、ソレデ寧ロ縣ガソレダケ出シテ、又當業者ニ出サセテ、理想的ナ簡單ナモノヲ作ツタ方ガ宜イ、余リヤカマシク言ハレルト國庫カラ補助ヲ貰ツテモ却ツテソレダケ又當業者ガ負擔シテハ、到底今ノ養蠶家ノ状態トシテ